D7
48

第五回内國勸業博覽會 審査報告 第七部

300390-000-2

D7-48

第五回内国勧業博覧会審査報告　第７部

第５回内国勧業博覧会事務局／編

1904

BDI-0011

芳賀堂文庫
田中教授寄托圖書

第五回內國勸業博覽會審查報告　第七部

第三十一類　金屬製品
第三十二類　武具
第三十三類　雜工作品

D7
44

第五回內國勸業博覽會第七部審查報告

目次

總說 一
第三十一類 金屬製品 四
第三十二類 武具 一〇
第三十三類 雜工作品 六六

49.7.10
985119

總說

第七部製作工業ハ染織化學二工業ニ屬セサル其他ノ工業品ヲ悉ク網羅シタルカ故ニ頗ル多種雜駁ニ亘リ且其出品點數五萬九千四百八拾七點ニ達セリ之ヲ前回ニ比スレハ府縣ニ由リ多少減少シタル所ナキニ非スト雖モ總點數ニ於テ貳萬八千四百五點ヲ增加シ殆ント五割貳歩餘ノ增加トス而シテ各種製造上ノ技術ニ至リテモ進歩ノ程度大ニ見ルヘキモノアリ特ニ機械ヲ應用シテ製作シタルモノヽ如キハ進歩ノ狀ヲ顯セリ本部ニ屬スル出品ハ概ネ自家的工業ノ手工ニ成ルモノ多ク整然タル機械的工業ニ屬スルモノ尠シ然レトモ能ク海外輸入品ノ摸倣ヲ旨トシテ優劣ヲ競ヒ輸入防壓ニ於テ功ヲ奏シタルモノアリ又輸出ノ途ヲ開發シテ之ヲ擴メタルモノ寡シトセス要スルニ將來輸入ヲ防禦シ輸出ヲ擴張スルニ於テ有望ナルハ本部所屬ノ物品ニシテ一歳ノ輸出額平均拾萬圓以上ノモノヽヲ列擧スレハ左ノ如シ

品名	明治三十五年		明治三十四年		明治三十三年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
綿莫大小肌衣	二二三九一四打	三二四、四三〇円	一五四、三一〇打	二六五、三六二円	一七七、二九一打	二三五、〇五六円
絹製手巾	一、〇一〇、五〇〇打	三、一五四、二三七	一、二三七、九八〇打	三、九五一、一九二	一、二三、六五六打	四、三八、五五三
綿絣	三四、九六九打	一五六、七九六	五七、七六〇打	二三四、七六〇	六六、一二六打	二三七、七八
洋服	五〇四、一五〇			二九九、〇二四		二九七、一五七
絹製寢衣	二三、〇一〇枚	一五八、九六二	二一、〇六二枚	六三、九六七	二七、五一四枚	一三一、六九九

品名	数量	価格	数量	価格	数量	価格	数量	価格
	明治十五年		明治十四年		明治十三年		明治十二年	
銅アンチモニー製品	九二、〇〇〇斤	八二、〇四〇円	八〇、七六〇斤	九八、四四〇円	一、七七四斤	一、七七四円	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円
金銀製品	九、二〇〇斤	九七、〇三〇円	八、四〇〇斤	八四、〇〇〇円	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円
金銀製鎖	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円				
金銀製肩掛	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
金銀製把	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
絣縮緬	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
絹手袋	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
絹傘	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
銅傘骨	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
洋傘柄	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
花瓶	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
刷毛	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
歯磨	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
扇	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
楊枝	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
部分品	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
硝子	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
硝子製品	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
硝子器	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇円						
硝子製品

爐篩團扇	三四、五四一打	四七、三二四	五一、四八五打
	四、二五六、四六三打	三六、八一三	四、四四三、〇七四打
		七〇、六九八	
	五五、二一〇	四〇、〇〇〇ゟ	八二、七五二
	六三、〇一八	三、三一、三三三	四五、四〇三
			三八、〇九八

前表ニ由リテ見ルニ輸出年額百萬圓以上ニ達スルモノハ三種即チ花莚絹手巾及洋傘ニシテ平均壹箇年拾萬圓以上ノ輸出額アルモノハ三拾品アリ是等ハ專ラ西洋即チ歐米諸國ニ販路アルモノト東洋即チ清國韓國印度等ニ輸出スルモノト二種ニ分ル

綿メリヤス肌衣　本品ハ專ラ清國印度韓國其他東洋及南洋各地ニ販賣スルモノニシテ近年漸ク販路擴大トナリ前途ノ輸出益々好望ナラントス

絹製手巾　本品ノ仕向地ハ北米合衆國英國及佛國ヲ主トス近年競爭ノ結果品質ノ漸次粗製ニ流ルヽ傾向アルハ慨トスル所ナリ本品ハ必需品ト云フヨリモ寧ロ奢侈ニ屬スル裝飾品タル性質ノモノナレハ品質ヲ粗ニシ價格ノ低廉ヲ旨トスルヨリモ能ク時好ニ應シ意匠ノ改善ヲ勉メ需要者ノ嗜好ニ投スルヲ以テ必要ト認ム

綿繻絆、洋服、絹製寢衣、靴、靴足袋、鈕釦類、帽子、履物

是等衣服裝身具ハ絹製寢衣ノ外ハ清韓印度等ノ如キ東洋各地及南洋諸島ニ輸出スルモノニシテ綿繻絆ニハ綿縮製、綿フラネル製又ハ「ホワイトシャツ」ノ如キ種類アリト雖モ最多數ニ輸出スルモノハ綿縮製及綿フラネル製トス洋服靴履物ノ類ハ清韓兩國其他東洋ヲ以テ主ナル輸出地トナセトモ是等諸國ニ移住スル所ノ我國民ノ需要タルモノ多ク履物ニ至リテハ專ラ然リトス鈕釦類ハ眞鍮製及貝製ノモノニシテ前者ハ專ラ清國ニ賣行キ後者ハ東洋及歐米ノ諸國ニ販賣セラル本品ハ能ク需要地ノ嗜好ヲ探究シ常ニ適應ノ改善ヲ施サハ前途ニ販路擴張ノ望ナキニアラス帽子類ハ麥稈製ノモノ多數ニシテ「ヘルメット」帽之ニ亞ク清國印度其他及布哇ニ賣レ行クモノニシテ前途望ナキニアラス

洋傘　本品ハ專ラ清國韓國其他東洋諸國ニ輸出スルモノニテ從來ハ木綿張ノ低廉品ノミナリシカ漸次價格稍々高ク從ヒテ品質稍々佳ナルモノノ輸出スル傾向ヲ生セリ是レ喜フヘキ現象ナリ洋傘ハ我國ノ手工業ニハ最適切ナル事業ニシテ傘張布ノ改良ヲ圖リ製作ノ堅固ヲ勉ムル等注意シテ改善ニ怠ナケレハ單ニ東洋ノミナラス將來歐米等ノ各地ニ販路ヲ得ヘキ望ナキニアラサルヘシ

扇子、提燈

是等製品ノ主ナル輸出地ハ北米合衆國及歐洲諸國トス扇ハ京都名古屋提燈ハ岐阜名古屋ヲ以テ主ナル製產地トス是等物品ハ近來意匠ノ進歩ニ於テ見ルニ足ルモノアリト雖モ價格低廉ニノミ意ヲ傾ケテ品質ヲ粗惡ニナシ其極度製品脆弱トナリ往々實用ニ適シ難キモノアルヲ見ルハ慨トスル所ナリ

齒磨楊子、刷子類

本品ハ七部ニ屬スル輸出品中重要ナルモノニシテ事業整然製造ノ技倆進ミ其主ナル需要地タル北米合衆國ニ於テ特長ヲ以テ誇ル所ノ佛國製品ト優劣ヲ競ヒ輸贏ヲ爭フニ至ル甚嘉ミ

スヘキ所ナリ

花莚　輸出品中販額最巨大ナル物品ニシテ專ラ北米合衆國ニ販賣スルモノナリ本品ハ米國海關稅ノ改正以來精巧高價品ノ賣行澁滯シテ低廉ナル普通品ノ需要ヲ增セリコノ故ニ本品製造ノ技ハ顯著ナル技術ノ進歩ヲ見ルナシ將來販路ノ擴張ヲ勉メ米國以外ニ售路ヲ求メ益々技術ノ研究ヲ盡シ本業ノ隆盛ヲ圖ルコトニ注意スヘシ

洋燈及部分品、玻璃鏡其他玻璃製品

是等ハ清國印度其他東洋諸國ヘノ輸出品ナリ近來玻璃製造ハ大ニ其技ヲ進メ東洋市場ニ於テ獨逸製品ト優劣ヲ競フヘキモノアリト雖モ我製品ハ價格低廉ニ意ヲ傾ケテ品質脆弱ノ弊ニ陷リ易シ宜ク實用ヲ重シ以テ技術ノ研究ヲ勉ムヘシ

屏風　輸出向ノ屏風ハ金巾或ハ綿繻子ニ刺繍又ハ描書ヲ施シタルモノヲ以テ製作スルモノナリ本品ハ專ラ歐洲諸國及北米合衆國ニ販賣スルモノニシテ室內裝飾品トシテ使用スルモノナレハ是等諸國ノ人情嗜好ヲ探究シテ適應ノ意匠圖按ヲ施スヲ勉ムヘシ

甑具　歐米諸國及清國ヲ以テ仕向地トス我甑具ハ特種ノ趣味アリ以テ歐米人ノ好奇心ニ投シ又價格低廉ノ故ヲ以テ逐年輸出ヲ增ス傾アリ

皮革製品　主ナル種類ハ鞄、貨幣嚢、紙入等ナリ主トシテ清國韓國ニ輸出ス是等製品ハ外觀美ナルモ脆弱ニシテ實用ニ適シ難キモノ多シ

象牙製品　本品ノ製造ハ能ク我手工ニ適ス本品ハ元來玩弄ニ屬スルモノ多キカ故ニ需要

者ノ嗜好ニ投シ品種ニ應シテ意匠ノ研究ニ注意スルコトヲ要ス

家具　椅子、卓子、飾棚、洗面臺等雜種ノ家具ニシテ歐米及東洋諸國ニ販賣セラル本邦家具ノ製造ハ未タ幼稚ニシテ製作脆弱意匠不適ノ誹ヲ免レス將來大ニ意匠ノ研究材料ノ採擇製作ノ技術等ニ意ヲ用キテ研究ヲ盡シ以テ改善ヲ圖ルコトヲ要ス

竹籠竹簾及他ノ竹製品

本品ハ種類雜多ニシテ卓子花臺爐屏ノ如キ家具ニ屬スルモノアリ紙屑籠蒸餅入、衣服入、香水入等ノ如キモノアリ是等ハ竹材ノ珍奇ナルト我竹細工ノ巧妙ナルトニ由リ歐米人ノ好奇心ニ投シ輸出セラルヽモノナリ然レトモ本品類ハ精ナルモノハ價格貴キニ過キ價格低廉ナルモノハ品質粗ニシテ實用不適ノモノ寡シトセス宜ク實用ニ適シ堅固ナル物品ノ製作ニ注意スヘシ

青銅器　概子裝飾ニ屬スルモノニテ主タル輸出先ハ歐米諸國トス近年本品製造ノ技術ハ進歩見ルヘキモノアリ尙ホ意ヲ意匠圖案ノ講究ニ凝ラシ學理ノ應用ニ怠ナケレハ前途ノ輸出愈々好望ナラン

鐵製品　本品ハ清韓兩國ニ專ラ輸出スルモノニテ鍋類釜類其他庖厨用ノ器物トス將來技術ノ改善ヲ勉メ清韓兩國ノ居住風俗ニ適スルモノヲ探究シテ適切ナル物品ヲ製作シ其需要ニ應スルコトヲ努ムヘシ

繩索、藺繩、叺、莚ノ類ハ專ラ清韓兩國ニ向ヒテ輸出スルモノナリ

斯ノ如ク本部ニ屬スル物品ハ輸出ニ好望ナルモノ多シト雖モ近來同業競爭ノ結果價格低廉ヲ旨トシテ品質粗惡ニ流ル、弊害アルハ甚タ遺憾トスル所ナリ將來當路ノ商工業者ハ共同團結シテ此弊害ヲ矯正スルノ策ヲ講シ從來ノ如ク物品ノ輸出ヲ本邦ニ居留スル外商ニノミ委セス進ンテ海外需要地ニ直接輸出ノ途ヲ開キ其人情嗜好等ヲ探究シテ適切ノ物品ヲ製造スルヲ努メ以テ益々輸出貿易ヲ擴張センコトヲ企望ス

第七部審査部長　手島精一

審査第七部職員

部長　手島精一

審査官

守屋物四郎
山岡次郎
宮田太郎
平山英三
佐藤友太郎
横井時冬
湯淺市郎
柳澤貫一
富田忠詮
石原卯八
杉本源吾
神谷邦淑
今村長賀
河井清三郎
井手馬太郎
關口寛一郎
飯河三角

文學博士

第五部ヨリ兼勤	押田翼	
仝	青山盈斃	
仝	野田忠藏	
仝	雨森菊太郎	
仝	丹羽圭介	
第六部ヨリ兼勤	早川龍介	
仝	犬丸鐵太郎	
第八部ヨリ兼勤	淺村三郎	
第九部ヨリ兼勤	辻岡精輔	
仝	澤邊春水	
第十部ヨリ兼勤	平野耕輔	
仝	金子篤壽	
仝	金子錦二	
仝	山口務	
仝	岡本金一郎	
仝	阪田貞一	工學博士
仝	平山藤次郎	
仝	篠田利英	
仝	今泉雄作	
仝	石川光明	
仝	海野勝珉	
仝	淺井忠	

第七部製作工業出品授賞一覽

| | | |

德島	和歌山	廣島	岡山	島根	鳥取	富山	石川	福井	秋田	山形	青森	岩手	福島	宮城	長野	岐阜	滋賀	山梨	靜岡	愛知
一、二六三	四八〇	一二五	一、四六七	一、八二二	三八五	七五一	五八九	六〇五	一、〇五八	四一〇	一五七	九九九	八五	二、五四五	二一一	二、一三七	二八三	七三四	一、二一一	二、五一八
一八二	一三九	三四	三三四	二〇一	一二八	二四八	一八一	二一七	一一二	一一一	二四六	四二	一四七	六一	二九八	一一	一一	七二	四八七	三一四
四																				
五五																				
一九二																				
六八五																				
二、七八一																				
四																				
三、七二一																				

合計	臺灣	沖繩	北海道	鹿兒島	宮崎	熊本	佐賀	大分	福岡	高知	愛媛	香川
五九、四八七	七五七	一四八	四六	二四六	二四	六四〇	一一二	三二五	一〇、八六	三〇七	八一三	五三六
八、九六二	二五四	二一	二〇	二九	五	六五	五五	一三四	三四〇	一三八	五九	一二〇
四												
五五								一	一			
一九二								四	一			二
六八五								八	二三	五	一	三
二、七八一								四	六四	三三	一六	三〇
四												
三、七二一								五三	八八	三八	一七	三五

第三十一類　金屬製品　其一

鑄造品　其一

審査官　海野勝珉
富田忠詮
雨森菊太郎
青山盈數
井手馬太郎

金屬品中鑄造品ニ係ル本會出品ハ其人員點數ヲ第四回ニ比較セントスルモ第四回ノ分類ト異ルヲ以テ明ニ增減ヲ示ス能ハス然レトモ第四回第一部第十三類其一金屬器裝飾品及其二金屬器日用品ノ二種合計ハ出品人員三百三十九名出品點數千六百二十七點ニシテ本會鑄造品ノミノ出品人員三百三十一名出品點數千六百二十七點ナルニ比シテ大差ナキヲ見レハ本會ノ鑄造出品人員及點數ハ第四回ヨリモ遙ニ增加シタルヲ測知スヘシ何ントナレハ第四回ノ右二種合計ノ內ニハ鑄造品ノ外ニ彫金、打物ノ裝飾品及ヒ屏風、鉸具、釣瓶、焜爐、火箸、十能、鞄口、鉸具、金網細工、銅簾鑢子、燒印、飯蒸器、軍用食器、墨斗、盥盤、無地茶壺、水注、湯沸、鎖等ヲ含有スルニヨリ本會ニ於ケル是等他ノ分掌ニ屬スル諸品ノ人員及點數ヲ合計シテ第四回ノ右二種合計ニ比較スレハ非常ノ增加ヲ見ルヘキヤ明カナレハナリ而シテ本會ノ出品カ前回ヨリ增加シタルハ一般ノ趨勢ニシテ別ニ說明ヲ要セサレトモ鑄造品ノ製產額ハ明治二十八年以降年々增加シ居リ且海外輸出額亦年々增加シテ明治三十五年ニハ青銅製品ノ輸出額參拾貳萬八千餘圓ニ上リ明治二十九年ノ拾八萬餘圓ニ比スレハ殆ント倍額ニ達セリ蹐ヒテ本會ノ出品ニ往輸出向ニ適當スルモノヽ增加スル傾向アルハ喜フヘキナリ

本會ノ出品ニ於テモ亦第四回ノ時ト同シク美術工藝品ノ鑑査ニ通過セスシテ第七部ニ變更出品シタルモノアリ又美術工藝品トシテ製作シタルモ鑑査ノ期ニ後レタルカ爲第七部ニ出品シタルモノアリ是等ノ物品ト初ヨリ第七部ヲ目的トシテ出品シタルモノトノ間ニハ頗ル其趣向ヲ異ニスルヲ以テ之レカ審査ニ就キテ大ニ商量ヲ要シタリ然レトモ第七部ハ專ラ普通工業品ヲ出スヘキ所ナルヲ以テ假令其製作カ美術工藝的ニ精巧ニ成リタルモノト雖モ產額ノ少ク販路ノ狹キモノ又ハ價額ノ不相當ニ貴キモノ等ハ之レヲ賞揚スル能ハス之レニ反シテ其製作精巧ナラサルモ產額多ク販路廣キモノハ之レニ優賞ヲ與ヘテ奬勵スルノ適當ナルヲ認メ此方針ニ依リテ優劣ヲ分チ等級ヲ付シタリ出品者ハ今後二兎ヲ逐フモノハ一兎ヲ得サルノ愚ヲ學ハス宜ク美術工藝品ト普通工業品トノ區別ヲ立テ專ラ其何レカノ一方ニ力ヲ盡シテ製作スヘキナリ

普通工業品ニ在リテ物品ノ實用ニ適スルコト、價格ノ廉ナルコト、ハ最モ重要ノ事タリ然ルニ本會出品中ニ間々實用ノ點ニ意ヲ注カサルモノアリ殊ニ輸出品ニ於テ多ク認メタリ從來我國內地用ニ製シタルモノカ偶外人ノ嗜好ニ投シ賣レ行キタルヨリ其外國ニ在テ如何ナ

ル邊ニ適用サル、カヲ究メス徒ニ同種ノ物品ヲ製スルガ如キコトアリ所謂輸出向ト稱シテ內地ニ使用スベカラサル奇怪ナルモノモ間々アリト雖モ是レサヘ未タ充分ニ外人ノ實用ニ適スル工夫ヲ凝シタルモノニアラサルナリ其特ニ外人ノ需要ヲ考ヘ製作シタル如キハ電氣燈臺傘揷等僅々數種ニ過キス是等ハ將來大ニ注意ヲ促スヘキコトナリ大製造家タルモノハ宜ク相當ノ人ヲ選ヒテ海外ニ派シ其需要ノ實況ヲ詳ニ査察セシメ外人ノ實用ニ適シ販路ノ繼續スヘキモノヲ製造スルニ至ラハ銅器ノ輸出ハ更ニ增加スルコトヲ期スヘキナリ而シテ之レト同時ニ製作ノ上ニモ工夫ヲ凝シ費用ヲ節シテ價格ヲ低廉ニスルヲ要ス一例ヲ擧クレハ彼ノ置物ノ如キ原型ニ力ヲ用キテ精巧ナルモノヲ選ヒ原型一タビ成レハ幾十個ニテモ鑄造シ得ヘキコト、セハ精品ヲ廉價ニ販賣スルヲ得ン

材料ノ適用及着色ノ應用ニ就キテモ亦能ク其金屬ノ性質ニ隨ヒ耐久ノ計ヲナサヽルヘカラス徒ニ外觀ノ美ヲ裝ヒ又ハ珍奇ノ念ニ誘ハレ其物固有ノ性質ニ戻リ又ハ器物應用ノ上ニ損シ易キモノヲ製スルカ如キハ避クヘキコトナリ本會出品中例ヘハ花瓶ニ水氣ヲ忌ム燻色ヲ施シ火鉢ニ火氣ヲ厭フ青銅色ヲ施スカ如キ屋外露出ノ品ニ施スヘカラサル漆色ヲ庭園置物ニ用キルカ如キ共ニ永久ノ用ニ堪ヘス又錫ヲ以テ大花瓶又ハ銀ニ擬シタル湯瓶ヲ作リタルカ如キモ材料ノ適用ヲ誤リタルモノト云フヘシ須ク製造家ノ考慮スヘキ處ナリトス

意匠モ亦固ヨリ尙フヘキモノニシテ第四回ノ金屬製品審査報告ニハ特ニ此事ニ關シテ詳論スル所アリキ然レトモ所謂意匠考案モ亦平素需要ノ如何ヲ要シ材料ノ性質ヲ辨シ工人ノ技倆ヲ知ルニアラサレハ往々其適用ノ誤ルコトアリ本會出品中平素製作ニ慣レサルモノヲ特ニ意匠家ノ考案ヲ煩ハシテ出品シタルモノ、如キハ甚タ感服シ難キモノアリ是レ意匠家カ其地平素ノ事情ヲ詳ニセス唯製造家ノ委囑ニ任セテ考案ヲ授クルヲ以テ恰モ僻地ノ村嬢カ都會流行ノ衣服ヲ着ケタル如ク態度姿容相應セサルノ憾ナシトセス斯ル意匠家ニ囑センヨリハ平素其地ノ圖案ヲ作ルモノヲシテ形狀摸樣ノ上ニ考案ヲ練磨セシムルノ道ヲ講シ博覽會ノ出品ニモ亦平素ノ物ヲ用キルニ若カサルナリ

製產額ノ多キ地ニハ實業學校ヲ設ケ製作意匠等各長所アル專門敎師ヲシテ製造家工人ノ子弟ニ敎授セシメ傍ラ內外各種ノ見本品又ハ圖書等ヲ備ヘテ實地經驗アル製造家工人ニ觀覽セシメ以テ製作ノ參考ニ資セハ製品ノ改善ヲ企ツル上ニ於テ最モ適當ナルヘシ富山縣工藝學校ノ如キ第四回同地ノ出品ト本會ノ出品ト比較スレハ蓋シ同地ノ銅器ニ對シテ貢獻スル處少カラサルヲ知ルヘシ其製產額少キ地ハ特ニ學校ヲ設クル能ハサルモ其地製造家ノ子弟ヲシテ他地方ニ在ル實業學校ニ入リ其必要ナル學科ヲ修得セシメ以テ其他ノモノニ傳習セシムルモ亦可ナラン此ノ如キハ其原料ノ撰擇ニ其製法ノ改善ニ將タ意匠ノ考案ニ就キテ悉ク學理ヲ應用シテ根本的ニ進步セシムルヲ得ヘシ實業敎育ノ必要ハ獨リ鑄造品ニ止マラス各種ノ工業皆然リト雖モ出品ニ就キテ感スル所アルヲ以テ茲ニ付記ス

鑄造品ニ就キテ優等ノ賞ヲ得タルモノ大阪京都富山ニ各一等一人東京ニ二等二人大阪ニ同二人富山ニ同一人石川ニ同一人ニシテ何レモ特ニ一品ヲ指定シテ擬賞シタルニ非ス皆其出

品各種ニ對シタルモノナリ大阪ノ一等島佐兵衛ハ其製造販賣ノ巨額ニシテ且其出品モ亦輸出ニ適スルモノ多ク平素海外貿易ニ心ヲ用キル深キニ依ル東京ノ二等石井喜兵衛栗谷源六ハ略同一ノ出品ニシテ中ニハ美術工藝的ノモノナキニ非サルモ輸出ニ適スルモノアリ其製造販額亦少カラス且製作見ルヘキモノアルニ依ル京都ノ一等平呼吉兵術ハ製品多ク內地向ニアレトモ其技術ニ熱心ナル第四回ニ比シテ著ク進歩シ且販額亦少カラサルニ依ル大阪ノ二等高尾定七ハ製造販額ノ多キト輸出ニ力ヲ盡ストニ依ル又同中村半兵衛ノ錫器類石川ノ水野源六ノ銅器モ意匠製作共ニ佳良ナルニ依ル富山ノ一等鹽崎利平ハ製造販額少カラサルノミナラス同地銅器ノ發達ニ熱心シ其製品亦見ルヘク同地金森七郎ノ品出モ販路廣ク製造宜キモノアルニ依ル三等賞以下ノモノハ一々說明セス要スルニ出品優等ニシテ且製造販額多ク又平素斯業ニ熱心ナルモノヲ選拔シ以テ更ニ他日ノ發達ヲ奬勵スルニ在リ

更ニ各地方ニ就キテ概評スレハ出品ノ最多キハ大阪府ニシテ富山縣之ニ亞キ岩手縣京都府又之ニ亞ク他ハ百點以下ナリ大阪府ハ會場所在地ナレハ其出品ノ便宜ナルヨリ競ヒテ出品セシカ如キモ間々取ルニ足ラサルモノアリ其輸出向トシテ出品セシモノモ往々粗製ニシテ破碎シ易キ恐レアリ唯大作モノヽ價格カ比較的低廉ナルハ此府ノ特色ナルカ如シ富山縣ハ全國第一ノ銅器產地ニシテ其產額年々增加シ而モ近來輸出品ヲ多ク製出スルニ至リ其着色亦見ルヘキモノアリテ第四回ノ出品ニ比スレハ面目ヲ一新セリ然レトモ特ニ博覽會ノ爲ニ製シタルモノヽ如キハ圖案良好ノモノ少ク且價格亦不當ナリ其平素輸出ニ適スル廉價ノ物品ヲ出サヽリシハ遺憾ナリ岩手縣ハ鐵瓶ノ產地ニシテ出品ノ大部分ヲ占ム其質良好價格亦低廉ニシテ內地ノ日用品ニハ適當ナリ京都府ハ出品ノ種類多ク美術工藝的ノモノ輸出向ノ大作モノ又日用物ノ鐵瓶等アリ製作ハ巧ナレトモ價格ハ廉ナラス東京府ハ其出品美術工藝的ノモノ多キモ間々輸出向ソモノヲ交ヘタリ而シテ製作ノ巧ナルト價格ノ貴キトハ京都府ニ同シ島根縣ハ近年漸ク發達シ來リ價格亦廉ナリ將來內外ノ需要ヲ察シテ適當ナル製品ヲ作ラハ可ナラン愛知縣ハ內地向ノモノ多シト雖モ傘立ノ如キハ米國ニ輸出スルモノ多シト聞ケハ出品者カ更ニ廉價ニ製出セハ販路ヲ得ヘシ新潟縣ハ內地向ニモアラス輸出向ニモ適セサルアリ第四回ヨリ劣レルカ如シ更ニ當業者ノ奮發考究ヲ要ス其他ノ諸縣ハ出品少キニヨリ略ス以上ハ府縣出品ノ概評ニシテ其各自出品ニ就キテハ之ト異ナルモノアルノミナラス價格ノ如キ同一人ノ出品ニシテハ甲廉ニシテ乙ハ貴キニ過クルノ類アリ固ヨリ悉ク一律ニ論スヘカラサルナリ

錫器ハ大阪府ノ出品最モ精巧ニシテ價格モ亦相當ナリ鹿兒島縣ノ出品ハ製品可ナラサルニ非サルモ原料ヲ多ク用キ重量ノモノヲ作リタルニ依リ價格廉ナラス且日用ノ取扱ニモ便ナラス更ニ都會ニ於ケル製品ニ參照シテ廉價輕便ノモノヲ作ラハ可ナラン臺灣ノ錫器ハ製作拙ニシテ內地ニ比スヘクモアラス而シテ鉛ヲ混合スルノ量多キハ茶器等ニ於テ衛生上ニ害アリ注意ヲ要ス

第三十一類　其一　銅錫製品各種

	出品點數	出品人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	五四	一七	一	二	四	八	一四
大阪	一三六	三二			六	一八	二五
神奈川	四四二	七九	一	二	二	二五	三〇
長崎	八	三			一	一	二
新潟	七	一					
群馬	九	八			一	三	四
茨城	一	一				一	一
栃木	七	四					
三重	三	一					
愛知	一五	四			一	五	六
静岡	二	一				一	一
滋賀	八	四				二	二
宮城	一〇	一					
福島	二	一					
岩手	九	四			四	二	六
山形	七	一			一	一	二
秋田	三	三					
福井	二	一					
石川	一三	四					
富山	三六	八					
鳥取	一						

	出品點數	出品人員	一等	二等	三等	褒狀	計
島根	五三	六					
廣島	五五	二					
香川	六	一					
大分	二	一					
熊本	一〇	三					
鹿兒島	六一	六					
臺灣	二二	八					
合計	一、六二七	三三一	一	一	一二	二六	四〇

第三十一類　金屬製品

其一　鑄造品　其二

審査官　富田忠詮
　　辻岡精輔
　　杉本源吾
　　青山盈敬
　　河井清三郎

鍋釜ハ出品點數三百四十五點人員七十一名ニシテ北海道、沖繩臺灣及神奈川外十四縣ヲ除キ他ハ多少ノ出品アラサルハナク其最モ多キハ大阪、奈良、廣島、福岡等ノ府縣トス而シテ本品タル本邦ノ工業品中頗ル古キモノナルト又其物ノ性質トニヨリ各地方ノ出品トモ甚シキ優劣ナキカ如ク亦其改良進歩モ頗ル遲々タルヤノ感ナクンハアラス然レトモ廢物ヲ巧ニ利用スル事ハ大阪府最モ進歩シタルノ跡アルモ各地ノ出品トモ原料ノ撰擇概ネ其宜キヲ得ス隨ヒテ製品粗惡ナルハ一大欠點ナリトス中ニハ徒ニ其表面ヲ研磨シ外觀ノ美ヲ裝ヒタルカ如キ

弊アルハ製作ノ目的ヲ誤リタルモノトス而シテ原料鎔解ノ薪材トシテハ高價ナル木炭ヲ使用スル地方多ク之レニ代フルニ骸炭ヲ使用シ價格ヲ低廉ナラシムルノ研究ナキハ一大遺憾ナリトス然レトモ輓近朝鮮國等ニ輸出ノ途開ケタルハ大ニ喜フヘキ現象トス但本品價格ハ現時ノ製作方法トシテ概ネ皆其當ヲ得タリ

五德ハ出品點數極メテ少ク即チ點數拾九人員一名ニシテ出品地方ハ東京、大阪ノ二府新潟外四縣トス本品ハ全國ニ於テ需要セラルヽ數量ハ尠カラサルヘキモ主要ナル工業品トシテ認メラルヽニ至ラサルハ已ヲ得サル所ニシテ出品點數ノ多カラサルモ亦茲ニ因由スルモノト認ム而シテ品質ノ善惡原料ノ撰擇方ノ良否及價格等ハ前記鍋釜ニ就キテ述ヘタルモノト同シ然レトモ其ノ形狀ヲ頗ル巧ニ改良シ便利ノ物品タラシメタルモノアルカ如キ賞スヘキナリ

要スルニ前記ノ諸物品ニ就キテハ原料ノ選擇及其配合ニ一層ノ研究ヲ進メ而シテ之ヲ熔解セシムル薪材トシテ骸炭ヲ專用シ得ルノ方法ヲ講スルコト今日ノ急務タルヘク畢竟現下ノ狀況ハ製作上ノ注意充分周到ナリトハ言ヒ難カルヘク思フニ將來篤ノ改良ト相俟チ改良ノ餘地アルモノト云フヘシ

藥鑵、金盥ハ點數八十四點人員二十四名ニシテ出品地ハ三府及岐阜外三縣トス而シテ點數ノ最モ多キハ大阪トシ總點數ノ八割ヲ占ム製品又概シテ比較的優良ナリ本品類ハ鍋釜ニ比スレハ進歩ノ跡ヲ認メ得ヘク大阪府出品ノ如キ特ニ顯著ナルモノアリ格價ハ現時ノ製作方法トシテハ各地出品トモ概ネ相當ナリトス然レトモ之ヲ製作スルノ方法各地トモ專ラ手工的ニシテ機械ヲ用キルモノ少ク斯業ノ隆盛ナル大阪ニ於テスラ機械力ニ賴ルモノ極メテ少數ナルハ遺憾ノ極ナラズヤ斯ル物品ハ手工的ナルト機械的ナルトニ依リ製作ノ價格ニ於テ著大ナル相違ヲ生スヘク工業品中機械ノ恩惠ニ浴スルコト最モ多キモノナルニ未タ斯ル進境ニ達セサルハ歎惜スルニ餘アリ思フニ古來ノ習慣ハ此ノ視易キ利害得失ヲ看破スルニ至ラサルト工業者ノ薄資ナルトニ依ルモノナルヘシ

要スルニ本品類ハ可成利便ナル機械類ヲ使用シ價格ノ低廉ヲ計リ且其仕上ニ一層ノ注意ヲ加フルニアラサレハ未タ充分ナリトハ言フ能ハス

第三十一類　其一　其二　鍋釜藥鑵類其他

	出品點數	人員	一等級	二等級	三等級	褒狀	計
東京	一八	六			二		三
都							
京	五	四					二
大	九七	二八		二			二
阪					七		
兵	四	一					
庫							
新	一	一			一		一
潟							
埼	八	四					
玉							
茨	六	三					三
城							

	栃木	奈良	三重	愛知	静岡	岐阜	宮城	岩手	山形	秋田	福井	石川	鳥取	島根	広島	山口	和歌山	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀
	六	二	四	五	二	六	九	一	〇	二	一	七	四	一	四	四	一	五	一	一	一	一	七	二
	一	四	二	二	二	一	一	〇	一	三	一	四	一	五	八	二	一	一	一	一	一	三	一	一

九點ニシテ其出品人員八十五名ナリ其中出品人員多數ニシテ出品點數モ亦大ナルハ東京府大阪府ナリトス蓋シ厨爐、竈、風呂釜ノ如キハ未タ以テ海外輸出ノ企望ヲ有スルモノニ非ス又輸入ナケレハ之ヲ防クモノニモ非スト雖モ國家經濟ノ上ヨリ之ヲ觀ルトキハ其重要ナルト輸入若クハ輸出品ノ上ニ在ルコト萬々ナリ故ニ輓近薪炭ノ高價ナルニ從ヒ是等ノ改良ハ日一日ヨリ急ナルヲ告ケ爲ニ是等ノ改良ハ世人ノ均ク注意スル所トナレリ今一面ヨリ觀察スルトキハ國家經濟ノ基本ハ蓋シ主トシテ厨具ノ改良ニアリ厨具ノ改良ハ竈、爐、風呂釜等ノ改良ヲ以テ最モ緊要ノコトヽス今回ノ出品ノ如キハ明カニ此ノ必要ニ迫ラレタルノ跡ヲ示シ之ヲ前回マデノ博覽會ノ出品ニ比較スルトキハ優ニ一頭地ヲ拔クノ觀アリ東京府ニ於テ石川松五郎、阿部彦太郎、梅田仙吉大阪府ニ於テ鹽見福藏ノ出品ノ如キハ其構成ニ於テ著キ注意ヲ與ヘタルノミナラス產額モ亦尠シトセス且價格モ適當ニシテ薪炭ヲ用キル爐トシテハ蓋シ甚シキ缺點ヲ見ス世ヲ稗益スルコト亦尠少ニアラサルヘシ且近來薪炭ノ高價ナルカ爲石炭若クハ瓦斯ヲ以テ之ニ代用セント企ツルモノ多シト雖モ未タ能ク其目的ヲ達スルニ至ラサルニ當リ彼東京府伊藤常太郎ノ出品ノ如キハ石炭ヲ使用スル竈トシテ殆ント完全ノ域ニ進ミタルモノニシテ之ヲ泰西ノ竈ニ比スルニ多ク讓ル所アルヲ見サルノミナラス其本邦ノ生活ニ適スルノ點ニ就キテハ寧ロ彼レニ優レルヲ見ルヘク東京瓦斯株式會社ノ出品ノ如キハ瓦斯ヲ燃料トナスニ於テ甚タ適當ナルモノナリ且此二者ハ本邦ニ於テ石炭若クハ瓦斯ヲ使用スル竈トシテ實用ニ適スル唯一ノモノト稱スルヲ得ヘシ其他ノ竈ノ出品ノ如キモ皆幾分ク改良ヲ施セルモノニ非サルハナク大体ニ於テ今回ノ出品ハ舊來ニ比シ全ク面目ヲ改メタルモノナリ又風呂釜ニ於テモ今回ノ出品ハ改良ヲ加ヘタルモノ多ク獨リ廣島縣等ノ出品タル長州風呂又ハ五右衛門風呂ヲ除クノ外ハ何レモ一新機軸ヲ出セルモノニアラサルハナシ就中大阪府ノ出品ニ至リテハ能ク實用ニ適シテ薪炭ノ費用ヲ省キ製作モ亦良好ニシテ他府縣ノ如ク實用上ノ缺點ヲ見ス之ヲ要スルニ竈、風呂釜、厨爐等ハ今尚日進月歩ノ半途ニアルモノニシテ今回ノ出品ノ如キ之ヲ證シテ餘リアリト雖モ此ノ如ク改良ノ氣運ニ向ヘルハ薪炭ノ高價ナルニ其源ヲ發シ鐵製竈等ノ發生ニヨリ大ニ其進歩ヲ助ケタルモノニシテ其發達ノ日未タ淺ク出品ノ多數ハ數年前ニ特許ヲ得若クハ目下特許出願中ニ屬スルモノナレハ向後ノ發達ハ大ニ望ヲ屬スヘキモノナレトモ今日ノ出品ヲ以テ其是非ヲ評スルハ少ク早計タルヲ免レサルナリ然レトモ今是等ノ出品ニ就キテ二三ノ注意ヲ述フレハ第一材料ノ撰擇ヲ誤マレルモノ多シ例ヘハ鐵製ニシテ可ナル場所ニ向ヒテ徒ニ銅ヲ用キ其價ヲシテ高カラシムルノミナラス却テ熱ノ放散シ易キ弊害ヲ招クカ如キハ銅壺ニ於テ多ク見ル所ナリ第二濫ニ餘熱ヲ利用シテ不用ノ湯ヲ沸カサントスルコト必シモ不可ナルモノニ非スト雖モ其主眼ナル煮沸物ニ向ヒテ可及的熱ヲ利用スルヲ專一トナスヘキニモ拘ラス是等ノ点ニ向ヒテ注意セスシテ徒ニ不用ノ湯ヲ沸サントスルハ尤モ不可ナリ此ノ如キハ銅壺、竈、焜爐ニ多シ第三、或ル利益ヲ收メントシテ徒ニ其構成ヲ複雜ナラシメ以テ婢僕ノ如キ智力ナキモノヽ使用ニ堪ヘサラシムルコトナリ今回ノ出品中焜爐竈

等ニ於テ其例少カラス第四學理ノ應用ヲ知ラサルカ爲ニ無益ナル搆成ヲ用キルモノアリ以上ノ四點ノ如キハ明カニ我邦竈、風呂釜等ニ於ケル欵點ニシテ泰西ノ竈風呂釜等ニ於テハ流石ニ此ノ如キ缺點ヲ見ス但泰西ノモノヲ以テ直チニ吾邦ニ利用セントスルモ生活ノ狀態ヲ異ナレル以上ハ到底不可能ノ事ナルハ勿論ナルカ故ニ彼ノ竈等ヲ參酌シテ之ヲ吾邦ノ現狀ニ適スヘク改良センニハ當業者カ將來施スヘキ餘地尙廣遠ナルモノアラン因ニ曰フ彼東京府東京瓦斯株式會社ノ出品伊藤常太郎ノ出品大阪府清川嘉助ノ出品ノ如キハ大ニ泰西ノ竈ヲ參酌シ之ニ接近セル觀アリ

次ニ十能、栓拔、鑵切、呼鈴ノ出品ニ至リテハ其點數モ僅少ニシテ特ニ記述スルヲ要スヘキモノナシ

第三十一類　其一　其六　第三十三類　其四　厨爐、竈、銅壺、風呂釜、焜爐、栓秩、鑵切、井戶側、井戶車、報鈴、十能、金串等

出品	點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	三六	一三			三	四	七
京都	三	二			一	一	二
大阪	六一	三一					
兵庫	四	二					

合計	大分	高知	香川	德島	島根	廣島	山口	靜岡	愛知	三重	奈良	栃木	茨城	群馬	埼玉
一五九	二	六	二	一	一六	一	一	二	六	三	四	四	一	一	二	三
八五	二	四	一	一	八	一	一	一	三	三	二	四	一	一	一	三
四																
三一		二	一		五	一		一	一	一	二					一
三五		二	一		五	一		一	一	一	二					一

第三十一類　金屬製品

其四　打物及彫金製品

審査官　海野勝珉
平山英三
前田健次郎

第三十一類ノ二ハ打物彫金製品ト定メタレトモ彫金ノ下ニハ各種ノ象眼製品アリ又玉石木竹牙角介甲等ノ彫刻アル製品ハ悉皆包含スルコトヽナレルカ故ニ其種類頗ル多岐ニ亘リタリ單ニ彫金ト稱フル製品ニ於テモ其大体ヲ鑄造シテ後彫刻ヲ施セル所謂鑄浚ト稱フルアリ鎚造セル物品ニ彫刻ヲ加ヘテ裝飾ヲ完成スルアリ以上二種類ノ採否ハ其主要ノ點ノ所見ニ因テ所屬ヲ殊ニシ往々異論ヲ生スルコトアルカ故ニ今回ハ他ノ審査官ト豫メ協議セシメテ其所屬ヲ定メタル後審査ニ着手スルコトヽセリ玉石木竹其他ノ彫刻品ヲ彫金製品ニ附屬セシメテ審査スルハ穩當ナラサルノ觀アルモ製作工業ノ種類中他ニ附屬セシムヘキ處ナキヲ以テ是又此種類中ニ收容シテ審査スルコトヽナセリ以上ノ事由ハ審査報告ヲ爲スニ先タチテ一言セサルヲ得サル要點ナリトス

本類ノ出品ハ全府縣ニ亘リテ全ク出品ヲ缺ケルハ埼玉、宮崎、鹿兒島、沖繩ノ四縣ノミ而シテ其出品人員ハ六百三十二人品數三千五百九十九點アリ右ノ內賞選ニ入レルハ一等四人二等二人三等二十六人褒狀百三十二人ナリ前述ノ如ク出品ノ種類極メテ宏汎ナルユヱ進歩ノ程度一樣ナラスト雖モ概シテ發達ノ狀アリ各種類ヲ通シテ出品ノ多カリシハ東京、大阪ヲ第一トシ岐阜、新潟、宮城、廣島第二位ニ在リ京都、富山又其次ニ位セリ東京、大阪ニ出品多キハ打物彫刻

其他ノ工業者ノ具備セルニ因リ岐阜ハ赤阪石ノ彫刻品多ク新潟ハ燕町ニ打物業ノ盛ニシテ全國中有數ノ地タルニ因リ宮城ニハ埋木細工化石製品ヲ出ス者ノ多キニ因リ廣島ハ宮島產物ノ本彫ノ盆及ヒ木製品ヲ出ス者ノ多キニ因ル京都ハ各種工業者ノ具備セルニモ拘ラス打物彫金以外ノ製品稀少ナリシカ爲メ前記府縣ニ比スレハ出品數ヲ減シ富山ハ打物木彫象眼品等京都ト略ホ同品數ヲ出セルモ受賞ノ結果ノ遠ク及ハサリシハ勢ヒ止ムヲ得サルナリ以上ノ外ニ在テ特ニ各方面ニ進歩ノ見ル可キモノアルヲ島根トス同縣ニハ打物アリ彫金アリ瑪瑙水晶細工アリ挽物アリテ各見ルヘキ品アリ挽物ノ如キハ前回以來其精技ノ世人ノ記臆ニ存スルモノアリテ今回モ亦數品ヲ出シタリ

東京ノ打物業者ニシテ其上位ニ在ル者ハ皆幕府時代ニ刀劍裝飾具ノ製造ニ從事シ下地師ト稱ヘテ殆ト金屬彫刻家ノ附庸ノ如キ觀アリシモ維新後廢刀令ノ頒布ニ因リ彫刻家ノ萎靡不振ニ陷リシ時ヨリ漸ク其羈絆ヲ脫シテ獨立スルノ運ニ向ヒ刀劍裝飾具ノ小品ノミ製出シタル慣習ヲ棄テ室內裝飾具飮食器具等ノ製造ヲ創メ小柄笄ニ用キシ斜接（シナヒツギ）法ヲ擴メテ花瓶其他ニ象嵌銀等ノ矧合セヲ試ミ更ニ進テ金銀烏金ノ切嵌ヲ成功スルニ至レリ今回美術館ニ鑲銀鎚製ノ大花瓶ヲ出品セシ黑川榮勝ノ如キハ第三回ニ於テ既ニ矧合セノ精巧ナル品ヲ出シ第四回ニ於テハ香爐峰圖切嵌果盆ヲ出シテ妙技二等賞ヲ受ケタリ今回本館ノ出品ハ輸出ニ適スヘキ品ノミヲ出シタレハ特ニ評スヘキ點ハ無レトモ全体ニ於テ能ク整備セルヲ見ル是ニ次テハ平田重光、宮本勝等ノ製品皆優レタリ京都ニ於テハ紹美榮祐、西村安兵衛、井上豊秘等ノ出品

最モ佳ナリ就中紹美ハ工ニシテ商ヲモ兼タルカ故ニ一ニ打物ノミニ止ラス鑄造品彫刻品ヲモ出品シタルカ何レノ種類ニモ充分注意ノ點ヲ見ル大阪ノ山口丹金會社石川ノ山田長三郎新潟ノ玉川覺平等皆各長所アリ山口ハ各種類ヲ廣ク蒐集シ山田ハ鎚鐵ニ於テ特殊ノ技術ヲ有シ玉川ハ鎚銀ニ於テ價格ノ低廉ナルヲ得意トスルモノ、如シ

彫金製品ハ東京ヲ第一トシ京都、大阪、島根等ニ二三ノ出品アルノミ其大体ヨリ云ヘハ只舊樣ヲ墨守スルニ過キスト云ノ外ナシ元來金屬彫刻家ハ刀劍裝飾具ニ於テノミ發達セルモノ一朝廢刀令ノ爲ニ大頓挫ヲ爲シタル後一新路ヲ開拓シテ進ムノ勇者ナク僅ニ裝身具携帶品類ノ小品ヲ造リテ内國中流以上ノ需要ニ應スルノミナレハ斯道ニ志ス後進者モ多カラス幕府時代ノ遺老ト其子弟トカ餘光ヲ保ツニ外ナラス故ニ東京ニ於テハ香川勝廣、關口一也父子ノ三人賞ニ入レリ京都ハ橋本一至歿シテ其後繼者ナク岡山ノ正阿彌勝義カ來テ業ヲ營ムノミ其出品モ不幸ニシテ賞ニ洩レタリ大阪ハ一至ノ門人吉田至永ノ一人アリ島根ニ加納夏雄ノ門人盛津親次アルノミ他ノ各縣ニ一二アルモ名リ成ス程ノ者無シ

布目象眼ハ東京ニ鹿島一派ノ精技アリテ各賞ニ入レリ京都ノ鐵象眼ハ依然舊樣ノ儘ニ製出シ居レルカ形狀圖樣等ニ改良ノ點無レハ久シカラスシテ輸出ノ途ノ衰フル事アラン古來鐵象眼ニ名アリシ肥後加賀ノ如キモ製造者乏キカ今回モ熊本ヨリ一出品アリシノミ加賀ハ全ク無シ

芝山象眼ハ東京横濱ノ外出品スル者ナシ東京ニ在テハ野原貞明ノ出品特ニ優レタリ横濱ヨリハ額屏風小簞笥飾棚等ニ此工ヲ施シ多ク輸出スレトモ其輸送先ノ季候乾濕ノ事等ニ毫モ注意セサルヨリ素地ノ縮少ニ因テ象眼ノ脫落スルコト多シ爲ニ最初ノ如ク商況盛ナラストノ云フ製造者中茲ニ注意スルモノハ一花一葉ゴトニ捻鋲ヲ以テ堅固ニ附着スルノ法ヲ取ル者アレトモ一般ノ輸出商ノ手ニ仕入ラルヽ品ハ是等ノ手數ニ工費ノ嵩ムヲ厭ヒ改良ノ念ニ乏キカ如キハ將來ノ爲メ嚴ニ警告スヘキモノナラン

安質母涅（アンチモニー）細工品ハ東京ヲ第一トシ京都、大阪、神奈川ニ少數ノ出品アルノミ東京ノ優勢ナルハ遠ク及ハス其出品ヲ見ルニ前回ニ比スレハ著キ進歩ニシテ其形狀モ較ヤ整備シ其鍍金法ニ於テモ改良ノ點アルヲ見ル是全ク東京ニ輸出金屬組合ノ組織成リテ此一派ノ共進會ヲ開設シタル結果ニ外ナラストス右組合ノ開設等ニ盡力シタル草刈豊太郎、小林善兵衛等ノ出品ハ就中形狀鍍金俱ニ優レタリ猶將來ノ企望ヲ云ハヽ其原型ニ對シテハ充分ナル工費ヲ投シテ名工ノ彫刻ヲ需メテ多種多樣ノ形狀ヲ出スニ努メ一方ニハ更ニ鍍金法ヲ一層精密ニ研究シテ永久變色セサルコトヽ爲サハ販路ノ廣キ今日ニ數倍ノ好況ヲ來スモ難キニアラサル可シ

象牙彫刻ハ輸出品中望ミアルモノナレトモ他府縣ニハ見ル可キモノナク殆ト東京獨占ノ姿ナリ東京ニハ帝室技藝員石川光明門下ノ技術者數名アリ又東京彫工會カ二十年ノ久シキ誘導奬勵ニ努メタルモ與テ力アルモノヽ如シ其出品中優品アルハ金田兼次郎、登山長藏、村田吉五郎等ナリ

木竹彫刻ハ其出品多キモ特ニ評スヘキハ甚タ稀ナリ兵庫奈良滋賀新潟富山熊本等ニ較ヤ見ル可キ者アリ熊本ノ中西太喜ノ出品セル竹彫觀音像ハ用刀精熟シ形狀モ亦佳ナリ奈良ノ能樂人形置物中一二見ルヘキモノナキニアラサルモ形狀ノ大ナル置物ニ至テハ平常慣熟セル根附等ニ劣ルノ傾向アリ滋賀ノ出品ハ所謂宮彫流ノ作品ニシテ狹間ニ刻セル人物蛙股等アリ今日ハ社寺ニアラサル建築ニモ彫刻ノ必要ヲ感スル時期ニ向ヒ洋式建築ノ增加ニ就テハ有望ノ技ト思惟セラルレハ舊樣ニノミ拘々セス精技ノ外ノ出ルヲ企望ス斯業ニ志ス者徒ニ舊樣ニ安ンセス洋式建築彫刻ヲ兼修セハ可ナラン富山ノ木彫魚籃觀音像兵庫ノ木彫龍神置物トモニ見ルニ足ル此他宮城ノ埋木彫刻廣島ノ宮島風景彫刻ノ盆菓子盆ノ類多クアレトモ其彫技ニ至テハ更ニ見ルヘキモノナシ

嵌木寄木ハ靜岡三重島根神奈川ヨリ出品ス嵌木ノ技術ハ島根ノ柳原經廣ノツハブキノ圖匾額園山與一ノ張果老圖匾額等見ルヘキモノニシテ靜岡ノ柴田清作ノ花鳥圖匾額神奈川ノ勝股善次郎ノ竹雀圖扁額其次位ニアリ概シテ之ヲ評スレハ技術ノ點ヨリモ圖ノ選擇ニ疎ナルト配色ニ注意ノ周到ナラサルトハ終局ノ美ヲ傷フノ因トナルヲ思ハサル可ラス張果老ノ額ノ如キ實ニ嵌木ニ不適當ノ圖ヲ採レルカ爲ニ施技上ノ困苦ヲ空費セシ觀アリ寄木ハ三重ノ柴田ノ作ナル爪宮ヲ第一トシ神奈川ノ宮根物産會社製及小菅幸吉ノ手袋宮等之ニ亞ケリ此製品ハ建築上ニモ必要ノモノナレハ扉其他ノ用ニ供スヘキ犬作物ノ見本ヲ出品セハ可ナランニ小品ノミヲ出セルハ遺憾ナリ

挽物細工品ハ各縣トモニ多少アレトモ島根ヲ第一トシ山形之ニ亞ケリ島根ノ小林幸八出品五組盃香盒ノ類其精枝ハ他ニ比儔ナシ染次彌助ノ唐桑棗竹田秀作ノ松皮二重棗等モ亦小林ノ技ニ伯仲ス只惜ムラクハ香盒茶器等ノ形狀ニ於テ茶味ニ入ルト入ラサルトハ技術以外ニ研究スヘキコトナルヲ知ラサルニ在リ若シ識者ノ傍ニ在テ指導スルアラハ一層佳品ヲ出スニ至ラン山形ノ鈴木林治出品ノ酒盃外各種モ較ヤ精巧ノ部ニ算フ可シ

樺製品木通製品ノ二種モ亦本類ニ入ル樺皮製品ハ秋田產物トシテ多數ノ出品アレトモ大同小異ニシテ特書スヘキモノ稀ナリ就中藤木傳四郎出品ノ菓子重卷烟艸函等ハ其着セ方精密ニシテ他ニ優ル處アルヲ見ル木通蔓製品ハ青森ノ特產ニシテ花瓶及大小手提籠等アリ花瓶ハ多ク蟬形ノ懸花生ナレトモ雅客ノ目ヲ惹クニ足ラス手提類ハ旅行用具トシテ輕便ナレハ需要多カル可シ多數ノ出品中工藤熊吉安井初太郎ノ出品ハ他ニ優ル處アルヲ見ル

麥稈細工製品ハ兵庫出品ニヤクアリ其種類ハ菓子重大小文庫針宮揚枝宮筆宮ノ類大抵同一ノ品ニシテ技術モ略ホ相同シ其ノ顧客ハ內地人ヨリモ海外人ニ多カル可キ品ナレハ彼ノ需要ニ適スヘキ品類ヲ擇テ製出セス一層需要ヲ增スニ至ラン ニ茲ニ注意ヲ缺ケルハ惜ムヘシ又其下地ノ製作即チ木地指物ノ堅牢ナラサルハ是非トモ改良スヘキ點ナラン其一例ヲ擧クレハ菓子重ノ扉或ハ抽斗（ヒキダシ）ノ製作ニ釘打ヲ省略セルカ爲メ使用以前既ニ開閉ニ自在ナラサルアリ木地端緒（コシチ）ニ隙ヲ生スルアリ甚キハ抽斗ノ奥板ノ足ラサル等モアルヲ見ル比較的價格ノ低廉ナルヲ努ムルハ可ナレトモ此ノ如ク不親切ノ製造ヲ常トシテ注意スルコトナケレハ竟

ニハ遠來ノ顧客モ破損ヲ懸念シテ購去ルモノヲ減スヘキナリ此中ニシテ少ク優ル處アルハ安田彌三七、久保田六三郎芳賀芳松ノ出品等ナリ

玉石細工ハ大阪島根岐阜宮城其他一二アレトモ種類ノ多キハ岐阜ヲ第一トシ島根之ニ亞ク岐阜ノ出品中高橋米吉ノ香爐安藤勘作ノ菓盆清水廣吉ノ水盤等ハ少ク他ニ優レ所アリ全体香爐菓子鉢ノ如キ品ハ材ノ色ノ佳ナルモノヲ採ルヲ第一トシ第二ニハ研磨ニ充分ノ力ヲ用キサレハ人目ヲ惹クニ至ラス殊ニ菓子器湯呑ノ如キ飲食容器ハ口ニ觸レ手ヲ着クル時滑ラカナラサレハ不快ヲ感スルモノナルニ茲ニ注意ノ周到ナラサルハ遺憾ナリ片野藤吉野村安太郎ハ各種ノ動物ノ形狀ヲ彫出シ置物トシテ出品シタルカ河豚蛙猿玉虫等ハ天然ノ色ヲ理用シテ能ク其形ヲ表出セリ其他ノ紙鎮風鎮玉類ノ作ニ至テハ見ル可キモノナシ島根ニハ水晶瑪瑙細工アリ高麗伊三郎川島勝藏原源次郎等ノ出品ハ較ヤ見ルヘキモノナリ宮城ノ出品中ニ於テハ伊澤喜多之進ノ石彫七賢人ノ圖額優レタリ彼末松山ノ產ト稱フル化石細工ノ硯置物其他ハ卑俗甚タ雅玩ニ供スヘキモノナシ

角骨介甲細工品ノ内鹿角細工ハ奈良ヲ第一トシ他ニモ一二ノ出品ハアレトモ特書スヘキモノナシ奈良出品モ箸耳搔掛物軸簪等ノ外實用ニ供スヘキモノナシ牛骨彫刻ハ東京横濱出品中ニアレトモ賞選ニ入ル可キ價値ヲ存セス介製品ハ漆器ノ部ニ在ルモノ芝山象眼ノ中ニ包含セラルヽモノヽ外單ニ表出スヘキモノナシ鼈甲細工ハ大阪ニ一出品アリ長崎ニハ多數ノ出品アリ就中優者ト認メラルヽハ坂田桑太郎池田長太郎田中若吉等ナリ

第三十一類　其二　打物及彫金製品

	出品點數	人員	名譽銀牌	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一、三六二	七五		三	一	一七	一六	三六
京都	一五三	一九					九	一四
大阪	二六三	七四				三	一六	一七
神奈川	六三	一三					六	八
兵庫	三八	一九				二	六	六
長崎	二〇	四					三	三
新潟	六三	三八				一	一〇	一一
群馬	八	三						
千葉	三	三						
茨城	九	三						
栃木	一六	二						
奈良	三〇	八					一	一
三重	三一	三						
愛知	二五	七						
静岡	三六	六					二	二
山梨	八	三					一	一
滋賀	七二	一二					二	二

府縣	計	滿洲	臺灣	北海道	熊本	佐賀	大分
福岡	一七九	一五	三				二三
高知	一二二	七	二	八	七	二	三
愛媛	三二	五	二	五	四	二	二
香川	五二	五	四	一	八	五	一
德島	一四	一	一	一	一	一	一
和歌山	一九	一	一	一	一	一	一
山口	六六	一	一	一	一	一	一
島根	五一	一	一	一	一	一	一
岡山	二五	一	一	一	一	一	一
廣島	五四	一	一	一	一	一	一
山形	一八	一	一	一	一	一	一
秋田	七	一	一	一	一	一	一
福井	一三	一	一	一	一	一	一
石川	二二	一	一	一	一	一	一
富山	一〇	一	一	一	一	一	一
鳥取	一九	一	一	一	一	一	一
島根	一〇	一	一	一	一	一	一
岡山	一三	一	一	一	一	一	一
廣島	二	一	一	一	一	一	一
山口	二五	一	一	一	一	一	一
和歌山	一四	一	一	一	一	一	一
德島	七	一	一	一	一	一	一
香川	一〇	一	一	一	一	一	一
愛媛	三	一	一	一	一	一	一
高知	八	一	一	一	一	一	一
福岡	四〇	一	一	一	一	一	一
合計	三、五九九	六三二					

第三十一類　金屬製品

其三、其五　板金及針金製品鍍金品

分	三	四	二	二五	一三二	一六四
大分	二三					
佐賀	二					
熊本	七					
北海道	八					
臺灣	三九五					
滿洲	六三二			一	一一一	一一二

審查官　青山盈敷　關口寬一郎　湯淺藤市郎　杉本源吾　富田忠詮

板金及針金製品鍍金品幷ニ金屬製雜用器具ニ關スル出品點數ハ總計七百六十五點ニシテ其出品人員百四十名ナリ而シテ此類別中ニ板金製品ニ屬スル主要ナル出品ハ鐵葉鑵、印刷模樣付鐵葉製品及ヒアルミニユム製品ニシテ針金製品ニ屬スル主要ナル出品ハ金網及ヒ金網製品ナリ

一　鐵葉鑵ハ使用ノ目的ニヨリ其構造ヲ異ニスト雖モ一般ニ製作ハ進歩シタルカ如ク漆蒔繪茶入鑵ハ東京府ノ出品ヲ最良トシ他ノ「鐵葉鑵ハ大阪ノ出品ヲ最良トス印刷模様付鐵葉製品ハ最近ノ創業ニ屬スルヲ以テ僅ニ大阪府伊藤準之亟ヨリ角盆丸盆、小箱等ヲ出品シタルニ過キスシテ其製販賣額未タ多カラス印刷ノ技術モ亦未タ充分ナリト云フヲ得サルモ印刷模様付鐵葉板ノ應用ハ極メテ廣キモノナルカ故ニ將來有望ナルモノト云ハサルヘカラス「アルミニユム」製品ハ數年前ヨリ砲兵工廠ニテ軍用飯盆、水筒等ヲ製作スル傍ラ普通ノ日用器具ヲ製作シ之ヲ民間ニ拂下ケ來リシモ民業トシテハ近年ノ創始ニ係ルヲ以テ出品者ハ大阪府ノ住友吉左衛門及高木鶴松ノ二人ニ過キス前者ノ出品ハ僅ニ鍋、皿、盆ノ三點ニ止ルト雖モ何レモ其品質製作共ニ良好ニシテ其設備ノ充分ナルヲ知ルニ足レリ後者ハ皿、盆「コツプ」「コーヒ」呑、鉢、茶託、匙、杓子、箸、辨當、鍋等百餘點ヲ出品セルモ其製作ハ前者ニ及ハズ今ヤ「アルミニユム製品ノ益用キラルヽニ當リ斯業ノ起レルハ大ニ賀セサルヘカラス只望ム所ハ其適用ヲ過ラス實用ニ適スル堅牢ナル物品ヲ製出スルニアルナリ從來「アルミニユム」ノ鑞付ハ頗リニ研究セラルル所ナリト雖モ未タ其成功ヲ見ス今後鑞付ニシテ成功スルヲ得ハ「アルミニユム」ノ應用ハ一層盛大ニ赴クコト明ナリ金網ハ大阪ノ金網合名會社ノ出品ヲ最良トシ製紙用金網ハ將來有望ナリトス概シテ金網ハ品質及製作共ニ近來其歩ヲ進メタリト雖モ出品中網目ノ齊一ヲ缺クモノ少カラサルハ未タ斯業ノ幼稚ナルヲ徴スルニ足レリ金網製品ハ大阪府今津菅三郎ノ出品ヲ以テ冠トスト雖モ一般ニ其出品多カラスシテ蟲籠、蠅不入及ヒ厨房用器具ニ過キサルハ遺憾ナリトス

之ヲ要スルニ板金及針金ノ應用カ益々增加セルコトハ廣ク各種ノ出品ニ徴シテ明カナリト雖モ未タ其應用幼稚ニシテ輸出品トシテ特ニ擧クルニ足ルモノナシ又本邦製作品ハ一般ニ廉價ナリト雖モ製作極メテ粗ニシテ破損シ易キハ大ナル缺點ト云ハサルヘカラス今參考館ニ出品セル板金製品例ヘハ盆、手燭等ニ徴スルニ品質製作、意匠、鍍金色付等何レモ良好ニシテ本邦品ノ比ニアラス本邦ノ製造業者宜ク模範トナスニ足レリ

鍍金品ハ出品人員僅ニ四名ニ過キスト雖モ製作工業部ノ出品中鍍金ヲ施セルモノ其數少シトセス今出品ニ徴シ一般ニ電氣鍍金術ノ進歩著明ナルモノハ「ニツケル」鍍金術ナリトス東京宮川電鍍工場ハ鍍金板、燈籠、煙草函、洋燈鞄口金、鞄用錠等百餘點ヲ出品シ何レモ「ニツケル」鍍金ノ良好ナルヲ賞スルニ足ル殊ニ「アルミニユム」「アンチモニー」等ノ「ニツケル」鍍ノ如キハ其術大ニ見ルヘキナリ大阪ノ宮林操三ハ自轉車及洋燈ヲ出品シ其鍍金ハ宮川ニ次テ賞スヘキ價値ヲ有セリ然レトモ之ヲ歐米ノ鍍金品ニ比較スレハ尚劣ルモノト云ハサルヘカラス殊ニ大ナル板ノ鍍金ハ困難ナルカ如シ鍍金ノ需要ハ今後益々增加スヘキコト明ナルヲ以テ當業者ハ奮勵其術ヲ研究シ鍍金ノ目的ヲ失ハス耐久ナルモノヲ製出スルニ注意セサルヘカラス

第三十三類　雜工作品　其二　其三　其四　其六

石鹼入ハ板金製ト針金製トアリ板金製ノモノハ東京府井上小四郎ノ出品ヲ主トシ近時清國

朝鮮、清港等ニ輸出スルニ至リタリト雖モ概シテ其製作粗造ニシテ堅牢ナルモノト云フヲ得ス只徒ニ價ヲ廉ニセンカ爲ニ粗製ニ流ルヽハ大ニ戒メサルヘカラス

其三、煙草入時計挟

其四、辨當

其六、襖引手

以上三部類ニ屬セル出品ハ何レモ製作普通ニシテ特ニ賞スヘキ點ナシ

其七、灰吹、針箱、洋燈等

灰皿、灰吹盞等ハ一般ニ其製作良好ナラサルノミナラス意匠ニ於テモ見ルヘキ點ナシ東京府原田金次郎ノ青銅製電燈用「ブラツケット」ハ價廉ナラスト雖モ其意匠製作共ニ可ナリ軒燈中大阪藤田楳二郎ノ出品ハ其製作稍見ルヘク堤彌三平ノ提燈ハ製作簡單實用ニ適スト雖モ堅牢ヲ缺ケリ其他板金及針金製洋燈用自在鈎ノ出品アリト雖モ搆造簡ヲ失シ賞スヘキモノナシ

其八、文具

此部類ニ屬スル出品ニハ文具箱、書見臺、墨斗等アリテ文具箱及ヒ書見臺ハ製作意匠共ニ賞スルニ足ルモノナク墨斗モ亦進歩ノ點ヲ認ムルヲ得ス

其十一「バケツ」貯藏器運搬器

此部類中主要ナルモノハ「バケツ」及釣瓶ニシテ「バケツ」ハ大阪府ノ出品最多ク地方ニ在テハ靜岡及ヒ福岡ノ二縣ノ出品アルノミ「バケツ」ハ大阪ノ出品最モ良好ニシテ近來需要大ニ增加シ其製販額年々多キヲ加ヘ曾ニ輸入ヲ大ニ防止スルノミナラス大阪ノミニテ三十四年中朝鮮及支那ニ貳千五百打以上ヲ輸出セリ然レトモ概シテ粗製ヲ免レサルハ價ヲ廉ニセンカ爲ナルヘキモ斯業者タルモノ須ク堅牢ノ點ニ注意スルヲ要ス

其十三

此部類ニ屬スル出品ハ其種類雜多ニシテ室內通話器、味噌摺器、捕鼠器、懷爐、体爐、眼鏡、牛乳受函露臺、米磨器、洗濯板、「ビスケット」製造用型、燃火具、鍋、米刺、造花器具、「ビスケット」製造用型、眼鏡等ハ其製作賞スヘク京都辻久米祐ノ出品ニ係ル懷爐ハ楕圓形ヲナシ其一方ノ口ヨリ灰ヲ入ルヘクナシタルトモ海外ニ輸出セリ其他ノ出品ハ特ニ賞スヘキモノナシ

今以上諸種ノ出品ヲ總括スレハ本邦製作品ハ外觀甚タ美ナルカ如キモ一般ニ堅牢ヲ缺ク嫌ナキ能ハス由來本邦人ノ使用スルモノハ實用的ト云フヨリハ寧ロ裝飾的ニ流ルヽモノ多ク物品ノ使用ニ堪フル年月短少ナルハ使用者モ怪マス製作者モ留意スルナキハ實ニ奇怪ニ堪ヘサルナリ本邦出品中大阪地方ノ製作品ハ其價廉ナルヲ以テ鳴ルモ其製作ノ粗ニシテ破損シ易キモ亦定評ナルニ於テヲヤ今ニシテ之ヲ改良セスンハ輸出品ハ終ニ其販路ヲ失フヘク國家經濟上一日モ忽ニスヘカラサルナリ金屬出品中板金及針金製品ノ如キハ尙本邦ニ於テ製作シ輸出ノ望アルモノ蓋シ僅少ニアラサルヘク海外諸國殊ニ清國ノ如キハ其內地ニ適ス

ル物品ヲ機械ヲ用キテ廉價ニ且堅牢ニ製作セハ其販路ヲ得ル難キニアラサルナリ本邦ノ製造業者タルモノ玆ニ留意セスンハアルヘカラス

第三十一類　其三　其五　板金及針金製品鍍金品類

合計	東京	大阪	京都	兵庫	新潟	埼玉	栃木	愛知	静岡	福井	和歌山	福岡
出品數 三九四	一六三	一七四	一三	三	二	八	八	五	一〇	五	一	二
出品點數 五六	四	三一	三	二	二	三	一	三	四	一	一	一
一等	一											
二等		一										
三等		四										
褒狀	二	一	一	一								
計	三	一六	一	一								
一八		二										
二四		一										

第三十三類　其二、其三、其四、其六、其七、其八、其十一、其十三　石鹼入、理髮用具等及ランプ、バケツ、釣瓶等其他

合計	東京	大阪	京都	兵庫	神奈川	新潟	栃木	愛知	静岡	富山	鳥取	島根	山口	徳島	高知	福岡
出品數 三七一	二〇〇	七二	一三	一八	八	二四	一	一〇	四	二	一	五	三	三	二	五
出品點數 八四	一五	三三	八	一六	一	三	一	四	四	一	一	一	一	一	二	二
一等																
二等																
三等	一	二														
褒狀	四	二	六	一	一					一	一		一			一
計	五	二	八	一	一					一	一		一			一
一八																
二一																

第三十一類　金屬製品

其六ノ內　金庫　暖爐　錠前

審査官　杉本源吾
湯淺藤市郎
阪田貞一
河井清三郎
塚本靖

金庫ノ出品點數ハ總計四十五點ニシテ其出品人員二十四名ナリ就中出品人員多數ニシテ點數モ亦大ナルモノヲ東京府トシ之ニ亞クヲ大阪府トス東京府ノ出品人員ハ十一名其點數二十三點大阪府ノ出品人員ハ七名其點數九點アリ其他ハ愛知縣ニ四名拾點京都府ニ一名二點鳥取縣ニ一名一點アリシノミ蓋シ我國近時金庫ノ需要益々盛ニシテ官衙銀行商店等爭ヒテ之ヲ備フル有樣トナレルニモ拘ハラズ外國製金庫ノ輸入多カラサルハ主トシテ我國金庫製造者ノ功ニ依ルモノニシテ其製作上ニ於テモ亦彼ニ讓ラサル點アルニ依レハナリ今回ノ出品ニ就キテ之ヲ視ルニ能ク前回博覽會ノ出品ニ於ケル長所ヲ失ハス進ンテ種々ノ改良ヲ加ヘタルモノヽミニシテ其水火盜ノ諸難ニ對スル用意周到ナルヲ認ムルヲ得ヘシ水火盜ノ諸難ニ對シ完全ニ其防護ヲナサンコトハ蓋シ容易ノ業ニ非スト雖モ今回ノ出品ハ多少ノ優劣ハ免レサレトモ一般ニ能ク其困難ニ打チ勝チタルノ觀アリ中ニモ東京府竹內善次郎出品ノ

金庫室入口用扉ノ如キハ最モ完全ノ域ニ近ツキタルモノニシテ扉ノ面板ハ軟鋼板ヲ內外ニ剛鋼板及ヒ銅板ヲ中間ニ挾ミテ搆成シ以テ盜兒ガ猛烈ナル火ヲ用キテ局部ヲ燒切フントスルヲ防キ及物等ニテ破壞セントスルニ抵抗シ得ベクシ而モ火炎ノ熱ニ溶解セサル樣製作セルノミナラス新發明ノ符號變換錠ヲ應用シ且之ニ用キル鍵ハ臨時任意ニ變更スルヲ得ヘキ構成トシ以テ摸造ノ患ヲ除キ又扉ニハ二重蝶鉸ヲ用キ其表面ノ中央ニハ兩端ヲ偲心トセル回轉軸ヲ設ケ回轉把手ニヨリ扉ヲシテ前後ニ並行運動ヲナサシムヘキ構成トナシタルヲ閉鎖ノ際ハ扉ノ厚サダケ後進セシメ四方嵌合部ノ密着完全ナル後閂及錠ヲ卸スヘクシテ其間隙ヨリ火氣ノ侵入スル憂ハ全然除却サレタルモノナリ又煙返シノ構成ハ從ヒテ單ニ段階ノ接合ニ依リタルノミナラス實地ノ經驗ニ依リ尙凸起ト溝トノ嚙合ハセト機搆ヲ附シ火氣ノ侵入ヲ防クヘクナシタルハ東京府國末良吉外數人ノ出品ニ於テ認ムル所ノ改良ナリ又大阪府播本孝良ノ出品ノ如キ金庫体ヲナス部分ハ一連ノ鋼鐵板ヲ彎曲シテ之ヲ作リ隅角ヲ圓形トシ且隅角部ニ於ケル接手ヲ除キタルハ泰西ノ金庫ニ於ケル一長所ヲ取リタルモノニシテ金庫ノ安全ヲ期スル上ニ於テハ實ニ良好ナル考案ナラン又今回ノ出品ニ於テハ金庫体壁內ニ塡充スヘキ材料及ヒ其處理方ニ付注意ヲ惹キタルモノ多キヲ見或ハ塗料ノ改良ヲ施シタルモノアルヲ見ルモ蓋シ一進歩ヲナシタルモノト云フヘシ我邦現時ノ狀態ニテハ金庫ノ意匠モ亦顧ミサル可ラス然ルニ今回ノ出品ニ於テハ意匠ノ良好ナルモノ少ク多クハ之ヲ誤レリ近年金庫ノ支那朝鮮南洋印度浦鹽斯德等ニ輸出サル、モノアリト稱スト雖モ見ルニ足ラス

然レトモ是等各地ニ向ヒ將來多少ノ輸出ヲ持續セハ蓋シ望ナキ業ニアラサルヘシ唯我邦ノ金庫其構成材料等前述ノ如ク完全ニ近キノミナラス其價格モ亦廉ナルハ大ニ可ナリト雖モ其製造技術ニ於テハ果シテ充分ナリヤ否ヤ甚タ疑ナキ能ハス製造技術ノ學理ニ適セス熟練ニ缺クルアリ機械應用ノ充分ナラサルカ爲ニ其一朝事變ニ際スルヤ外見ト實効トハ相一致セサルノミナラス機關部ニ於ケル機構及ヒ材料撰擇ノ當ヲ得サルカ爲久シク使用スルニ堪フルヤ否ヤ須ク當業者ノ一考ヲ待タントス

次ニ錠前又ヒ函類ノ出品點數ハ總計百四十六點ニシテ其出品人員ハ四十七名アリ中ニ就キ出品點數ト其人員ノ最大ナルヲ大阪府トシ東京府、京都府、神奈川縣、新潟縣等之ニ亞ク其出品ハ三府十八縣及ヒ臺灣ニ亘レリト雖モ何レモ不完全ナルモノニ過キス夫レ錠前ハ古來如何ナル地方ニモ必要ナラサルハナク以テ財產生命ノ安全ヲ託スヘキ貴重ノ具ニシテ而モ吾國現時ノ狀態ハ完全ナル錠前ノ必要ヲ感スルコト甚タ急ナルモノアリ一方ニハ金庫ノ如キ著キ進步シタルニモ拘ラス獨リ各種錠前ノ概シテ舊套ヲ脫セス極メテ幼稚ノ疆域ニ在ルハ甚タ怪ムヘキナリ蓋シ我國家屋ノ制古來殆ント締マリナキモノナルカ故ニ之ニ伴フ錠前モ亦幼稚ナリシハ當然ノ結果タルヲ免レズト雖モ今ヤ家屋モ從來ノ建築法ニテハ滿足スヘカラサルニ至リ漸次泰西ノ風ニ移ラントスルニ當リテハ錠前モ亦大ニ改良セサル可ラサルノミナラス錠前附ノ物品ガ其製作良好ナルモ錠前ノ完全ナラサルカ爲ニ使用者ノ不平少カラス從ヒテ其聲價ヲ失墜スルノ例ハ鞄箱簞笥等ニ於テ頻リニ見ル所ナルニ於テハ錠前ノ改良ハ一日モ忽ニスヘカラサルナリ今面ノ出品中東京府武藏野武治、長島幸吉、伊藤常太郎、京都府鹽野善吉、吉田長兵衛、大阪府日垣太一郎等ノ出品ハ稍見ルニ足ルモノニシテ且將來錠前ノ改良ニ對シテハ參考スヘキ價値ヲ有スト雖モ其他ノ出品一モ見ルヘキモノナク大ニ遺憾トスル所ナリ

次ニ暖爐ノ出品點數ハ東京府、京都府、大阪府、埼玉縣、鳥取縣ノ三府二縣ヨリ其人員十一名ニテ十五名點ヲ出陳セシモ良好ナルモノナク只換氣暖爐、養鼠暖爐ノ二三稍見ルヘキモノアルノミ蓋シ我家屋ニ適當ナル暖爐ヲ製造スルハ極メテ困難ノ業ニシテ家屋ノ構造ノ一變スルニ非スンハ到底完全ナル煖爐ヲ得ルノ望ナキモノトナルヘシト雖モ暖爐製造者カ學理ノ應用ニ留意セサルハ一大缺點タルヲ免レサルヘシ

第三十一類　其六　金庫類、煖爐、錠前

	出品		等級				
	點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	四六	一七	一	三	二	七	一三
京都	一七	八				三	三
大阪	四八	一八		二		三	五
神奈川	五	三				一	一
新潟	一四	三			一		
埼玉	四	三					

群馬	千葉	三重	愛知	静岡	岐阜	福島	青森	秋田	福井	富山	鳥取	島根	徳島	愛媛	高知	臺灣	合計
三	一	一	二〇	一二	四	一	六	一	五	四	四	一	二	一	三	三	二〇六
二	一	一	五	二	一	一	一	一	一	一	四	一	二	一	二	三	八二
																	一
																	五
																	三
一		一		三											三		二二
																	三一

第三十一類　金屬製品

其三　針類

第三十三類　工作品雜

審査官　杉本源吾
　　今村長賀
　　河井清三郎

飯河三角
湯淺藤市郎

其二、其四　理髪用利器　庖厨用利器

右三種ノ出品ハ三府二十五縣ヲ合シテ總數二千八百六十九點出品人員三百六十名ニシテ之ヲ細別スレハ針類ハ三府五縣點數三百九十二點出品人員二十四名理髪用利器ハ三府七縣四百九十二點出品人員七十六名庖厨用利器ハ三府二十二縣及臺灣ヨリ千九百八十五點ノ出品ヲ出シ其人員二百六十二名ナリ而シテ最多キヲ大阪トシ其數九百四十二點ニ達シ岐阜新潟兵庫之ニ亞キ東京廣島京都又之ニ亞ケリ

出品ノ利器全体ノ上ヨリ觀察スレハ斯業ノ進歩ヲ顯シタルモノ間々少カラスト雖モ元來是等製造ヲ以テ著名ナル地方ノ出品ニ於テスラモ比較的改良セシ點ヲ見出シ得ルコト少キハ極メテ遺憾ナリトス凡テ此種ノ利器ハ各地方ニヨリテ各特有ノ用途形狀ヲ具有シ其嗜好ヲ異ニスルヲ以テ例ヘハ理髪用櫛齒鋏ノ如キ關東ニテハ重ニ片手使用ノ櫛齒鋏ヲ使用スレトモ關西ニテハ兩手使用ノモノニ限ルカ如キ或ハ刺身庖丁ノ如キモ關東關西其形狀ヲ異ニスルカ如キ其一例ニシテ從ヒテ是等利器ノ邦人ニ對スル形狀嗜好猶海外ニ知ラレサルノ結果

當業者未タ輸入ニ起因スル甚シキ壓迫ヲ感セス從ヒテ販路ノ擴張ニ留意セス只一時ノ偷安ヲ貪リ內地ニ於ケル顧客ニ就キテノミ齷齪シ所謂兄弟牆ニ鬩クノ狀態ナルヲ以テ素ヨリ率先海外各國ノ需要ヲ視用途ヲ察シ其供給ニ應スルカ如キ識量ヲ以テ之ニ從事スルモノ全ク皆無ナリト云フテ可ナリ故ニ其事業タルヤ既ニ發達ノ餘地ナク僅ニ摸倣之レ務メ古來ノ聲價ヲ墜サヽルニ止マリ毫モ特有ノ意匠ヲ德用シ或ハ製作法ニ改良ヲ施セルモノ等一モアルコトナシ而シテ眼ヲ轉スレハ海外各國特ニ獨逸國ノ如キハ續々視察員ヲ清韓其他東洋各國ニ派遣シテ其用途嗜好ヲ視察シ巨大ナル製產力ヲ以テ極メテ廉價ニ其需要ニ應セリ而シテ其清國ニ輸入セル剃刀ノ如キ外觀タルヤ一目毫モ支那製品ト異ル所ナクシテ其切味タルヤ頗ル銳ナルモノナリト云ヘリ是レ實ニ寒心ス可キコトナラスヤ當業者今ニシテ醒覺スル所ナクンハ本邦モ亦是等製造品ヲ市場ニ見ルニ至ルモ知ル可ラサルナリ

元來本邦是等利器ノ製造タルヤ古來數百年前ヨリ相傳今日ニ至レルモノニシテ理髮用櫛齒鋏ノ如キ近年ノ發達ニ係ルモノハ比較的近代ノ製造法ヲ應用シ多少極メテ粗雜ナル一二ノ機械類ヲ使用スルモノアレトモ其他ニ至テハ皆古來ノ舊法ニ依リ多モ改良セシ所ナシ而シテ其方法ハ住宅ノ一隅ニ於テ家族皆其適當セル作事ノ一部ヲ擔當シ或ハ農業ノ傍ラ其閑散ナル時ノミ之ニ從事スルカ如キ有樣ニシテ出品ノ大部ハ凡テ手工ニ依テ作成セラルヽヲ以テ工費ノ廉ナルト薄キノ資本ヲ以テ之ニ從事シ得ルトノ利便アレトモ品質可良ナラス製品ノ統一ヲ得ス且其製產力少キ等尤モ輸出ヲ防害スルコト多大ナルヲ以テ到底機械ヲ應用シ其製造法ヲ改良シ終始一定不變ノ製品ヲ得ルコトニ勉メ益々其精熟ヲ勵マサレハ他日臍ヲ噬ムノ悔ヲ殘ス所以ニシテ實ニ敢テ當業者ノ一考ヲ切望ニ堪ヘサル所ナリ

又本邦工人ハ古來利器ヲ硬固スルニ當リ燒刃土ヲ以テ利器全部ヲ塗抹シ之ヲ火中ニ入レ熱スルモノナレトモ此ノ土タルヤ一種ノ秘密ナル方劑トシテ之ヲ存シ他人ヲシテ容易ニ知ラシメス或ハ近年二三ノ當業者漸ク之ヲ採用シテ煙草庖刀鋏等製作ニ應用セル鐵地金ニ炭素ヲ吸收セシメ之ニ鍛練ヲ加ヘ其質ヲ緻密ナラシメ以テ銳刃ヲ得シムル炭素燒法ノ如キモ猥ニ秘シテ各自特得ノ秘傳妙藥ヲ得タリトシ他ノ工人モ亦窺知スヘカラサルコト、ナセリ是等皆其工業智識ノ缺乏ヲ表示セル實ニ笑フ可キコトニシテ其他是ニ類似セル事頗ル多ク而モ是等工業教育ヲ受ケ學理ノ一般ニ就キテ知得セル者ノ直ニ了知スヘキ事柄ニ屬セリ我等此ノ點ニ就テハ誠意我邦工業教育ノ普及ヲ企望セサルヲ得サルナリ近來歐米各國視察員ノ歸來スルヤ皆口ヲ極メテ各地ニ於テ有名ナル物產ニ付設備セラレタル大小工業學校或ハ夜學ニ至ルマテ其發達完全無缺ナルヲ嘆賞セサルモノナシ豈ニ一考ノ價ナシトセンヤ本邦古來是等製造ヲ以テ有名ナル地方例ヘハ堺市關町三木町等ハ各地少クモ一個ノ徒弟學校ヲ設立シ其地方盛衰ノ依テ關スル重要物產ニ就キテ特ニ必要ナル學科ヲ課シ以テ改良ニ一步ヲ進ムルノ梯タラシムルハ實ニ當然ノ急務ナラストセンヤ然レトモ凡テ教育ノ事業タルヤ徐々確實ナル步度ヲ以テ進步スルモノニシテ到底今日ノ急務ヲ辨シ得ヘキモノニ非サレトモ當業者宜ク後圖ヲ鑒ミ國家ノ爲十年ノ計ヲ爲スヘキモノナリ而シテ現今ノ處理ニ關シテ

ハ我等ハ適當ナル技師若クハ意匠家ヲ聘用シ其意見ヲ採用セシコトヲ勸告セント欲スルモノナリ

當初既ニ示スカ如ク本回出品ハ點數計貳千八百六拾九點ナレトモ大阪府ハ其開催地タル利便ヲ有スルヲ以テ其出品モ實ニ九百四拾貳點ニ達シ總點數ノ約三分ノ一ニ及ヘリ而シテ之ニ亞ケル岐阜新潟兵庫ト雖モ其出品點數皆二分ノ一乃至三分ノ一ニ及ハス他ハ皆其以下ニアルカ故ニ是ヲ以テ各地ノ實況ヲ推斷スルコト頗ル困難ナリト雖モ概スルニ新潟縣ハ他ノ各地ニ比シ其創業淺キニ拘ラス進歩著キモノアリテ全然各製造地ト比肩スルニ至レリ是レ勞銀割合ニ低ク當業者各徒弟ヲ養成シ以テ業務ニ勵ミ販路ノ擴張ニ勉メタル結果ニシテ當業者以テ倦怠スル所ナクンハ他日異彩ヲ放ツヲ得ン製造品ハ理髪用櫛齒鋏ヲ除キ他ハ金工細工ニ要スル利器ハ大概製造セラレ就中西洋形ナイフハ比較的良品ヲ出シ今回岩崎又造出品ニ係ルナイフノ如キ施工甚タ巧ナリ然レトモ全体此地ノ利器ハ其材料ヲ神戸横濱等ヨリ古鑢其他屑鐵ヲ買入レテ其儘之ヲ使用スルヲ以テ鍛合常ニ不完全ナルカ上ニ及脆弱ニシテ銳及ヲ得難シ是畢竟坩堝製鋼法ニ依リ熔鋼トナシ適當ニ他ノ原料ヲ配合シテ之ヲ使用スヘキモノナラン

大阪府ハ理髪用櫛齒鋏顯著ノ進歩ヲナシ銳利能ク其用途ニ適セルモノヲ出セリ中目敏行及伊藤兼吉ノ出品其品質皆精巧ナリ岩田源次郎出品下及ニ直溝ヲ設ケテ上及ノ一端ヲ直角ニ曲ケ溝中ニ摺動セシメ以テ上及運動ノ導トナセルモノ又斯業ノ一進歩ナリ西洋形摸倣ナイフ其裝飾研磨等外觀ノ施工極メテ優美ニシテ其發達ノ著大ナルヲ示スト雖モ刀身ニ注意スルコト少ク材料トシテ輸入紡績綿等ヲ緊束セル帶金等ヲ使用スルヲ以テ刀尖銳ナラス注意ヲ要スヘシ小阪某出品刀身ヲ藥劑ヲ以テ腐蝕シ模樣文字等ヲ浮出セルモノ及刀身ニ特種ノ研磨法ヲ以テ細紋ヲ現ハセルモノ共ニ產出未タ盛ナラス酒井某水族館設立紀念トシテ鞘部ヲ魚形トナシタルモノアリ用意嘉ス可シト雖モ意匠未タ粗笨ヲ免レス其他庖丁鋏等ニ至テハ別ニ稱揚スヘキモノナシ只吉田某出品還羅國用及清國用庖丁アリ用意嘉ス可シト雖モ其注意周到ナラサルヲ憾ム東京府ハ出品點數甚タ多カラサレトモ其品質施工共ニ概シテ良好ノモノ多ク進歩ノ見ル可キモノアリ湯淺七左衛門出品櫛齒鋏等蓋一頭地ヲ拔ケルモノナリ藤卷藤衛出品摸造ナイフ施工頗ル美麗ナリ龜山某出品中西洋形剃刀アリ倣摸未タ精細ナラス作工猶注意ヲ要スヘシ兵庫縣ハ其出品重ニ鋏及剃刀ノ二種ニ過キサルヲ以テ別ニ論評スヘキ點ヲ見スト雖モ本邦古來ノ剃刀ハ之ヲ藏ムルニ當テハ他ノ小函中ニ入レサル可ラス或ハ使用中屢々砥ヲ以テ研磨ヲ要スル等到底洋式剃刀ノ使用法簡便ニシテ而モ携帶ニ便ナル等利便アルニ如カサルナリ故ニ是等出品ヲ吟味シ製作ニ勉ムルアレハ販路ヲ海外ニ得ル難キニ非サル可シ然ルニ本縣多數剃刀ノ出品中一モ洋式ノモノヲ見サルハ如何ソヤ元來本產地ハ近隣ニ大阪府ナル勁敵ヲ有シ而モ土地邊鄙ニシテ工業上頗ル不利ノ地位ニアルヲ以テ價格ノ競爭上自然其品質ヲ粗惡ナラシムル傾向アリ當業者深ク注意シテ機械的技術ヲ應用シ工費ヲ節スルコトニ注意セサル可ラス阿部松平出品洋式ナイフハ刀身稍注意スル所アル

カ如シ岐阜縣出品鞘入小刀及生花用利器等頗ル美麗ナリ本縣ノ利器ハ全部凡テ鋼鐵ヲ用キ古來ノ日本刀身ニ於ケルカ如ク燒刃ヲ附スルヲ以テ其特點トスルモノニシテ他ノ製造地ニ於ケル利器中一異彩ヲ放テルモノナレトモ其中白鞘入小刀ハ明治二十七八年日清戰役ニ際シ出戰將士中之ヲ携帶セル者アリシヨリ少ク需要ヲ喚起シタリト雖モ其他ニ至テハ本縣特産ノ鞘製作ト相待テ外觀美麗ナルヲ以テ生花用利器トシテ多少成功セルノ外此ノ特點ヲ發揮シ得可キ他ニ適當ナル意匠ノ考案ヲ缺キ或ハ意匠奇異ニ走リ實用ニ適切ナラサルモノヲ製出スルモノアリ當業者今ニシテ注意スル所ナクンハ他日輕視セラルヽヲ免レサラン大澤利吉出品打物鞘各種木材ヲ接合シテ製セルモノ稍精巧ナルヲ見ル

次ニ臺灣モ亦西洋小刀ノ出品アリ其用ニ適セリ而シテ其他福井縣ハ元來桑切庖丁ヲ以テ有名ナル處高知縣ハ水產用利器及紙切ヲ以テ名ヲ顯セル所ナルカ今回石等ハ當部類ニ屬セサルヲ以テ當部ノ出品中別ニ稱揚スヘキ點ヲ認メサルナリ其他ノ諸縣ハ出品寡少ニシテ擧ケテ論評スルニ足ラス

針類ハ出品人員二十四名中大阪府大杉篤太郎出品靴針外十三種仝石脇衆藏出品メリヤス機械針及德島縣矢田松平矢田熊藏山口新平出品紡車針其他ヲ除キテハ他ハ皆縫針ヲ主眼トシ之ニ起毛針等ヲ附加セリ針類製作作業ハ器械應用ニ於テ殆ント成功ヲ遂ケタルモノニシテ是等作業ハ其材料タル針金切斷ヨリ始メ尖頭、中間研磨、耳打、穿孔、折ツナキ、耳スリ、炭素燒入レ燒戻、荒磨、櫛研磨分類及ヒ仕上研磨等約十四五通ノ分業ヲ經テ製作セラルヽモノニシテテ往古ハ皆手工ニ依リ作業セラレタルモノナレトモ明治二十七八年ノ頃越中ノ人龜谷某率先獨國ヨリ器械ヲ輸入シ京都ニ於テ製針會社ヲ起シ幾多ノ辛酸ヲ經テ其製作ヲ試ミタリ當時上田某亦之ニ賛同シテ事ヲ共ニセリ其後皆分離セルモ以來當業者皆多少器械ヲ採用スルニ至レリ而シテ現今全部機械作業ニ依リテ製作ヲ行フ者ハ京都製針會社大阪府上田新次郎東京府池田藤兵衛ナリ他ハ皆尖頭ノ如キ一部ノ機械ヲノミ應用セリ然レトモ當業者機械ノ使用ヲ研究熟練セサルノ結果機械作業ノ製品ハ常ニ下等品トシテ多數製作スルコトノミヲ勉メ上等品ハ依然多ク手工ニ依頼セサルヲ得サルカ如キ思考ヲ有スルモノ多シ嘆スヘシ元來機械穿孔ハ手工ニ於ケル如ク鑽孔スルニ非スシテ其部分ヲ打抜クモノナルヲ以テ作業後適當ニ燒焠シテ鐵ノ內部ニ起レル歪ヲ補整スルニ非サレハ脆弱ヲ免レ難キモノニシテ其他打拔ノ際孔部ニ起ル刺目等モ能ク之ヲ磨滅スルニ非サレハ絲縷切斷ノ原因ニシテ上等品ヲ得難キモノナリ且洋式溝孔ヲ孔部ニ施シタルモノハ古來ノ習慣上未タ一般ノ需要ヲ喚起スルニ至ラスト雖モ使用上便利ナルモノニシテ前途有望タラン一体縫針ハ使用上其用ニ適セサルニ至ルモノヨリ腐蝕ノ爲ニ其効ヲナサヽルニ至ルモノアリ然レトモ是等猶能ク研究ヲ要スル事柄ニシテ若シ不適當ノ金屬ヲ以テ鍍金ヲ施ストキハ假令其鍍金術ニ於テ成功スルモ其尖端ノ如キ一度鍍金ノ剝脫スルコトアレハ濕氣アル空氣ノ爲電氣作用ヲ起シ反テ鍍金セサルモノ

ヨリ早ク酸化ヲ誘起スルカ如キコトアリ注意スヘシ大阪府石脇粂藏出品莫大小針施工用意ノ周到セルヲ見ル

第三十三類　其二、其四　利器、理髪用利器、針類

	出品點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京都	二七八	一五	一	一	三	三	八
大阪府	一〇〇	九		五	三	四	五
兵庫崎	九四〇	八九		一	三	二九	三七
長崎	三〇二	九〇		二	三	一七	二三
新潟	一六	一					
栃木	三三七	二六		二	一	八	一一
茨城	二	一					
三重	一	一					
愛知	二三	一					
静岡	七	一					
滋賀	一六	六				一	一
岐阜	四一	二六				八	二三
福島	三	一					
岩手	一二	七	一				
青森	三	三					
山形	一八	五					
秋田	六	四					
福井	四六	一五					
富山	七	三					
島根	二	一					
廣島	二〇四	六					
山口	八	一					
徳島	一八	七					
香川	二	一					
愛媛	一四	四					
高知	二五	二〇					
福岡	六八	二					
大分	二八	六					
臺灣	二	二					
合計	二、八七〇	三六五	一	一三	一二	九三	一一九

第三十二類　武　具

其一　軍用及護身ノ銃砲、彈丸、水雷及其附屬品

審査官　富田忠詮
　　柳　貫一
　　宮田太郎

本類ノ出品者ハ東京府二人愛知縣一人ニシテ其點數僅ニ五點ニ過キス之ヲ審査スルニ概シテ進歩シタルモノナシ就中水雷護身機ノ如キハ名實適ハサルモノト云フヘシ其形狀拳銃ノ如クニシテ引金ヲ槓桿臂トナシタル喞筒ナリ而シテ刺戟性ノ液体ヲ握把部ニ收メ臂ト喞筒トニヨリテ銃口部ヨリ液体ヲ迸出セシムル工夫ナリコノ機ノ効用ハ其迸出シタル液体ニシテ眼ニ入ルトキハ眼ノ開視ヲ妨クルニ依リ一時防衛護身ヲナシ得ルト云フニアリ然レトモ此ノ如キハ古來世ニ行ハレ現今全ク廢絕シタル所謂眼潰（メップシ）ト唱ヘタルモノヽ類ニシテ公益ア リ若クハ實用サレ得ヘキモノト認メ難シ次ニ銃器ハ村田形室內射的銃弁ニ七、六ミリメートル」經室內銃ノ二品ニシテ村田形室內射的銃ハ十數年前軍隊間ニ演習用トシテ用キラレタルモノニシテ現今廢絕ニ歸シタルモノトス從ヒテ搆造製作賞揚スヘキ點ナシ又七、六ミリメートル經室內銃ハ室內銃ト云フヨリモ寧ロ射的銃ト云フ方適當ナリトス而シテ其構造製作普通ニシテ是亦賞揚スル點ヲ認メス

其二、軍用ノ輜重具裝身具携帶具等

審査官　湯淺藤市郎
　　宮田太郎
　　守屋物四郎
　　柳　貫一

今回ノ出品中本類ニ屬スルモノハ軍用背嚢、士官背嚢、軍用靴、軍用喇叭、將校用水筒等數點ニ過キス軍用背嚢ハ東京府東京製皮株式會社ノ出品ニシテ該會社ハ從來軍用背嚢及軍鞄ヲ製作シ來リタルモノナルカ今回ノ出品ニ就キテハ特ニ進歩ノ跡ヲ認ムル能ハス單ニ普通ノ製作ト謂フ外ナシ士官背嚢其他軍用靴類ノ出品ハ製作ソノモノヨリモ寧ロ新發明ト稱スル明珍塗ノ適否ヲ見ルニアリ此ノ明珍塗ハ皮革代用ノ目的ヲ以テ一種ノ塗料ヲ布上ニ施シタルモノニシテ獨リ軍用品ノミナラス普通ノ鞄靴並ニ第五部ニ原料トシテ出品シアリ然レトモ皆皮革代用ノ目的ヲ達セサルモノトシテ排斥セラレタリ軍用品ニ對シテモ亦同一ノ評ヲ示スノミ軍用喇叭ハ多年軍用喇叭ヲ製作シ來リタル大阪府植村仙太郎ノ出品ニテ殊ニ今回ノ出品ハ製作良好ニシテ吹奏輕易ナリ確ニ擬賞ニ値スルモノト認メタリ將校用水筒モ亦多年本品製作ニ從事セル大阪府黒澤與三郎ノ出品ニテ多少改良ノ跡ヲ認ムヘシト雖モ未タ良好ナル製作ト謂フヲ得ス

第三十二類　其一、其二　軍用及護身ノ鐵砲等、軍用ノ輜重具、裝身具等

	出品數	出品人員	等級				
			一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一九	四					
大阪	八	二					
愛知	三	一					
合計	三〇	七		一		一	一

其三　刀槍劒　刀杖等

審査官　早川龍介、湯淺藤市郎、富田詮忠、今村長賀

刀劍ハ三府十六縣ヨリ出陳シ其出品人三十三名ニシテ其員數六十九點ナリキ東京府多數ヲ占メ奈良縣大阪府之レニ亞キ其他ハ一縣僅ニ一二點ニ止レリ就中大阪府月山彌五郎（銘貞一、六拾六歳）作ノ日本刀ハ過ル二十八年第四回内國勸業博覽會ノ出品ヨリ一層丹誠ヲ凝ラシ製造セシモノニシテ鍛錬極メテ精熟地鐵細美刀文、錵、匂、樋、彫物等ニ至ルマテ其手際本會出品ノ他作ハイフニ及ハス現今全國刀工中其右ニ出ツルモノナカルヘシ老年ノ作ナレトモ壯麗秀逸ナルコト他作ノ企及ハサル所アリテ一見忽チ英氣ヲ生ス夫レニ亞キ靜岡縣宮口八郎（一貫齋繁壽、六拾參歳）モ其鍛錬精熟地及錵匂ノ鹽梅ヨク整ヒ且彫物ニ長シタレトモ遺憾ナルハ刀姿及其彫物共參考トナスヘキ古名工ノ作ヲ見ルノ便ニ於テ缺クル所アルヤノ感アリ是等ヲシテヨク誘導セハ今一層ノ進歩容易ナルヘシ奈良縣松岡豐七（文彌四郎、包永）作ノ日本刀ハ丁子及ノ土取ヨク整ヒ現今ノ作ニ其比ヲ見サル所アレドモ他ニ缺クル點アリ今一層勉勵ヲ望ム又同縣新田佐之太岐阜縣小阪金兵衛（兼吉）岡山縣太田文平（守道）等ノ出品ニ就キテハ肌鍛大ニ改良ヲ要スヘキモノナリ刀身仕込杖ハ奈良縣岐阜縣大阪府及島根鳥取ノ兩縣ヨリ出陳シ其出品人十三名其員數四十七點アリ其中奈良及ヒ岐阜ノ二縣多數ナリ奈良ノ松岡豐七小鍛冶宗一兩人ノ製作良好ニシテ護身ノ用ニ適シ製販額モ亦多シ岐阜縣小阪金兵衛渡邊喜兵衛兩人ノ出品之ニ亞キ製作良好製販額亦少カラス

擊劒道具ハ京都大阪ノ兩府德島熊本ノ二縣ヨリ出陳シ京都市大和田文次郎ノ面籠手ノ類大橋喜助ノ竹刀等尤モ良好ニシテ製販額多數ナリ又弓矢ハ京都靜岡熊本等ノ一府二縣ヨリ出陳シ皆此職ニ付由緒アル家柄ナリ中ニモ京都市柴田勘十郎ノ弓ハ最モ名家ニシテ數代連綿タルモ一時弓術廢レ斯業衰微セシニ近年マタ体育用トシテ上流社會ヨリ諸學校等ニ於テ專ラ用キラレ製販額大ニ復舊セリ又大阪府野々田常次郎野々田卯之助等ノ出品ニ係ル大中小ノ木太刀、長刀、六尺半棒木鎌等ノ類モ製作最モ良好ニシテ多少ノ製販額アリコトニ野々田常

次郎ノ如キハ斯業ニ付歴代ノ家柄ニシテ製作他ニ秀デタリ

第三十二類　其三　刀槍劒　刀杖

	出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二二	三					
京都	一三	四					
大阪	二九	九				二	三
神奈川	一	一				二	三
兵庫	三	二				六	七
奈良	二七	四					
愛知	一	一				一	一
岡	八	二				二	二
靜	二	七				一	一
岐阜	一	二				四	四
福島	二	一				一	一
秋田	一	一					
鳥取	四	二				二	二
島根	三	一				一	一
岡山	五	一					
德島	四	三				一	一

	出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
香川	三	一					
愛媛	一	一					
高知	四	三				二	二
福岡	一	一					
大分	二	二				一	一
熊本	六	二				一	一
合計	一五九	五三	一	一	一	二六	二九

第三十三類　雜工作品

其一　和服類、法衣、官服類

和服類ノ出品者ハ三府臺灣其他ヲ併セテ僅ニ五十二人點數百九十(大阪府ハ比較上多數)內二等賞一人三等賞二人褒狀十六人ナリシカ概シテ裁縫可ナラサルモノ多シ之ヲ要スルニ京阪地方ハ衣服ノ地質ニ美ヲ競フニ反シテ裁縫ニ注意スル者少キ結果ナラン例ヘハ袴腰板ノ飾菱切ニ縞ヲ横ニ附ケタルカ如キ或ハ玉緑ヲ畧シタルカ如キ是レナリ愛知縣某出品絹地袴ノ紐ヲ鉸具留ニナシタルハ紐ノ損シ易キニ想到ラサリシカ神奈川縣茂木保平出品本邦婦人服仕立輸出婦人服ハ刺繍佳良ニシテ彼レノ嘉好ニ適スヘク同人出品木綿縮緬出服ハ前途多望ナランモ染法ニ缺クル所アリ改良セサルヘカラス

法衣官服類ノ出品者ハ京都府二十三人愛知縣一人ニシテ點數八十ナリ之ヲ査スルニ概シテ著キ進歩ハ認メサルモ製作ハ拙ナラス價格モ亦當ヲ得タリ因テ三等賞二人褒狀九人ノ受賞者アリキ但京都府某出品白顯紋紗狩衣ノ裏ニ薄紫色ヲ用キタルハ表裏ノ配合甚優美ナリシモ惜イカナ裏地ハ簇ノ張月強ク山道ノ如ク凸凹アル綠ヲ切裁チモセス其儘縫上ケタルト表地ノ原絲不良ナリシトノ爲夫ノ尙絅ノユカシサヲ沒了セシコソ遺憾ナレ

袈裟ノ內ニハ往々不適當ノ模樣アル切地ヲ用キタルモノアリシカト是ハ近頃海外輸出トシテ製作スルモノユエ已ムヲ得サルコトヽス而シテ其海外ニ於ケル用途ハピアノ、オルガン等ノ塵除ケトシテ室內裝飾品ノ一ニ應用スルニ在リト云フ今ハ相應ノ賣行アリト云フ

丹羽圭介
淺村三郎
審査官　野田忠藏
河原德立

第三十三類　其一　和服、法衣、官服

出品	點數	人員	級等 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	八	二					
都	一二七	三〇					
大阪	六二	一七					
京	六	二					
神奈川	二	一					
長崎	二	一					
埼玉	二	一					
愛知	一六	七					
岐阜	九	二					
鳥取	五	二					
山口	二	二					
德島	二	二					
香川	三	一		一	三	一三	一六
						七	七
						一	一
						二	二
						一	一

高知	一				
福岡	六	四	一		
臺灣	一				
合計	二七〇	七五	一	四	一
				二五	三〇

其一　洋服、襯衣、襟飾類

審査官　野田忠藏
佐藤友太郎
河原德立

深村三一郎
犬丸鐵太郎

本類ノ出品者ハ三府十三縣ニテ人員百二十七點數七百三十二內一等賞二人二等賞八人三等賞十七人褒狀三十二人(大阪府多數)

洋服裁法ハ從來東京、橫濱、神戶ヲ除ク外ハ見ルニ足ルモノナカリシモ今ヤ然ラス前三地ノ出品ヲ始メ大阪、京都及各府ノ製品孰レモ進歩ノ蹟歷々見ルニ足ル就中神奈川縣小谷國松森田屋出品ノ海軍服及「フロックコート」石川清右衛門(大和屋出品襯衣各種ハ進歩ノ著キモノ之ニ亞クハ東京大村彦太郎(白木屋出品洋服及ヒ「吾妻コート」各種兵庫縣柴田音吉出品ノ禮服及「インバネスコート」大阪府小島合名會社出品禮服有本國藏出品「フロックコート」山口信太郎出品「プリンスコート」松本秋津出品「フロックコート」及醫師往診服ナリ山口信太郎ノ洋服寸取器モ當業者ヲ益スル少カラサルヘク是亦斯業進歩ノ標準トナスニ足ル

襟飾ハ大阪里田友之助田品意匠製作共ニ佳良ナリ東京園田治郎吉出品縮緬絞製ハ新案ニシテ大ニ佳良ナリ若シ歐米男女ノ嗜好ニ適スル染色ト寸法トヲ調査シタランニハ輸出ノ望アラン佐賀縣內藤俊生出品ハ技術優等ナルモ意匠濃厚ニ失シ都人士ニ適セス清爽ナル意匠ヲ案出セハ販路アラン大阪府糸平洋行出品ハ皆露國行キノ洋服ニシテ平素輸出向ノミヲ營業シ尙他ニモ輸出專業者アルハ大ニ嘉スヘシト雖モ益々其盛ヲ致スニ臨ヒ粗製品ヲ造リテ自ラ販路ヲ塞キ自他ヲ害セシコト大阪ニ於テ其例乏シカラス宜ク自ラ鑑ムヘシ木綿縮木綿フラヲル襯衣ノ輸出向品モ今回ノ如ク裁縫ニ注意シ耐久堅固ノ品ヲ造ルニ怠ラサレハ輸出ノ增加疑ナカラン總テ洋服ハ眞ノ粗品ナル爲形狀ノ不完全ナルト勅令ニ由リ定ムル所ノ軍服ニ違式ノ物アリシトハ遺憾ナリキ

第三十三類　其一　洋服、襯衣、襟飾

出品	點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二一八	一六		二	四	四	六
京都	三〇	一八				五	九

	合計	七三二	一二七	二	八	一七	三二	五九
大阪	二九七		六四		五	六	一七	二八
神奈川	八〇		五	二				
兵庫	七		四		一	二	一	五
愛知	三一		六			二		四
靜岡	四		一					二
山梨	六		一					
滋賀	三		二					
岩手	四〇		一					
富山	四		一					
島根	二		一					
山口								
福岡	一							
大分	二		二					
佐賀	三		一					
熊本	二		一					
鹿兒島	一		一					

其一　足袋、股引、腹掛、脚半類

丹羽圭介

本類ノ出品者ハ三府三十三縣及北海道臺灣ニ亘リテ四百六十九人點數二千六百九（大阪府九十六人）內二等賞六人三等賞四十六人褒狀百二十八人

足袋其他トモ前回マテハ東京製上位ニ居リ他府縣ハ遙ニ下位ナリシカ今回ハ全体ニ進歩シ都府ノ製品ニアラサルモ見ルニ足ルモノ多カリキ概シテ小賣目的ノ出品ハ精製ナルモ產額少ク卸賣目的ノ出品ハ產額多ケレトモ製品粗雜ナリ而シテ「ミシン」縫追々發達シテ工費ヲ節シ且其技術手縫ト大差ナキニ至リシハ嘉スヘキコトナリ中ニハ博覽會出品ノ趣旨ヲ誤解シ用途乏キ絹足袋ノ珍奇ナルモノヲ出陳セシ者アリ其一二ヲ示サンニ兵庫縣某出品ノ表白鹽瀨織地ニ太白絹絲ヲ以テ全體ヲ刺シ裏ハ更紗羽二重ニテ一足ノ價金參圓五十錢ナリ尤技術トシテハ見ルニ足ルヘキモ元來刺足袋ハ勞働者ノ使用物ナレハ恐ラク需要ノ途ナカラン埼玉縣某出品青島刺足袋ハ勞働者ノ使用品ナルニ「セルロイド」ノ小鉤（コハゼ）ヲ着ケタルハ不注意ノ甚シキモノト謂ハサルヘカラス右等ニ反シ臺灣ノ足袋ハ地質製作共ニ佳良ニシテ價モ亦廉ナリ東京鎌倉屋久村長三郎出品ハ四十四點ニシテ大ハ力士大砲梅ケ谷常陸山ノ使用品ヨリ小ハ嬰兒ノ料ニ至リ木綿、絹、革、毛織、麻防寒、防水、ゴム底等凡足袋トシテ備ハラサルナシ加之釣魚用甲頭巾アリ同人ハ小賣ヲ目的トスルヲ以テ地質裁縫共ニ佳良ナリ茗荷屋櫻井六右衛門出

淺村三郎
野田忠藏
河原德立

品七十五點ハ悉ク品替リニテ地質裁縫共ニ佳良ナリ同人ハ卸賣ヲモナセリ大阪ハ器械縫ヲ專トシテ産出ノ最多キハ日比庄兵衛、山西玄兵衛、辻本福松、内田幸助等ナリ兵庫ノ永井桑次郎モ器械縫ノ熱心ナルモノ德島縣坂田幸太郎出品韓國向足袋ハ大ニ勉ムヘキモノナランモ比翼足袋ノ如キハ蓋シ益ナカランカ大阪足袋會出品ノ足袋製造法ハ斬新ナラサレトモ此類ノ出品ハ歡迎スルニ足レリ股引腹掛ハ著キ進歩ヲ認メス但奇異ナル出品ノ一二ヲ擧クレハ三重縣某ノ絹絲ヲ以テ青島地腹掛ニ模樣ヲ刺繍シ裏ニ緞子織ヲ着ケタル如キハ其供給ノ何レニ在ルカヲ見出スニ苦マサルヲ得ス木綿脚半ハ其製作普通ナレドモ明珍塗脚半ハ製作較佳良ニシテ其價モ亦當ヲ得タリ足袋出品者中ニハ他人ノ製作品ヲ自己製品ノ如ク粧ヒテ當局ヲ欺瞞セント謀リ又ハ賣價ヲ故ラニ低廉トナシ以テ賞ニ與ラントセシ者アリ是等ハ附點ノ際斟酌シタリ

第三十三類　其一　足袋、股引、腹掛、脚半、手甲、指子、袢天

	出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二八六	一四		二	三	二	七
京都	一五八	二四		四	四	七	一二
大阪	八七〇	九八			一〇	二	一二
神奈川	七	二					
兵庫	七二	一六			二		二
長崎	二八	四			二		二
新潟	一八	四			一		一
埼玉	四五	一二			一		一
千葉	二	一					
茨城	二	一					
栃木	三	二					
奈良	二三	四					
三重	九一	二三			二		二
愛知	二八八	一三三			一		一
岡山	六六	一三					
静岡	一二一	一五			一		一
滋賀	三三	九			一		一
山梨	二三	二					
岐阜	二二	二					
長野	一〇	一二					
秋田	二	一					
福井	四九	一〇					
富山	三二	七					
鳥取	五八	八					
岡山	一五六	五九					
廣島	一三一	七					

府縣道廳	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	褒狀	計
合計	二、六〇九	四六九	六	四六	一一五	一六七	
山口	五	一					
和歌山	三三	一五					
德島	一二五	一四					
香川	二七	四					
愛媛	五〇	一二					
高知	一八	一〇					
福岡	一二一	二二					
大分	一三	四					
佐賀	一一	三					
熊本	二〇	五					
鹿兒島	二〇	三					
北海道	九	四					
臺灣	一〇	一					

其一　雨衣

審查官　淺村三郎　野田忠藏　佐藤友太郎

本類ノ出品ハ三府此海道臺灣外十二縣ニテ出品人五十四、點數八十九、防水布、合羽、擬羅紗、蓑、菅棕櫚等ノ諸材料ヲ以テ製作シアリ二等賞二人三等賞三人褒狀七人

合羽蓑ノ類ハ特ニ進歩セルモノヲ認メス

防水布製雨衣ハ大阪日本防水布合資會社ト巖又兵衛兩名ノ出品優等ニシテ之ニ亞クハ河野仁三郎東京府渡邊和光大阪府芳賀恒輔出品擬羅紗防水雨衣ナリ

木綿地水夫用雨衣ハ前途多望ノ品ナランモ出陳少數ニシテ且油ノ引方不充分ノ點アリ改良ヲ望ム

河原德立

第三十三類　其一、雨衣　蓑、合羽、桐油

府縣道廳	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	褒狀	計
京都	二	一					
大阪	一二	一〇					
兵庫		三					
新潟	一五	一〇					
茨城	一	一					
三重	九	一					
靜岡	一二	二		二	三	三	八
					一	一	一
					四	四	四
					二	二	二

	山形	秋田	福井	島根	德島	高知	佐賀	北海道	臺灣	合計
八九	二	二	六	二	一三	三	三	二	五	
五四	一	一	四	二	九	三	三	一	二	
二										
四							一			
一三					一	二				
一九	二				一					

其一　裝身具

審查官　前田健次郎
　　富田忠詮
　　佐藤友太郎
　　平山英三
　　海野勝珉

裝身具ノ品類ハ釦鉦指環、襟留、襟針、腕輪、袂時計及鎖、時計飾等ノ各種ニシテ出品人員百八名出品員數二千九百十五點アリ裝身具ハ專ラ風俗ニ伴ウテ遷移スルモノナルカ故ニ衣服制度ノ變遷ニ因リテ最モ著キ變化ヲナセリ江戸幕府時代ニ在リテハ刀劍ノ裝飾ヲ以テ第一ニ其人品ニ關係アルモノトシ各華美ヲ競ウテ人品ノ高下ヲトスル具トナシ之ニ次キテハ印籠ニ各自ノ好尚ヲ示セリ然ルニ市人ニ在リテハ刀劍ヲ以テ華美ヲ示スコトヲ得サルカ爲ニ懷中物煙管、煙草入等ヲ以テ僅ニ富榮ヲ誇ルノ具トナスニ過キサリキ維新ノ初メ廢刀令ノ頒布ト衣服制度ノ改良トニ因リテ刀劍裝具ノ製造ヲ業トセルモノ、多クハ釦鉦指環其他ノ新風俗ニ伴フ裝身具ヲ造ルコト、ナリ延イテ時計附屬ノ下ケ物及ヒ時計鎖等ヲ製造スルモノモ漸次其數ヲ加ヘ其多數中ニハ歐米ノ形式適用ニ留意シ器械力ニ因リテ廉價ニ販賣シ得ル方法ヲ採ルモノアリ是等ハ內國ノ需要ニ應スルニ止マラス遠ク南洋諸島ヨリ北ハ浦鹽港清韓二國ヘモ輸出スルニ至リ逐年其額ヲ增加スルカ如キ盛運ニ達セルヲ見ル社會生活ノ程度ノ增進スルニ從ヒ奢侈ノ好ミモ亦各自ノ分限ヨリ昇騰スルコト自然ノ趨勢ナルニ因リ其中等ノ位置ニ在ル者モ高等上位ノ人ト相對シテ甚キ懸隔無カランコトヲ企望スルノ念ヲ生ス此一事ハ曾ニ中流以下ノ奢侈心ノ增進セルノミニアラス華士平民ト階級ノ確立セルニモ拘ハラス其交際場裏ニ在テ相倚リ相助ケ敢テ其間ニ墻壁ヲ設ケサルヲ可トスルノ情況ヨリシテ自然衣服ヨリ裝身具ニ至ルマテ亦上流ト遠ク逕庭ナカランコトヲ望ムニ至ルハ當然ナル所トス是ニ於テ貴金屬ノ原料ト寶石應用ノ製品トヲシテ需要多カラシムルニ至ル然レトモ高價ノ金、白金、烏金等ヲ使用スレハ其工作ノ賃銀ノ外ニ地金代ノ多キヲ加フルカ故ニ勢ヒ價格ノ

昇騰ヲ免レス此ノ支障ヲ除去スルニハ金、白金等ノ貴金屬ヲ巧ニ着セ純質ト差異ナカラシメ或ハ鍍金法ヲ改良シテ永久變色セシメサルニ在リ時計附屬品及ヒ鈕襟針等皆細緻ノ工作ヲ要スルモノニシテ純質ト金着セトヲ一見差異ナク製造シ得ルハ實ニ容易ノ業ニアラス若シ其方法ニシテ宜キヲ得サレハ原料ニ於テ省略シタル價格ハ徒ニ工賃ノ爲ニ奪ハレ結局寸効ナキニ畢ル可シ或者ハ百方苦辛シ成ルベク機械力ニ因リテ其工賃ヲ低廉ニスルト同時ニ品類ノ製造上均一ヲ圖リテ稍其目的ヲ達シ得タルモノアルニ至レルハ此種工業ノ進歩著大ナルモノトシテ最モ悦フ可キ現況ナリト云フ可シ又內國需要ト海外輸出トヲ目的トセル貝釦鈕及清國輸出ヲ專ラトスル眞鍮釦鈕ノ如キモ第四回博覽會ノ出品ニ比スレハ進歩著ク見釦鈕ハ其原料ノ多クヲ內地產ニトルカ故ニ是カ發達ハ漸々水產業ニモ波及スヘキモノナリ又水晶、瑪瑙、孔雀石等ノ釦鈕、指環其他ノ裝身具ニモ應用セラルヽモノニシテ是亦內地產ヲ用キルカ故ニ比較的低廉ナルモノナキニアラサレトモ是ヲ製作スル產地ノ工業家ニ都會ノ好尙ヲ探究スルノ意ナキヲ以テ形狀粗野ニ傾キ用途ノ不便ナルモノ往々ニシテアルハ歎スヘシ畢竟此ノ如キハ製作者ノ不注意ニ因ルト雖モ勸業ノ位置ニアル者ノ指導ヲ缺クモ亦工業發達ニ留意セサル責ハ免レサル可シ

裝身具ノ價格ハ概シテ高價ナリ元來奢侈品ナリ榮耀物ナルカ故ニ割合低廉ナレハ其製造粗ナルヤノ感ヲ起シ却テ購買力ヲ減スヘシトハ商賈間ノ口實トスル所ナレトモ製造深切ニシテ比較的價格ノ低廉ナルハ何人モ悦フヘクシテ前說ノ如キ購買者ヲ愚弄スルノ甚タシキモノ到底商略ノ得タルモノニアラサルナリ是レカ製造者商賈ハ品質ヲ精良ニシ價格ヲ低廉ニシテ販路擴張購買者ノ歡心ヲ得ルヲ第一トスヘキナリ本品出陳者中往々價格ノ高キニ過クルヲ見ルヲ以テ一言茲ニ及フモノナリ

參考館出品ノ裝身具ハ其種類多カラスト雖モ釦鈕、腕飭等ノ諸品各所ニアリ其製造ノ優劣ヲ對照熟覽スルニ工作上ノ精粗ニ至リテハ我ノ品決シテ彼ニ讓ラサリキ然レトモ彼レハ多クノ機械力ヲ用キルカ故ニ均一齊整ノ點ニ於テ我ニ優レリサハイヘ其趣味ニ於テ我手巧ノ棟熟ヨリ來レル趣味ノ饒多ナルニ及ハス是レヲ概言スレハ彼我互角ノ位置ニ在リ其適用上必要ノ點即チ釦鈕ニ在リテハ「バネ」ノ工合腕飾ニアリテハ其蝶番接合ノ工作ノ如キ彼レノハ簡易ニシテ堅牢我ハ迂遠ニシテ脆弱ナルモノ往々アリ貴金屬ヲ使用シ眞珠、寶石等ヲ應用シ緻密ノ技巧充分各人ノ好尙ニ適ストハ云ヘ其目的ハ啻ニ愛翫シテ止ムモノニアラス必ス是ヲ用途ニ供シ公會醵席等ノ盛裝ニ誇ラントスルモノナリ然ルニ製作奈何ニ纖細緻密ヲ極メタリトスルモ一回二回ノ使用ニシテ忽チ工合ヲ損シ修繕ヲ要スルカ如キハ不經濟ノ甚シキモノニシテ購買者ノ最初ヨリ懸念スル所ハ實ニ茲ニアリ彼ノ海外製品ニアリテハ或點我ニ劣ルト所アルモ其適用上ニ至テハ堅牢堅固ニシテ耐久ノ効力著キヲ見レハ我製品ノ彼カ需要ニ應スルヲ得サルハ最モ覩易キモノナリ當業者宜ク注意スヘシ

本類ノ出品中其優等ナルモノヲ指摘スレハ第一ニ東京ノ村松萬三郎ヲ推サヽルヲ得ス同人ハ裝身具類時計鎖及其附屬品類ノ多數カ輸入品ノミニ限ラルヽ如キハ國家經濟上頗ル不

利ナルヲ憂ヘ多クノ徒弟ヲシテ其製造ヲ練修セシメ漸次工場ヲ擴張シ今日ハ自宅ノ外本所區內ニ五箇所ノ工場ヲ有シ職工二百數十人ト生徒二十餘人トヲ使役シ專ラ機械力ニ因リテ製出スルカ故ニ其價格低廉ニシテ堅牢耐久ノ實ヲ有スルノミナラス其形式意匠ニ於テモ優ニ歐米製品ニ劣ラサルマテニ發達シ今ハ輸入ヲ防遏シテ却テ南洋諸島清韓二國ニ輸出スルニ至ル況ンヤ內國ニアリテハ三都其他重ナル都會ノ時計店中僅ニ二三ヲ除クノ外同工場ノ製品ヲ仕入サル者ナク既ニ本會出品ニ於テモ少ク普通以上ノ品ヲ採テ見レハ皆村松ノ製品ナリキ是レ夙ニ斯界ニ優勢ヲ占ルヲ知ルニ足ルモノトス其製品ノ特殊ナル點ハ白金ノ鎔解ヲ自在ニ爲スニアリ其所用ノ坩堝ノ如キハ他ニ比類ナク大阪造幣局ニ於テモ常ニ同店ヨリ買上ラルヽ事實アリ特許品ニ於テハ磁石兼用ノ正午計伸縮自在鎖特許時計環等皆大ニ世ニ行ハル加之金、烏金、白金等ヲ自在ニ着セタル時計鎖ノ如キハ毫モ純質ノモノト其觀ヲ殊ニセス此ノ如キ製造上ノ發達ハ未タ他ニ其類ヲ見サルニ因リ名譽銀賞ノ優選ニ入レリ次ハ大阪ノ衣服卸鈕商中村儀助ナリ同人ハ衣服制度ノ改定ニ因リテ卸鈕ノ需要ノ多カルヘキヲ察シ最初ハ牛骨其他ノ材料ヲ用キテ卸鈕ノ製造ヲ起シヽモ意ノ如クナラスシテ屢々失敗セシカ更ニ屈セス漸ク明治十年ノ比ヨリ貝卸鈕ノ製造ヲ創始シ幾多ノ改良ヲ經テ今日ニ至ル者ニシテ阪神ノ間ニ同業ヲ營ムモノ漸ク其數ヲ增セルハ一ニ中村ガ卒先シテ此製造ニ從事シ着々巧ヲ奏スルニ倣フモノナリ而シテ今ヤ全然輸入ヲ防遏シテ傍ラ清韓二國ニ輸出スルニ至レリ其出額モ亦漸次增進スルノ運ニ向ヘリト云フ此他ノ金屬卸鈕ニシテ清韓ニ輸出スル者一二アリ是等ノ出品ニ對シ特ニ優賞ヲ擬シタルハ製造盛大ニシテ內外販路ノ多キニヨレリ此他內國用ニ止マリ舊樣ノ工作ヲ以テ精緻ヲ極メタルモノ等アレトモ其評言ハ略シタリ

熟ラ裝身具製造全体ヲ通觀スルニ出品者ハ普通工業ト美術工業トノ區別ヲ知ラス徒ニ纖巧ニ流レテ工費ノ高キヲ顧ミス販路ノ廣キヲ願ハスシテ一部物數寄ナル紳商豪奢ニ誇ル者ノ罕ニ購去スルヲ待ツテ大利ヲ得ルヲ快トスルガ如キ觀アルヲ免レス然レトモ工業ノ發達商業ノ振起ヲ目的トセンニハ多ク製造シテ廣ク賣リ小利ヲ積テ洪益ヲ收ムル方針ヲ取ラサルヘカラス見ヨ機械力ニ因リテ多ク製造スルモノハ比較的廉價ナルカ故ニ販路モ亦從ヒテ多クシテ現ニ小利ニ甘シ洪益ヲ收メ得タル者アルニアラスヤ彼ノ村松時計鎖ノ如キ中村ノ貝卸鈕ノ如キハ最適例ニアラスヤ然レトモ此二人ノ製品中ニモ猶未タ不完全ナル點全クナキニアラス村松ニ在リテハ各種ノ時計鎖各種ノ時計下ケ物鉛筆類ハ充分成巧セリト雖モ時計側、指環襟針等ニ至テハ未タ完全ノ域ニ達セス殊ニ時計側ハ我邦ニ於テ從來製造シ得サリシモノヲ創製シタル其苦辛ハ察スヘシト雖モ其質厚クシテ重量アリ今一層薄クシテ輕ク製出スルヲ得ハ甚タ可ナラン又中村ノ貝卸鈕モ廉價ナル襯衣卸ノ細小ナルモノマテ研磨整齊ノ注意ハ看取セラルレトモ同種類多クヲ取テ厚薄ヲ仔細ニ檢スレハ猶未タ均一ナラサルモノ一二ナキニアラス實ニ貝卸鈕ニアリテハ此ノ厚薄ノ均一ハ需要ノ一大要件ニシテ輸出ノ盛衰モ亦一ニ此點ニ因由スルヲ忘ル可カラス村松中村二人ノ製造方法及其販賣ノ方針ハ輒ヤ博覽會ノ本旨ニ副フモノナルカ故ニ特ニ將來ノ注意ヲ促シ置クト云フ

第三十三類　其一　釦鈕指輪、衿留、衿針、腕輪、首掛、時計鎖、時計、其他裝身具

	出品點數	出品人員	等級 名譽銀牌	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二、〇三四	三二	一			五		
大阪	二八	六						
京都	三〇九	三六		一				
神奈川								
兵庫	一	一						
三重	二九	三						
愛知	九	二						
山梨	一五九	七						
岐阜	一〇	一						
秋田	八三	三						
福井	一四	四						
島根	一六	二						
大分	二一	一						
熊本	九八	三						
沖縄	七六	一						
臺灣	二七	六						
合計	二、九一五	一〇八	一	一	二	五	二二	二七	五六

本類ノ出品點數ハ五百三十七ニシテ出品人員百三十一人ナリ抑モ本類ノ出品ハ種類雜駁ニシテ肩掛、腰帶、手巾、襟卷等ノ如キ裝身携帶用ノ品アリ窓掛、卓子掛、皿敷等室内裝飾品ニ屬スルモノアレトモ主ナルモノハ肩掛手巾卓子掛トス

肩掛ハ專ラ内地需要ニ屬スルモノニシテ近來世ノ流行ニ伴ヒ種々新奇ノ考案ヲ施シタルモノアレトモレース肩掛ト俗稱スル毛長天鵞絨製ノモノト刺繍ヲ施シタル絹製ノモノトヲ除クノ外見ルヘキモノナシ

手巾類ニハ絹製、木綿製、麻製ノ三種アリ絹製手巾ニハ單ニ紋織、綾織、珍柄織ノ絹布ヲ縫裁セルモノト捺染色染ヲ爲シ或ハ刺繍ヲ施シタルモノアリ木綿製手巾ハ單ニ金巾ヲ適當ニ截切シテ縁縫ヲ施シタルモノニテ見ルニ足ルモノナシ麻製ノモノハ大麻布若クハ苧麻布ヲ使用セルモノナレトモ經緯ニ細太アリテ布面均同ナラス其價又甚貴シ其稍見ルニ足ルヘキモノハ經ニ綿絲ヲ用キ緯ニ麻絲ヲ用キタルモノナリ將來價格ヲ低廉ニシ品質ノ改善ヲ圖レハ好望

其一、其五、其七、手巾、窓掛、卓子掛、肩掛、襟卷等

審査官　犬丸鐵太郎
　　野田忠藏
　　山口務
　　山岡次郎

ナル需要品タルヘシ

卓子掛ノ絹製ニハ刺繍入等ノモノ各種アリ又綴織ノモノアレトモ圖案拙劣ニシテ見ルニ足ルモノナシ麻製卓子掛ニシテ絲拔縫取ノ工ヲ施シタルモノハ圖案及縫取ノ技ニ於テ見ルヘキモノアリ

抑モ此類ニ屬スル製品ハ裝飾ヲ以テ目的トスルカ故ニ紋織ノ布帛ヲ用キ色染ヲ行ヒ捺染又友禪染ヲ爲シ或ハ刺繍ヲ施シタルモノ多シ然レトモ今回ノ出品ハ能ク用途ニ適シタル意匠ヲ凝ラシ適切ナル裝飾ヲ施シタルモノ少ニ而シテ圖案ハ多ク珍奇異樣ノ繪畫ヲ以テシ摸樣ト繪畫トノ別ヲ明ニセス配色ニ意ヲ用キサルハ甚遺憾ナリ宜ク適切ノ圖案ヲ研究シ意匠配色ニ注意シ新ヲ競ヒ奇ヲ弄スルノ觀念ヲ絶ツヘシ本類ノ出品中圖案適切ニシテ刺繍ノ精緻ナルハ唯兵庫市大幸喜作ノ白絲刺繍入手巾及愛知縣佐田桂次郎ノ色絲刺繍入手巾アルノミ其他ハ凡庸普通ノモノ多ク絲纈肩掛絞染ノ卓子掛ニ至テハ大ニ考案ノ適否ヲ疑フ所ナリ

第三十三類　其一、其七　肩掛、手巾、窓掛、卓子掛類

出品	點數	人員	等級・一等	二等	三等	褒狀	計
東京	八三	六					
京都	八一	二〇					
大阪	四一	一一		二	一一一	二	三二三

出品	點數	人員	等級・一等	二等	三等	褒狀	計
神奈川	四二	一一					
兵庫	七六	一二	一				
奈良	四	一					
三重	一一	二					
愛知	六六	一六	一				
静岡	八	二					
滋賀	四	三					
岐阜	二三	九					
長野	二	一					
宮城	六	二					
福島	七	五					
石川	五〇	六					
鳥取	五	三					
島根	一	一					
臺灣	二七	二〇					
合計	五三七	一三一	二	五	一八	二〇	四五

其一　莫大小製品

野田忠藏

島田佳矣
審査官　湯淺藤市郎
佐藤友太郎
山岡次郎

莫大小製品ノ出品點數ハ九百五十七點ニシテ出品人員ハ百三十人ナリ本品ノ主ナル製産地ハ東京府及大阪府トシ他ノ諸府縣ハ單ニ局所ノ需要ニ供給スルノ外廣ク販路ヲ他ニ需ムルモノニアラス

莫大小製品ノ種類タル肌衣下、股引、靴下及手袋ヲ以テ主ナルモノトシ今回ノ出品中ニハ足袋襟卷、寢衣等新奇ノ製品アリト雖モ是等ハ試驗的ノモノニシテ果シテ實用ニ適スヘキヤ否ニ至リテハ未タ疑ヲ存スル所ナリ

今回出品ノ莫大小製品ハ木綿製、毛製、毛綿製、交織製ノモノ最多ク又絹製ノモノアリ本來莫大小製品ハ輸入品摸造ニシテ從來ハ木綿製ノモノ專ナリシカ近來毛製及毛綿製ノ製造其緒ニ就キ東京府齋藤メリヤス毛織物製造所ノ出品ノ如キハ品質善良能ク需要ニ適フヲ見ル是レ本業ニ於テ一進歩ト云フヘキナリ其他東京府高見澤商會大阪府ノ小西藤兵衛石井勝次郎出品ノ莫大小製品ノ如キハ品質佳良縫裁叮嚀ニシテ舶載品ニ遜ラサル價値アリ

莫大小製品ハ防塞衣トシテ必需ノ物品ニシテ初メテ海外ヨリ輸入サレタル當時ニ於テハ其價稍々貴クシテ衆庶普通ノ需要ニ適セサリシカ我國ニ於テ本業ノ發達セシ以來製品ノ價格低廉トナリ普ク衆庶ノ需要ニ適應スルニ至リ現時ニ於テハ都鄙ヲ論セス貧富老幼ヲ分タス普ク社會ニ需要セラルヽニ至リヌ又近年婦女子ノ之ヲ使用スルモノ年ヲ逐ヒテ增加シ又數年前本品ノ輸出ヲ清國及韓國ニ試ミタリシカ頗ル需要ニ適ヒ年々輸出額ヲ增加シ近年進ンテ印度露領亞細亞ノ各地ニ販路ヲ開キ益々前途好望ナルハ本業ノ爲ニ喜フヘク又我輸出貿易上ニ慶スヘキ一事ナリ

今回ノ出品ヲ審査スルニ東京府下ノ製品ハ概シテ品質善良ニシテ大阪府ノ製品ハ品位之ニ亞ク其然ル所以ノモノハ蓋シ東京府ノ製品ハ專ラ內地ノ需要ニ供給シ以テ輸入品豫防ヲ勉ムル故ニ價格稍々貴キモ品質良好能ク輸入品ニ代用スルニ足ルヘキモノヲ以テ製造ノ主眼トシ大阪府製品ハ概ネ清韓印度其他東洋輸出ヲ以テ目的トシ是等仕向地ハ品質稍劣ルモ低廉ナル物品ヲ嗜好スルニ由リ製造ノ主旨自ラ之ニ適フニ歸因スルナリ凡ソ製品ハ需要者ノ嗜好ニ應スルヲ以テ主旨トナスヘキカ故ニ品質善良ナレバトテ強チニ之ヲ賞シ品質劣等ナレハトテ之ヲ排斥スヘキモノニアラス宜ク需要ノ情態ヲ察シ價格ニ照ラシテ品質ノ善惡ヲ鑒ミ其實用ニ恰適スルト否トニ由テ優劣ヲ判スヘキナリ

莫大小製品ノ事業タル我國重要工業ノ一ニシテ貿易上ニ於テ一ニハ輸入ヲ防壓シ一ニハ輸出ヲ開發スル等國家經濟上重要ナルモノナリ是ヲ以テ將來益々本業ノ進歩ヲ望ミ其隆盛ヲ冀フ所ナリ

今回ノ出品ヲ審査スルニ大體ニ於テハ進歩ノ狀見ルヘキモノアルモ未タ技倆ノ巧拙整理法

ノ良否堅牢持久ノ度合裁縫ノ精粗漂白染色ノ善惡等ニ於テハ歐米諸國ノ製品ニ比シテ遜色アリ宜ク原絲ノ採擇ニ意ヲ用キテ品質ノ堅牢持久ヲ勉メ縫裁ニ意ヲ用キテ鈕釦ノ縫着縫目ノ破綻シ易キ缺點ヲ補ヒ漂白染色ノ技ヲ研究シテ其改善ヲ圖リ輸出品ニ關シテハ能ク仕向地ノ需要嗜好ヲ研究シ需要者ノ躰軀ヲ精査シテ其大小形狀ヲシテ能ク之ニ適合セシメ機械ノ改善ニ意ヲ用キテ勞ヲ除キ工費ヲ節スル等百般ノ研究ヲ盡シ徒ニ價格ノ低廉ヲ欲シテ品質ノ粗惡ニ流ル、弊ニ陷ルコトナク益々製品ノ信用ヲ博スルヲ勉ムヘシ

第三十三類　其一、莫大小製品

	出品點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二五六	二一	二	四	四	三	一三
京都	二七	九					
大阪	六三三	九二	二	一〇	一六	二〇	四八
兵庫	四	一				一	一
愛知	一	一					
滋賀	一	一					
岐阜	五	一				一	二
秋田	一	一					
山口	三	一					
愛媛	一	一					
合計	九三三	一三〇	四	一四	二〇	二六	六四

大分　一　一

其一　帽子類

審査官　山口務　佐藤友太郎　山岡次郎　犬丸鐵太郎　野田忠藏

帽子類(麥稈製其他夏帽子ヲ除ク)ハ氈帽(フエルトハット)、羅紗帽、烏打帽、ヘルメット帽、綿帽子ノ各種ニシテ出品點數ハ二百八十七點出品人員ハ二十八人ナリ而シテ綿帽子ノ外ハ皆輸入品模造ニシテ其製造上分チテ左ノ三種トス

第一、獸毛ニ加工シテ帽子ニ製作シタルモノ

第二、帽體ニ作リタルモノヲ輸入シ之ニ裝飾整理ノ工ヲ施シタルモノ

第三、羅紗其他ノ布帛ヲ用キテ製造シタルモノ

第一種ノ製帽事業ハ適應ノ機械類ヲ設備シ染色整理等ニ至ル各種ノ工程ヲ行フモノニテ整

然タル工業ナリ斯ノ如キ設備ヲ存スルモノハ全國ニ四會社即チ靜岡縣濱松町ニ帝國製帽株式會社東京市ニ日本製帽株式會社明治製帽株式會社大阪市ニ濱谷帽子株式會社アリ是等ノ會社ハ或ハ外人ヲ聘シテ製造ノ技ヲ研究シ或ハ技師ヲ海外ニ派遣シテ技術ヲ練習セシコトアリ其結果今日ニ至リテハ山高帽即チ硬帽子（カタ）ニ至リテハ品質ニ於テ稍々輸入品ト優劣ヲ競フヘキモノヲ製作スルニ至リ能ク內地ノ需要ニ適シ大ニ輸入品防壓ノ効ヲ奏セリ然レトモ技術上ニ於テハ染色整理等輸入品ニ比シテ遜色アリ宜ク製造ノ技ヲ練リ一層ノ進歩ヲ圖ルヲ要ス又是等ノ四會社ハ軟帽ノ製造ヲ創ム其製品中技術ノ進歩見ルヘキモノアリト雖モ硬帽ニ比スレハ技倆ニ於テ一歩ヲ讓ル所アリ將來益々製造ノ技ヲ練リ精品ヲ製出スルコトヲ努ムヘシ

第二種ノ製帽事業ハ純然タル製造業ト云ハンヨリモ寧ロ帽子裝飾業ト云フヲ以テ妥當ナリトス此事業タル內地製帽子業ノ海外ニ比シテ幼稚ナル今日ニ在テハ上等品ノ需要ニ供給スルニ於テ有益ノ業トス何トナレハ此目的ヲ以テ營業トスル出品者大阪市高橋富次部ノ製品ヲ見ルニ帽ノ品質良好ニシテ裝飾佳良能ク上等ノ輸入上等帽子ヲ豫防スヘキ價値アルハ賞スルニ足レリ

第三種ノ製帽業ハ軍帽、制帽、學生帽、鳥打帽、ヘルメット帽ノ各種ニシテ羅紗其他ノ布帛ヲ裁縫シテ帽子ニ作レルモノニシテ需要大ナリト雖モ製作裁縫ニ於テ間々堅固持久ヲ缺キ軍帽制帽ニ至リテハ正式ニ違フモノ多キハ遺憾トスル所ナリヘルメット帽ハ製作ニ改善ヲ加ヘタル功績見ルヘキモノアリ是等ハ東洋諸國ニ於ケル夏帽子トシテ輸出スルモノナルハ將來需要地ノ嗜好ヲ研究シテ品質ヲ固クシ輸出地ニ於ケル信用ヲ博センコトヲ望ム

第三十三類　其一、帽子

	出品點數	出品人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	四五	四	一	一			二
大阪	一八七	一〇					
兵庫	一	一					
新潟	二	一					
靜岡	二一	一					
宮城	六	一					
福井	二	一					
富山	三	一					
鳥取	一	一					
福岡	九	三					
佐賀	七	二					
臺灣	三	二					
合計	二八七	二八	一	一	二	四	九

其一、其三、其五、其七　麥稈製品

審査官　金子篤壽
　　關口寬一郎
　　山岡次郎
　　野田忠藏
　　犬丸鐵太郎

第一、竹帽子麥稈帽子等ノ夏帽子及笠類
第二、麥稈及林投葉製等ノ鞄類
第三、經木製麥稈製嘗製等ノ敷物及織物類
第四、麥稈、經木、蔓及菅等ノ製品

麥稈製品ナル名目ハ審査上ノ便宜ニヨリ之ヲ設ケタルモノニシテ此部類ニ屬セシモノヽ中其主ナルモノハ前ニ揭ケタル四種ニシテ一府三十一縣ヨリ出陳シ其人員百九十一名其點數五百九十ナリ而シテ第一種ニ就キテ製作上進歩ノ著キモノハ神奈川縣ニシテ飯島榮太郎ノ麥稈帽子及バナマ帽子製造所ノ出品ハ歐洲產ノ麥稈眞田ヲ原料トシテ製造シタルモノアレハ人ヲシテ舶齎品ナリト疑ハシムル觀アルモ是レ却テ技術ノ進歩ヲ表示スルモノニシテ殊ニ純然タル日本產四菱眞田ノ婦人帽ノ如キハ其製作殆ント完全ニ近シ只其卷帶未タ宜シキヲ得サルモノアルハ遺憾ナリトスバナマ帽子ハ臺灣產林投葉ヲ原料トシテ製造シタルモノニシテ未タ其編製整一ナラス漂白ノ至ラサルモノアルモ本邦ニ於テ新ニ斯業ヲ開始シテ現時ノ狀態ニ進メタル苦心經營思フ可キナリ蓋シ臺灣產ノ林投樹及小笠原島所產ノ蛇木（タニ）モ舶來バナマ帽子ノ原料ト等シク同科ノ植物タリ故ニ我當業者ハ此豐富ナル原料ヲ利用シテバナマ帽子ヲ製造シ以テ輸入ヲ防遏シ之カ輸出ノ途ヲ開カハ斯業ノ前途益々有望ナルベシ而シテ尙意ヲ注ク可キハ製作技術ノ進歩ハ勿論價格ノ低廉ト裝飾品即チ卷帶トノ改良ヲ圖ルニアリ

次ニ擧ク可キハ大阪府門野喜兵衛等出品ノ勞働者用輸出麥稈帽子ト山口縣吉田乙熊出品ノ米藁眞田帽トス前者ノ原料ハ清國產麥稈眞田ニシテ即チ製造上ノ利ヲ收メテ東洋諸國ニ輸出スルモノ此種ノ工業モ亦奬勵ス可キモノヽ一ニ屬ス稻麥眞田ハ未タ世ノ需要ヲ喚起スルニ至ラサルモ近來歐米人ノ細稈帽ヲ好ミ嗜好變轉ノ徵アルニ際シテハ甚有望ノ事業タルヘシ然レトモ其製作及漂白未ダ完全ナラスシテ且價格不廉ナレハ當業者ハ大ニコノ點ニ注意スヘシ

笠類ハ我農工商ヲ通シテ一般下流者ノ必要ナル常用品ナレハ虛飾ニ流ルヽヨリハ價格低廉ニシテ堅牢且其形狀及重量適度ニシテ冠用ニ便ナルヲ要ス出品中特ニ擧クルニ足ルモノ乏シキモ高知縣和田榮一出品ノ菅笠ハ見ルヘキモノナリ

第二種ニ屬スル麥稈ハ原形ノ儘之ヲ編製シテ玩具類ヲ造ル習慣アルモ未タ之ヲ實用的ニ利

用シタルモノ尠シ愛知縣愛知麥稈商會ノ麥稈製鞄ハ稍々其途ヲ開キタルカ如ク賞スヘシト雖モ尚實用ニ遠シ然レトモ其意匠ト配色トハ甚タ愛ス可シ自今絹布類ノ裝飾ヲ避ケ壹個五拾錢内外ノ價ヲ以テ堅牢ナル製品ヲ出サハ販路擴張ノ見込アリ

東京府廳出品小笠原島産ノ蛇木（タコ）製鞄類ハ其製造ノ苦心見ル可キモ寧ロ本原料ヲ用キテハナマ帽子ノ製造ニ講究ヲ加フルヲ以テ得策トスヘシ

第三種ニ屬スル經木並ニ麥稈ノ織物ニ就キテハ山大工場ノ經木製織物及田原岩太郎ノ麥稈製織物共ニ兵庫縣下ノ産ニシテ他縣ノ出品ニ卓絶シ輸出有望ノ商品タリ然レトモ甲ハ色彩ニ乏ク乙ハ價格不廉ナリ能ク需要ノ途ニ鑑ミテ改良ノ工ヲ施ス可シ

第四種ニ屬スル經木麥稈細工ノ出品中稱揚ス可キハ滋賀縣盛進株式會社ノ製品ナリ製作ハ未タ完全ナリト云フヲ得サルモ形狀ト意匠トノ攻究ニ留意セルノ跡見ル可シ又兵庫縣熊毛丑藏出品ノ麥稈細工中文庫ハ配色可良ニシテ全体ノ意匠嘉ス可シ

要スルニ此部類ニ屬スル出品ハ輸入防遏及輸出ノ品類ニシテ又我細民日需ノ用品タリ故ニ當業者ハ常ニ需要ノ趨勢ニ鑑ミ充分ノ注意ヲ以テ器械ノ應用完備ト技術ノ進歩トヲ圖リ又堅牢ニシテ實用ニ適シ低廉ナル價ヲ以テ多數ノ需要ニ應スルコトヲ勤ム可シ殊ニ麥稈及パナマ帽子製造ノ如キハ近年長足ノ進歩ヲナシタルモノアルモ未タ新事業ニ屬シ且其流行ノ變遷急激ナルヲ以テ當業者ハ常ニ機先ヲ制スルノ用意必要ナリ

第三十三類　其一、其三　夏帽子、笠類、麥稈帽子等

	出品點數	人員	級等 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	四	二					
大阪	五七	九					
神奈川	二四	二					
兵庫	二二	四					
長崎	七	一					
新潟	八	三					
愛知	四二	一一					
静岡	二二	七					
岐阜	六	三					
長野	三	三					
形	二	一					
山井	三〇	二七					
福山	一	一					
富山	一四	四					
鳥取	五	三					
島根	六	三					
岡山	一	七					
廣島							
			一	二	二	五	八
					一	一	二
						四	一
						三	一
						一	一
						六	六
						一	一
						一	一

合計	山口	德島	香川	愛媛	高知	大分	佐賀	熊本	沖繩	臺灣
四〇八	九	七	二	一	一	一	四	二	一	八
一四九	二	四	一	二	九	二	二	二	三	三
三										
九	一			一		一		一		二
四六	二		一	一		一	一	一	二	一
五八	一	二	一	一	三	二	二	一	二	一

第三十三類　其五、其七　經木製、麥稈製及菅製、敷物麥稈、經木、藺及菅製品

出品	東京	京都	大阪	兵庫	栃木
點數	二	一四	二四	四七	六
人員	一	三	九	一三	一
一等					
二等					
三等					
褒狀					
計	一	七	一	一	一

合計	滋賀	岩手	青森	岡山	廣島	高知
一七四	二三	二	五	五	四五	一
四一	二	一	四	二	三	一
一						
二	一		一			
一三			一	一		
一六	二	二	一		一	

其一　履物類

審查官　淺村三郎　河原德立　島田佳矣　丹羽圭介

本類ハ神奈川、茨城、石川、鳥取、鹿島ノ五縣ヲ除クノ外全ク各府縣多少出品セサルハナシサレハ人員七百四十七人點數三千百九十二點ノ多キニ達セリ

本品ハ我國日用品ノ一ニシテ都鄙ノ別ナク貴賤貧富老若男女皆之ヲ用キルモノナレハ其需要極メテ大ナリト謂フヘシ又本品ノ海外ニ輸出セラルヽモノ多少ナキニアラスト雖モ多クハ在外本邦人ノ使用ニ供セラルヽモノナリ

今回ノ出品ヲ觀ルニ其製作一般ニ巧緻ナリト雖モ徒ニ高貴ノ材料ヲ用キ又ハ漫ニ奇ヲ弄スルノ結果或ハ表ニ硝子鋏ヲ挿入シ或ハ鼻緒ノ如キニ錦襴等ヲ用キルガ爲ニ其價格ヲ高カラシメ以テ實用ニ適セサルモノ多シ當業者今ニ於テ宜ク本品ノ用途ニ鑑ミ徒ニ虛飾ニ流レス能ク其材料ヲ選擇シ製作意匠ニ注意シ以テ實用ニ適スヘキ製品ヲ作ルヘキ點ニ就キ大ニ考量スル所アルヘキナリ

又スリッパー等ノ如キ西洋式模造履物アリシト雖モ未タ充分ト云フヘカラス沖繩ノ蘭靴臺灣ノ草鞋ノ如キハ今一步製作改良ノ道ヲ講シナハ獨リ其地ニ於ケル需要ノミニ止ラス他ニ需要ノ途增加ノ望ナキニアラス

履物表ハ其製作等進步セルモノナシト雖モ只高知縣ノ蘆葉製表ノ如キ今少ク其製作ヲ改良セハ販路ヲ得ルノ途アルヘシ

又大阪某出品ニ係ル一枚皮ヲ以テ爪皮ヲ製作シ得ル機械ノ如キハ斯業進步ノ一證ニシテ當業者ニ資スル亦少カラサルヘシ

之ヲ要スルニ本品類ハ進步ノ狀見ルヘキモノナキノミナラス其用途ヲ誤リ徒ニ虛飾ニ流レテ實用ニ遠ザカレリ本品類カ他ノ品類ニ比シ優高ノ賞ナキハ蓋シ之カ爲ナリ當業者今後宜ク本品ノ用途那邊ニ在ルカヲ鑑ミ以テ本品ノ改良發達ヲ圖ルヘシ

第三十三類　其一　履物類

	出品		等級																	
	點數	人員	一等			二等			三等			褒狀			計					
東京	三八六	二八										八			一七					
京都	七九	二三							九			一〇			一六					
大阪	七九四	一九二							二七			九三			二〇					
兵庫	七五	二二							六			八			一二					
群馬	一一	五							四			三			三					
埼玉	三	二										一			一					
新潟	五二	七										二			二					
千葉	五	四										一			一					
栃木	三七	九										三			三					
奈良	六三	二二										六			六					
三重	一八四	三八							一			五			六					
愛知	二五五	三三							一			五			八					
靜岡	三九	九							三			七			八					
山梨	七〇	五										二			二					
滋賀	八	四										一			一					
岐阜	七一	七										九			九					
長野	二	二										一			一					
宮城	一二	五										一			一					

| | | |

メ年々海外ニ向テ輸出增加ノ奇觀ヲ呈スルニ至レリ今既往六箇年間ノ輸出對照表ヲ揭クレハ左ノ如シ

年度	數量	價額
三十三年	一六、五四〇足	一、三一九円
三十一年	二七、五三二	三四、〇六七
三十二年	二一、二五五	三二、二八六
三十三年	三九、〇五一	三七、一九五
三十四年	一〇七、七二七	一七九、八五八
三十五年	一〇〇、五六一	一三〇、四七八

右ノ表ニ依レハ最近六箇年間ニ殆ント十倍ノ輸出額ヲ見ルニ至レリ之ニ反シ輸入靴ノ如キハ當今ニ於テハ全然其輸入ヲ見サルニ至レリ蓋シ輸入統計年表ニ揭クル昨三十五年ノ輸入額八萬千七百拾九圓ハ素ヨリ革靴支那靴及護謨靴等ヲ合算セルモノナルモ其內最多數ヲ占ムル輸入靴ハ米獨製ノ護謨靴ニ屬シ支那靴之ニ亞キ革靴ニ至リテハ僅々本邦在留外國人自用ノ注文ニ止マルノミヲ以テ斯業ノ第四回內國勸業博覽會ニ比シ殊ニ長足ノ進步盛況ヲ來シタル所以ヲ知ルニ足ル今茲ニ各府縣ノ出品ニ就キ其概評ヲ擧クレハ左ノ如シ

普通靴ニシテ其製作ノ技倆一般ニ進步赫著ナルハ東京府ノ出品ニシテ多年靴製造ノ本場トシテ熟練ナル製造家ノ夙ニ改良發達ヲ圖リシ結果顯然タリ而シテ神戶橫濱ニ於ケル進步モ亦稱スヘキモノアリコハ常ニ外人ノ指導ト刺激トヲ受ケ現今ニテハ稍ヤ輸入品ニ遜色ナキノ工技ニ達シ輸入品ノ如キハ全然杜絕スルニ至リシノミナラス價廉ニシテ堅牢ナルノ故ヲ以テ外人ノ特別注文日ニ月ニ增加スルノ景況ナリ

大阪府ノ出品ハ概シテ廉價ノ普通品ニシテ前表ノ輸出ハ其八九分當府下ノ製品ニ屬ス以テ大阪ニ於ケル本業ノ盛況ヲ窺フニ足ルヘシ尙當府ノ出品ニシテ特筆スヘキモノハ大倉組皮革製造所ノ軍用靴ナリ其皮革自製品ヲ精撰シ近來ハ底付、踵縫、化粧針打、木釘打等ハ總テ獨乙製ノ機械ヲ使用シ堅牢實用ヲ主トシテ當業創設以來茲ニ二十年間我軍靴ノ大部ヲ供給シ常ニ其製作ノ改善ニ勉メツヽアルニ在リ東京製皮合資會社ノ機械製軍靴ト共ニ其功勞稱揚スヘキノ價値アルヲ認ム

愛知縣、島根縣、京都府、靜岡縣、富山縣岡山縣及福岡縣之ニ亞キ他ハ一般需要暴進ノ度ニ伴ヒタル普通ノ進步ヲ見ルニ止マルノミ然レトモ北海道出品ノ毛皮ヲ用キタル防寒用靴ハ寒氣凜烈ナル該土ニ於テハ最モ需要上好適ノ品タルヘシ又臺灣出品ニ係ル支那靴ハ堅牢實用ニ適スル良品ナリ故ニ今後愈々同品ノ製作ヲ奬勵シ本島內ノ供給ヲ充スニ止マラスシテ僅ニ一衣帶水ヲ隔ツル淸國ニ益々輸出ノ途ヲ講スルニ於テハ必ス有望ノ業タルヤ信シテ疑ハサル所ナリ

第三十三類　第一　靴、靴紐、靴篦

	出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二一六	二五	一				一八
京都	三三	七					
大阪	一三三	三一	一				一九
神奈川	九	二					
兵庫	二四	一					
三重	七	二					
愛知	二六	三					
靜岡	二五	三					
宮城	四	一					
秋田	六	二					
福井	二	一					
富山	五	二					
島根	一〇	一					
岡山	九	五					
和歌山	二〇	九					
香川	一	一					
高知	二	一					
福岡	二八	六					
鹿兒島	一五	六					
北海道	一三	三					
臺灣	一三	八					
合計	六〇一	一二〇	三	七	二〇	四〇	七〇

其二　頭飾品類

審查官　淺村三郎　河原德立　島田佳矣　山岡次郎　丹羽圭介

本類ハ三府其他各縣ヨリ出品シ總人員三百十五人點數四千三百二十六點其內出品者ノ多キハ三府ニシテ就中大阪ヲ以テ最トス

本類ハ頭飾品ノ各種及ヒ男女化粧具類ヲ包含シ其種類夥多ナリト雖モ之ヲ大別スレハ直ニ裝飾ノ用ニ供スル櫛鏡ノ如キ室內裝置的化粧具トノ二種トス而シテ本品類ノ主要ハ其細末ニ至リテハ種々異ルト雖モ要スルニ身體居室裝飾ノ用

ニ供スルモノナレハ勢ヒ贅澤ニ流ルヽモ亦怪ムニ足ラス又本品製作ニ就キテハ輸出向ノモノハ大阪、内地用ノモノハ東京、鼈甲製品類ハ長崎、京都、金屬製花簪類ハ愛知、木櫛ハ長野及泉州堺等各地夫々特長ヲ有スルモノヽ如シ

今回ノ出品ハ之ヲ第四回博覽會ニ比スレハ進歩ノ狀大ニ見ルヘキモノアリ其製作意匠共ニ精巧周密ニシテ殊ニ支那朝鮮印度等ニ輸出スル品類ヲ開發增加シ且ツ製作上學理ト機械トヲ應用シ爲ニ頻年物價昂騰セシニモ拘ラス依然其價格ノ低廉ヲ保チタルカ如キ斯業全班ノ進歩發達ヲ窺フニ足ル而シテ近年鏡、金屬製花簪、模造鼈甲製木櫛及セルロイド製櫛腕輪等ノ支那朝鮮印度其他東洋諸國ニ輸出セラルヽモノ勘カラス就中鏡ノ如キ最モ多シ鏡ハ元來支那ニ在リテハ金屬製ノモノヲ使用セシモ近來殆ント硝子製鏡ヲ用ヰ且之ヲ愛翫スルノ傾アリ獨佛塊ノ諸國ハ已ニ早ク之ニ着眼シ之ヲ白粉入ニ應用シ或ハ文具箱ニ嵌入シ時トシテハ之ヲ祭具ニ適用シ頗ル其販路ヲ擴張セリ我邦ニ於テハ大阪ノ浪川虎之助ノ如キ永ク彼地ニ在リテ彼等ノ嗜好ヲ探究シ深ク其製作意匠ニ注意シ大ニ之レカ輸出ノ道ヲ講セシカハ漸次其額ヲ增シ全國ノ輸出年額約四拾萬圓ノ多キニ達スルニ至レリ本品ノ需要ハ將來益々多キヲ加フルヤ必セリ又花簪ノ如キモ能ク彼ノ習俗流行ヲ察シテ其嗜好ニ適應スヘキ製品ヲ作ラハ販路益々擴大スルコト疑ナシ

頭飾品中「リボン」ハ將來舶來品ノミナリシモ近來該品製造ノ技大ニ進歩發達シ終ニ今日ニ在リテハ舶載品ノ輸入ヲ防遏スルニ至レリ本品ノ如キモ將來需要ノ途益々多カルヘシ

又土佐其他ヨリ多ク產スル珊瑚樹、貝類等ハ今回出品ノ如キ單ニ置物、珠玉等原料ノ儘ニ止マラス彼ノ伊太利珊瑚製品ニ鑑ミ之ニ加工彫刻ヲ施サハ其需要益々大トナリ販路モ亦擴張セラルヘシ

臺灣出品ノ花簪ハ其進歩實ニ賞揚スルニ足ルノミナラス之ヲ及ホシテ清國人ノ嗜好ノ一般ヲ推知スルニ足ランカ

之ヲ要スルニ本品類ハ其製作意匠ノ技近來大ニ進歩シ舶載品ニ比シ遜色ナキニ至レリ就中簪類硝子鏡ノ如キ清韓其他ニ輸出セラルヽモノ多ク最モ賞贊スルニ足ル又其原料品ノ如キモ一部ハ内地ニ於テ之ヲ製造シ得ルニ至レルノミナラス海外輸入品ニ在リテモ外商ノ手ヲ假ラス直接輸入購求スルニ至レリ當業者益々研鑽本品ノ改良發達ヲ圖ルヘキナリ

第三十三類　其二　頭飾品類

出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京　一、三三一	四七	二	二	六	一六	二六
京都　二、八二	二三		二	六	一一	一九
大阪　一、一五五	九九		三	一〇	二二	三七
神奈川　四	二				一	一

兵庫	長崎	栃木	奈良	三重	愛知	静岡	山梨	滋賀	岐阜	長野	岩手	秋田	福井	石川	富山	島根	岡山	広島	山口	愛媛
一六一	七六	三	三五	五三	二四八	四〇	五九	三八	一三六	一四〇	二	二四六	二五	三	三	一七	八一	四	二七	二三
一三	一〇	一	二	七	九	二	八	一	七	一五	一	六	二	一	一	四	一九	一八	六	三

ミニ於テモ一人ニ付少クトモ齒、衣、爪、靴等四種ノ刷子ヲ要スト云フ實ニ本品ハ文明ノ一要品トシテ社會ノ進歩ニ正比例シ其需要ヲ增加スルモノナリ、サレバ今後歐米各國ニ於ケル本品ノ需要益々多ケナルノミナラス我國ニ於テモ年ヲ逐フテ其需要增加スヘシ加之面積四百貳拾万方哩人口無慮四億貳百萬ヲ有シ將ニ發達膨脹(ボウチヤウ)セントスル大ナル需要者ハ僅ニ一衣帶水ヲ隔テ、而モ其供給ヲ我國ニ待ツモノアルカ如シ本品製造事業ノ將來豈ニ好望ナラスヤ

今回ノ出品ハ其原料多クハ之ヲ海外ニ仰クト雖モ製作極メテ精巧ニシテ舶齎品ニ比シテ遜色ナキノミナラス價格亦低廉ナリ製作上ニ於テハ大阪ノ關西刷子株式會社ゼーローヤルブラッシユ會社及帝國刷子株式會社等其他會社的組織ノモノハ機械ヲ設備應用シ工程ノ過半之ニ依リテ成リ技術モ亦熟練ナルモ個人的ノモノニ至リテハ多クハ手工ニ係リ從ヒテ製品前者ニ一歩ヲ讓ルモノアリ是等ハ宜ク今後益々機械ヲ利用シ以テ本業ノ發達盛大ヲ圖ラサルヘカラス

大阪關西刷子株式會社ハ關西貿易會社破綻ノ後ヲ承ケタリト雖モ其事業ノ健全ナルカ故ニ漸次益々發達シ殊ニ深ク意ヲ工業經濟ノ重キニ置キ工場整然工技精熟シ產額亦多シ今日ニ在リテハ米國ニ特約シテ專ラ輸出品製造ニ從事ズ帝國刷子株式會社モ極メテ盛大ニシテ關西ニ遜ラスト雖モ今回出品セサリシハ甚タ遺憾トスル所ナリ

我國ノ刷毛類ハ從來海外ニ知ラレサリシモ京都ノ井澤利一郎一タヒ巴里博覽會ニ出品セシヨリ以來大ニ海外ニ賞揚セラルヽニ至リ近年需要ノ途頓ニ增加シ從ヒテ其製作著ク進歩シ今日ニ於テハ刷子ト共ニ其海外ニ輸出セラルヽモノ少カラス

之ヲ要スルニ本品ハ近年著ク發達ヲ爲シタル輸出工藝品ノ一ニシテ彼ノ海外市場ニ特產トシテ誇ル所ノ佛國製品ト北米合衆國市場ニ輸贏ヲ爭フニ至ル從ヒテ輸出額モ亦年ヲ逐フテ增加膨脹シ昨三十五年ノ如キハ實ニ拾四萬九千圓ノ多キニ達セリ尙將來內外共ニ需要益々增大スルノ傾向アレハ當業者宜ク深ク工業經濟ニ注意シ以テ益々本業ノ改良發達ト販路ノ擴張トヲ圖ルヘシ

第三十三類　其二　刷毛刷子類

	出品點數	出品人員	等級 名譽銀牌	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	三六	二	一					
京都	五五	五			一	四	一	一二
大阪	五九〇	三六		一	一		一	一八
神奈川	三〇	一						
栃木	三	一						
奈良	一七	一						
三重	一〇	二						
愛知	四一	四						
福島	五	一						
德島	四	一						

合計	七八七	五四	一	一	二	五	一六	二五

其三　喫煙具　携帶具

審査官　石川光明　丹羽圭介
前田健次郎
海野勝珉
平山英三

喫烟具ト携帯具トハ其品目ヲ異ニスト雖モ互ニ密接ノ關係ヲ有スルモノ多ク往々一物品ニシテ此兩種ノ性質ヲ具備スルモノアリ從ヒテ其審査モ同一分掌ノ審査官ニ於テ之ヲ行ヒタリ仍テ便宜上兩種ヲ併セテ茲ニ報告スルモノトス

右兩種ニ屬スル物品ハ其範圍廣汎ニシテ品種頗ル錯雜ナリ其重ナル物名ヲ擧クレハ煙管、煙管筒、煙草入、紙入、名刺入、貨幣入、手提等其他一切ノ袋物及ヒ根付、緒締、前掛等ノ如キ附屬品ヲ包括シ又其材料製作ニ至テハ金屬製、木竹製、織物製、革製、紙製、其他蒔繪、彫刻、刺繍等ノ諸工ニ亘レリ而シテ是等諸品ヲ合シ其出品總數五千四百九十六點ノ多キニ達シ其出品人員三百四十八名トス中ニ就キ授賞ノ選ニ入リタル者百二十三名ニシテ其等級ヲ別レハ一等賞三名二等賞

二名三等賞十五名褒狀百零三名ナリ又各府縣中出品ノ最モ多數ナリシハ東京府ニシテ殆ント總數ノ過半ヲ占メ大阪、秋田、臺灣三重、京都、山梨之ニ亞キ岐阜、新潟、愛知、鳥取、兵庫、島根又之ニ亞ク其他ノ諸縣亦出品セリト雖モ何レモ少數ナリ

元來此種ノ製品ハ主トシテ內地ノ需要ヲ目的トセルモノニシテ海外輸出ニ適スルモノ極メテ稀ナリシカ近時海外ノ需要ヲ考ヘ輸出向ノ物品ヲ製出スルモノ漸ク多キヲ加ヘ又歐式袋物類ニ於テハ其技術頗ル熟シ殆ント舶來品ニ遜ラサル物品ヲ出品スルニ至リタルハ斯業ノ一進歩ト稱スヘシ而シテ今回ノ出品中優良ナルモノ最モ多キハ東京府ニシテ京都大阪ノ二府亦多少觀ルヘキモノアリ其他諸縣ノ出品ニ於テハ特ニ稱揚スルニ足ルヘキ優品ヲ見ス今出品中優等ナルモノニ就キテ畧評ヲ下セハ東京沓谷瀧次郎(梅屋)出品ノ各種携帶品ハ之ト併セテ出陳シタル裝身具ト共ニ其製作優秀ニシテ意匠モ亦凡ナラス且每種能ク其用途ニ注意シ此種ノ製品トシテ場中其右ニ出ツルモノナシ完全ノ作ト稱スヘシ東京熊谷卯八(伊勢屋)出品ノ袋物類ハ本邦風製品ト舶來品ノ代用品ト及ヒ輸出向製品トノ三種ニ分チテ出陳シ其種類ニ應シテ各意匠ヲ異ニセリ而シテ其本邦風製品ハ專ラ內地ノ需要ヲ目的トシ純粹ノ日本風形式及ヒ裝飾ヲ應用シタル袋物類ニシテ其意匠巧緻新優美ナルモノ尠カラス舶來品ノ六用品トシテ紙幣入、貨幣入、名刺入、卷烟草入等ノ如キ歐式袋物類ニシテ其品質及製作ノ佳良ナル殆ント歐洲ノ製品ト遜庭ナク而モ比較的價格低廉ナルヲ以テ是等ハ輸入ヲ防止スルノ點ニ於テ成効セルモノト云フヲ得ヘシ又輸出向製品ハ專ラ海外ノ需要ヲ目的トセル袋物類ニ

シテ多クハ日本摸様ヲ施セル繪革ヲ以テ之ヲ作リ其摸様柄ハ外人ノ嗜好ニ適應スヘキモノヲ撰ミタルモノナリ其中電燈ヲ裝置シタル手提袋ノ如キ亦一種ノ新案ニ屬セリ東京齋藤嘉助(九屋)出品ノ携帶品モ裝身具ト併セテ殆ント前記沓谷瀧次郎出品ニ下ラサル優品ナリ是ヲ以テ右ノ參名ハ各一等賞ノ選ニ上レリ之ニ亞キテハ東京櫻井榮藏(大和屋)同熊谷大次郎(伊勢屋)出品ノ携帶品(裝身具ヲ包含ス)袋物類亦各優良ニシテ共ニ二等賞ヲ得タリ其他三等賞及其以下ノモノニ就キ二三ノ品種ヲ擧ケテ之ヲ評スレハ紙製袋物類ニ於テハ東京山本清藏(竹屋)ノ出品ヲ最佳トシ三重縣出品ノ擬革紙製袋物ノ如キ亦實用的佳品ニ屬セリ煙管ハ東京ノ老舗村田小兵衛、村田七右衛門、岡田俊太郎(住吉屋)及ヒ京都石津安造(村田)ノ出品特ニ佳製ニシテ其他大阪、京都及ヒ二三縣ノ出品中ニ於テ稍觀ルヘキモノアリタリ又東京府出品中各種前鉸ハ價格低廉ニシテ製作頗ル觀ルヘク一般ノ需要ニ適スルモノト認ム其他臺灣ノ出品ニ係ル蘭製紙入及ヒ卷煙草入ハ其製作佳良ニシテ且實用ニ適シ林投製及ヒ月投製卷煙草入、手提鞄ノ類モ亦携帶ニ便ナルモノニシテ是等ハ將來尚需要ヲ擴ムヘキ望ミアリ其他諸縣ノ出品ニ就キテハ特ニ評スヘキモノナシ

第三十三類　其三　携帶品喫烟具類

等級	出品點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	三、一三六	六一	三	二	一二	二四	四一
京都	一七一	二四	一	二	三	九	一五
大阪	六八一	六〇	三	四	一二	二〇	三二
神奈川	三	一					
兵庫	四七	一四					
新潟	六一	八					
群馬	五	一					
茨城	七	二					
三重	一九二	九					
愛知	六一	四					
岡静	二八	四					
山梨	一四二	六					
滋賀	六	二					
岐阜	七六	一五					
長野	二	二					
宮城	九	五					
福島	三四	二					
岩手	一八	七					
青森	三	二					
山形	一七	四					
秋田	三三一	一四					
福井	一八	七					
富山	二五	七					

其三　洋傘

府縣	合計	一九	二	三	一〇六	一三〇
烏取	五二					
島根	四四					
岡山	五					
廣島	三四				三	三
山口	二					
德島	八					
香川	三					
愛媛	二二					
高知	二					
福岡	四				一	一
大分	七				二	二
佐賀	八				二〇	二一
沖繩	八					
臺灣	二二四	一				
計	五、四九六	一九	二	三	一〇六	一三〇
	三四八	三一	二	三	三	三

查審官

島田佳矣

關口寬一郎

湯淺藤市郎

洋傘ノ出品點數ハ四百九十二點ニシテ出品人員四十八人ナリ就中出品人員多數ニシテ點數モ亦大ナルハ大阪府トシ其人員ハ二十六人ニシテ點數二百八十九點トス元來洋傘製造ハ大阪東京ヲ以テ著名ナル地トナセトモ今回ハ東京府ノ如キ出品人員僅々五人ニシテ點數四十八點ニ留マリシハ遺憾ト云フヘキノミ加之東京府ノ出品ハ自家製小賣業者ノ出品多數ヲ占メ本品製造業ニ於テ名聲アル工業者ノ出品ナキヲ以テ詳ニ全國ニ於ケル洋傘ノ實況ヲ觀察シ其進歩ノ狀況ヲ判斷スル能ハス然レトモ大阪東京ノ二地ハ本品製造業ニ於テ各其目的ヲ異ニス即チ大阪ハ外國輸出品ヲ主トシテ內地需要品ヲ從トシ東京ハ內地需要ヲ主眼トシテ輸入豫防ヲ勉メ輸出ヲ以テ從トス故ニ今回ノ出品ヲ以テスレハ內地需要品ノ狀況ニ至リテハ單ニ其概況ヲ察シ得ヘキモ外國輸出入ニ至リテハ其狀況ヲ詳ニスルヲ得ル所ナリ

夫レ洋傘ハ我對外貿易ノ途開ケシ以來歐米諸國ヨリ輸入シ來ルモノニシテ其輕便ニシテ晴雨兩途ノ用ニ適シ且其形狀製作等ノ美ナル我國固有ノ兩天日傘ノ比ニアラス又輕クシテ携帶ニ便ナリ且雨水ヲ防クノ効用ハ雨傘ニ異ナルコトナキヲ以テ忽チ衆庶ノ嗜好ニ適シ年ヲ逐ウテ需要ヲ增シツヽアリシカ價格貴キヲ以テ中流以上人士ノ贅澤品トシテ使用サレタリ然ルニ我工商業者中漸次該製造ヲ企畫スル者輩出シ終ニ明治十二三年ノ頃本品製造ノ基礎我國ニ定マリシカ當時ハ價尙貴クシテ其技倆拙劣價格又貴クシテ廣ク社會ノ需要ヲ充タシ又輸入品ニ代用スルニ足ラサリシカ爾後製作ノ技ヲ練リ覆布製造ヲ試ミ傘骨ノ製造ヲ研究

山岡次郎

シ柄子握子ニ工夫ヲ凝ラシ工費節減ノ途ヲ講シ漸クニシテ其價ヲ減シ廣ク社會ノ需要ニ適セシムルニ至リ從テ內地ノ需要ヲ增シ輸入品ヲ防壓シ又一步ヲ進メテ淸國韓國印度其他東洋諸國ニ向テ輸出ノ途ヲ開キ目今一箇年壹百有餘萬圓ノ輸出額ヲ見ルニ至レリ

大藏省外國貿易年表ニ由リ本品工業發達ノ期即チ明治十二年ヨリ明治三十五年ニ至ル本品輸出入額ヲ調査スルニ左ノ如シ

年次	輸出 數量	輸出 價格	輸入 數量	輸入 價格
明治十三年	二六、四九三個	七、五八七円	三、〇六二打	三〇、一七四円
明治十四年	一五、九〇五	一二、九四八	一、一五二	六、五六五
十五年	一一、〇六〇	一六、〇一〇	一七二	一、〇九五
十六年	二、二六一	九九六	一五二	一、一六二
十七年	八、〇八一	三、五四五	四九	一、四七八
十八年	五、五三五	一、七六八	一六六	二、七七六
十九年	二一、三七六	一二、〇八三	一三六	三、五三四
二十年	六七、七一五	二六、八五六	一〇六	二、一〇六
廿一年	一五九、一六五	五三、八五二	一三五	四、一六二
廿二年	二九〇、〇八〇	八四、二五五	六九	一、七三六
廿三年	四五〇、八〇八	一一四、二二八	七八	一、八〇六
廿四年	六五七、八八二	一六一、五〇四	三四	一、〇四七
廿五年	一、二〇二、一七四	三六四、三〇九	二三	七三〇

年次	輸出 數量	輸出 價格	輸入 數量	輸入 價格
廿六年	一、六九三、一五五	五八九、二七二	二三	八四五
廿七年	一、九六〇、六六一	七四六、〇六八	三二	一、一二七
廿八年	一、六三〇、七一五	七二五、二〇七	五七	二、二〇八
廿九年	一、八〇七、一四六	七七三、六二〇	五一	一、七一九
三十年	一、六八五、二一三	二七、〇五七	七九	三、六六二
三十一年	一、七八八、八五八	六八七、一九五		
廿二年	二、二九一、二七〇	九五三、五四七		
廿三年	一、九二一、四一四	八六〇、九八六		
廿四年	二、一一〇、三二三	一、〇二三、六三八		
廿五年	二、〇五三、〇八一	一、〇三七、九二六		

此表ニ由リテ之ヲ觀レハ輸出ハ年毎ニ增加シ輸入ハ漸次ニ減シテ三十一年以後ハ商品トシテ輸入スルモノ絕無ノ有樣ナリ今社會ニ於ケル本品需要ノ狀態ヲ察スルニ婦女子ノ日傘トシテ用キルモノハ全ク本品ニ轉シ固有ノ兩天傘日傘ヲ携帶スルモノハ都鄙ヲ論セス稀ニナリ又小學ノ兒童ヲ初トシテ商店ノ丁稚ノ如キ本品ヲ使用スルモノ多ク都市ニ在リテハ貧富ヲ論セス本品ヲ使用セサルモノナシ本品ノ需要斯ク增進セルニ拘ラス輸入ハ減シテ絕無ノ形況ヲ示シ輸出ハ却テ逐年其額ヲ增進スル本品ノ製造業ノ大ナルハ論ヲ俟タス又將來益々有望ノ業タル疑ヲ容レサル所ナリ

今回ノ出品ヲ審査スルニ製作ノ技大ニ其歩ヲ進メ材料ノ採擇稍其當ヲ得タリト雖モ徒ニ意匠ヲ弄シ握子ニ無用ノ彫刻ヲ施シ其形狀ヲシテ手掌ニ適合セサラシメ或ハ高價ナル握手杓

子ヲ使用シテ價ヲ貴カラシメ却テ彈器傘骨其他ノ金具及覆布ノ採擇ニ意ヲ用ユルコト薄ク實用ヲ缺クノ歎アルモノ勘シトセス又輸出品ニ至リテハ單ニ價ノ昇騰スルヲ勉メテ材料ヲ適當ニ採擇セス傘張等製作ノ工費ヲ除ク爲ニ堅牢ヲ缺キ持久ニ耐ヘサルモノアリ是等ノ缺點タル單ニ其誹謗ヲ本品製造業者ニ歸スルハ其當ヲ得タリトセス何トナレハ材料タル覆布金具類ノ製造尚未タ改善ヲ要スルモノアリ故ニ是等事業相共ニ進ミ初テ本品ノ完全ヲ期スヘケレハナリ先ツ覆布ニ就キテ言ハン從來絹製覆布ノ平織綾織ノ製造ハ山梨福井長崎ノ三縣製ノモノヲ以テ嚆矢トシ本品製造者ハ之ヲ使用シ來リシカ或ハ雨水ノ滲過スルアリ或ハ持久ノ質ニ乏ク又日光ニ接シテ褪色シ甚シキニ至リテハ雨露ニ遇フテ脫色スルカ如キ歎アリシカ近年東京高等工業學校ノ研究ニ基キテ東京雜司谷ニ製造事業ヲ起シタルモノアリ今回ノ出品中地合稍精緻ニシテ薄ク能ク傘張ニ適シ且色澤佳良ナルモノハ洋傘商ノ通言ニ學校絹ト稱スルモノ即チ雜司谷製ノ絹布ヲ使用セシモノナリ此製品タル之ヲ佛國ノ製品ニ比スレハ未タ大ニ改善ヲ要スヘキモノナルモ今日絹張洋傘ノ進歩ヲ促シタルハ與リテ効アル所ナリ紋織其他ノ絹布ハ西陣及桐生、足利等ノ製ニシテ是ハ日覆傘ニ使用スルモノナレハ雨露滲過ヨリモ寧ロ裝飾ヲ主トスルモノナリ然レトモ裝飾ノ爲ニ徒ニ絹地ノ重量ヲ增シ携帶ノ輕便ヲ失スルノ歎ナシトセス大ニ意ヲ注クヘキナリ絹張傘ノ覆布ハ前述ノ如ク多少ノ缺點アルニモ拘ラス內地製品ヲ以テ需要ヲ充タスニ足ルト雖モ社會一般ノ需要品及輸出洋傘ニ用キル綿製覆布ハ平織綾織紋織ヲ論セス總テ海外ヨリ輸入シ未タ內地ニ於テ之ヲ製造スルモノアルヲ聞カス現在傘地用綿布トシテ英國ヨリ輸入スルモノ一箇年百萬圓內外ニシテ其他輸入毛繻子及綿繻子ニシテ傘張ニ使用スルモノヲ合算スレハ少クモ百五拾萬圓ヲ下ラサルヘシ是ヲ以テ本品製造者ハ綿布製造業者ヲ促シテ傘張綿布ノ製造研究ヲ勸メ以テ內地ニ其製造業ヲ開始セシムヘシ果シテ其功ヲ奏スルニ至ラハ益々本業ノ發達ヲ見ルニ至ルヘシ

第三十三類　其三　洋傘

出品點數	人員	等級 名譽銀牌	一等	二等	三等	褒狀	計
四八	五						
五一	七						
二八九	二六	一		六	五	八	二〇
一二	二			二	一	一	二
六二	二				二		二
一二	二						
神奈川							
大阪							
長崎							
愛知	一						
山梨	二						
富山	一						
香川	一						
熊本	一						
合計	四八	一	八	八	八	一四	三二

第三十三類　其三　洋傘柄、把手、傘骨及洋杖

	出品點數	人員	等級				
			一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二四	一二		二	四	二	八
都	三	一					
京阪	六一	一五			一二	一	一二
兵庫	二四	二					
長崎	二	二					
玉	二	一					
埼	六	四					
奈良	九	四					
三重	一	一					
岡	一	一					
賀	三	一					
阜	八	一					
城	一	一					
田	一	一					
井	一	一					
取	二五	八					
根	六	三					
島	一	一					
口	九	五					
島							
山							
德							

合計	四三五	七六					
臺灣	一四	四					
大分	四	三					
高知	一〇	三					
愛媛	二	一					
香川	一	一					

其三　扇、團扇、雨傘、日傘、

審査官　押田翼
　　島田佳矣
　　佐藤友太郎
　　河原德立

扇、團扇類ノ出品ハ三府臺灣二十一縣百五十一人點數二千二百四十六、一等賞一人二等賞六人三等賞十一人褒狀三十七人ニテ京都府ノ貳拾五名ヲ最多數トシ大阪愛知香川之ニ亞ク扇ニハ進歩著キモノ多ク團扇ニハ少シ輸出扇ハ京都府京都扇子商會直輸出品ノ意匠製作共ニ佳良之ニ亞クハ石角喜三郎、坂田文助、塚本儀助、渡邊源兵衛等ノ出品ナリ但渡邊ノ出品ハ平素多數製作スル品ニアラサリシヲ慨トス大阪府合名會社三主商會稻垣政七愛知縣井上茂兵衛、佐

藤慶太郎ノ如キ出品佳良ナリ(目下輸出シツヽアル形狀圖樣ノ品ハ內外人ト特約アルニ由リ出陳スルヲ得ス是レ扇ニ限ラス流行中ノモノ皆然リ)京都賣扇庵主宮脇新兵衛出品內地向扇ハ意匠優美佳作ナリ大阪府土井茂右衛門出品モ亦佳良扇骨ハ京都滋賀德島ヨリ出品セルカ滋賀ノ井保壽太郎ノ分ヲ可トス神奈川縣小間喜文次郎出品ノ團扇ハ輸出向ニシテ製作佳ナリ岐阜縣勅使河原合資會社、後藤米太郎、兵庫縣酢屋作平等之ニ亞ク團扇出品中意匠ノ優等ナルハ大阪府藤井吉六ノ玉子形ニ天地薄水色ボカシ一方ニ片寄セテ若蘆ヲ描キ神代杉紙ニテ元ニ溶標形ヲ貼着ケ同質ノ木ヲ差柄トナス其清爽愛スヘシ雅客ニハ此圖ニテ充分ナレト普通向ニセンニハ蘆ノ取合ニ白鷺一二羽翔ル所ヲ添ヘタランニハ一入ナルヘシ又柄ノ止メ方表ヨリ銅鋲二本ヲ打チ裏ニテ其レヲ曲ケタルノミハ不充分ナリ是レハ扇ノ要ノ如ク鎖止トスルカ又ハ柄ト同質ノ木紙ヲ以テ貼隱スカニセサレハ折角ノ良案モ其功ヲ奏セサルヘシ總シテ團扇ノ眼目ハ圖樣ナルニ良意匠ノモノ少キハ遺憾ナリキ三重ノ茄子形、和歌山ノ蘆柄、奈良ノ透シ畫、愛知ノ津島祭等ハ舊式ヲ可トスルモ餘リニ墨守ニ過キ時好ニ遠カルノ恐ナキカ溫古知新ノ考案ヲ望ム和歌山奈良ノ製品ハ判木磨滅シ圖樣見苦キノミナラス製作退歩ノ傾アリ大阪某出品ハ總鯨製ニテ石疊編(製作不良一本ノ價金五圓五十錢)ナルカ實用ニ適セサルハ勿論裝飾用トシテモ美觀ナラス何レニ使用ノ途アルニヤ團扇骨ハ千葉、靜岡、香川、愛知ヨリ出品アルモ香川縣丸龜團扇合資會社出品ノ良製ニシテ販路多キニ若クモノナシ雨傘、日傘類ノ出品者ハ三府二十七縣ニテ五百六十六人點數二千百七十一、二等賞七人三等賞二十三人褒狀百三十人、出品者ノ多キハ岐阜縣百五名、巖手縣六十三名、和歌山縣六十二名、大阪府三十六名尚此他二十名以上ノ分八縣アリ概シテ雨傘ハ進歩セシモノ多シ東京府下出品ハ多ク小賣ノ目的ニ由リ產額少シ然レトモ製作佳良ニシテ價格當ヲ得タルモノ多ク販額モ亦少カラス傭ノミ岐阜縣ニ劣レルヲ見ル大阪府吉田榮助、小松伊助、吉田利右衛門、岐阜縣杉山新一郎、赤塚源八、篠田治八、篠田忠八ノ如キハ製品佳良ニシテ地紙ニ種々ノ紋樣ヲ入レタルモノ數品アリ中ニハ品位ヲ高ムルモノアレトモ極メテ俗ナルアリ寧ロナキニ如カス骨、轆轤、骨纖毛糸ノミノ出品者アリ中ニハ優等品アリキ日傘ハ逐年洋傘ノ壓當ヲ受ケテ衰頽セシヲ以テ出品モ多カラス從ヒテ優等品ナシ京都府某出品雨傘ハ竹骨若狹塗柄握リ銀櫻唐草ノ透彫一本ノ價金五十五圓ナリ昔時上流社會ニ鯨骨ノ傘ヲ用キタルコトアリ何ソ其顰ニ倣ハサル又同人出品鋼製轆轤傘ハ一本金一圓九十五錢製作ハ可ナリシモ重量ノ爲常用ニハ適セサラン番傘ニ白銅ノ頭金又ハ白銅ノ「ハジキ」ヲ用キタルカ如キ或ハ膝糸ヲ骨ノ見エサルマテニ飾リタルカ如キ、或ハ表ニ拙キ蒔畫ヲ施シタルカ如キ、或ハ骨細キニ失シ小骨ノ捩レテ見苦キカ如キ等皆奇ヲ好ム出品ニシテ博覽會ノ趣旨ニ反セリ

第三十三類　其三　扇、扇骨、團扇、團扇骨、

地方別	出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計

地方別	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	等級 褒狀	等級 計
東京	一七	二	一				
京都	二八二	二五					
大阪	三一三	二四					
神奈川	二〇五	六					
兵庫	八四	二					
千葉	二五	四					
栃木	二〇	一					
奈良	七二	四					
三重	五二	九					
愛知	二五九	二〇					
静岡	一一	二					
滋賀	二八	一					
岐阜	四〇二	六					
宮城	四二	三					
福井	一四	一					
石川	八一	四					
島根	九	二					
岡山	一三	三					
和歌山	四〇	五					
徳島	二七	三					
香川	二一〇	一六					
大分	四	一					
合計	二二二、六四	一五一	一	六	一二	三七	五六
佐賀	八	一					
沖縄	四〇	三					
臺灣	八	三					

地方別	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	等級 褒狀	等級 計
東京	二五	九					
大阪	一八七	三七					
京都	七四	一九					
兵庫	四	一					
長崎	二	一					
埼玉	八	三					
千葉	四	一					
茨城	二〇	一					
三重	七四	二九					
愛知	九	一					
静岡	一三	二六					
滋賀	一一	七					
合計	一九	一九	六	三	二	四	一五

第三十三類　其三　傘、傘骨、傘轆轤

	合計	岐阜	宮城	岩手	福井	石川	富山	鳥取	島根	廣島	山口	和歌山	德島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	熊本
二、九一九		六三五	三八	一三三	七四	六三	二九	二八		一三五	四	一三〇	八六	四六	一五	三二	一二八	二	六二
五六六		一〇六	六	六三	二〇	二七	一一	一〇		二五	三	六二	二一	一一	三	二三	二五	二	一三
七	四																		
二三	九											二							
二三〇	二〇	五	一	一三	四	六	二	一			一六	一二	四	三	四	七	一	五	
一六〇	三三			一五	五	六	二	一			六	一三	四	三	四	七	一	五	

其三　行李類

審查官　佐藤友太郎
　　守屋物四郎
　　淺村三郎

丹羽圭介
河原德立

行李類ハ全國ヲ通シテ出品點數四百三十八點出品人員百二十名ニ達セリ

行李ノ內杞柳製即柳行李類トノ二種アリテ全國出品中柳行李ハ兵庫縣最大多數ニシテ大阪、京都ノ二府岐阜、福井、鳥取、高知、德島ノ諸縣及ヒ北海道之ニ亞ケリ又竹行李ハ岩手縣最多數ニシテ長野、靜岡、群馬、宮城ノ諸縣之ニ亞ケリ

柳行李ハ兵庫縣、大阪、京都二府ノ出品最モ改良進歩ノ實ヲ擧ケタリ出品中一二ニ就キテ評スレハ全形ヲトランク形ニナシテ必要ナル箇處ヲ皮ノマヽニテ四隅其他ノ要處ヲ悉ク皮革ニテ包圍シタルモノ若クハ形狀ハ從來シ共ニ締紐及錠前ヲ適當ニ施シテ全体ヲ堅牢鞏固ニシタルト共ニ安全ノ目的ヲ達セシメタル如キ大ニ從來ノ面目ヲ一新シ体裁甚タ宜ク長途ノ旅行具トシテ極メテ適當ナルニ至レリ是ヲ以テ近時外國人ノ旅行具トシテ之レヲ購求使用スルモノ日ニ多キニ至レリ當業者此機ヲ逸セス倍々適當ノ改良ヲ加ヘ搆造ヲ親切堅牢ニナシ適當ノ方法ニ依リ海外輸出ノ道ヲ講セハ將來有望ナル輸出品タルニ至ルヘキヤ疑ナシトス

大阪、京都ノ二府及岐阜縣出品ノ杞柳製手籠（テシテヨンバスケット）（食器入）ノ如キ外觀ニ於テハ殆ント外國製品ト異ル點ナシト雖モ提釣（把手）ノ取着方甚タ不完全ニシテ忽チ脫出スル憂アリ其他要處ニ注意ヲ

缺キ全体ノ搆造不親切ニシテ實用ニ供シ難キ缺點アリ今後以上ノ缺點ニ改善ヲ施シ搆造ヲ堅牢ニナサハ是亦海外輸出品タルニ至ルヘシ

京都府ノ出品中杞柳製雜服巻込（フォールド・ホール）アリタリ杞柳ヲ之ニ應用シタルハ甚タ面白キ考案ナリ是等ハ應用方其宜キヲ得タルモノニシテ前途有望ナル製品タルニ至ラン

次ニ出品中ノ一二ニ對シ注意シ置クヘキハ餘リ凝リ過キタル結果行李全体ヲ皮革ニテ包圍シ殆ント鞄ト行李トヲ重ネタル如キ奇覩ヲ呈シ重量ハ勿論價格ヲモ増シ所謂柳行李ノ特長ヲ失フニ至リタルモノアリ又巧ニ分割開閉シテ使用スヘク種々複雜ナル搆造ニナシタルモノアリト雖モ是等ハ共ニ實用上反テ不便ナリ今後ハ大ニ反省ヲ要ス

普通柳行李ハ全國中兵庫縣但馬國城崎郡ノ特産ニシテ全國製品ノ十中ノ九ハ同郡ノ製産ニ係レリ同縣下ニ於ケル昨明治三十五年度ノ製産高ハ概略柳行李百五拾萬組ニシテ價格凡ソ金參拾萬圓其内金五萬圓近クハ海外ニ輸出セリ大阪、京都、東京府ノ如キ多クハ半製品ヲ同縣ニ仰キ縣部其地ノ化粧ヲ加ヘテ更ニ他ヘ販賣スルモノナリ岐阜、福井、高知縣ノ如キ近年杞柳ヲ栽培シテ行李ノ製造ヲ始メタリト雖モ未タ盛大ノ域ニ達セス隨ヒテ製作甚タ不完全ナリノアリタリ今後杞柳ノ栽培ヲ奬勵シ倍々製造ニ改善ヲ圖ラハ各縣下ニ於ケル一物産タルニ至ルヘシ元來杞柳ハ水地ニ最モ適當スルモノナルヲ以テ他ノ諸縣ニ於テモ之カ栽培ヲ奬勵シ柳行李類ノ製造ヲ開始セハ大ニ有望ノ生産的事業タルニ至ルヘシ

竹行李類ハ岩手縣ノ特産物ニシテ製作良好ナリ其他各縣ノ出品共内地需要品トシテハ適當ノ製作ニシテ彼ノ兩面製品ノ如キ堅牢ヲ主トシ体裁モ亦大ニ宜シト雖モ價格高キニ過クル嫌アリ若シ價格ヲ今少シク低減スルヲ得ハ將來販路倍々擴張スルニ至ルヘシ

長野縣出品ノ竹製提鞄ノ如キ當業者苦心ノ結果近年海外ヘ多量ニ輸出スルニ至リ將來有望ノ輸出品トナレリ當業者倍々熱心シテ彼ノ嗜好ニ適スヘキ形狀ニナシ製作ヲ堅牢鞏固トシ一層ノ改善進歩ヲ圖ラハ漸次輸出額ヲ増加シ一大輸出品タルニ至ルヘシ亦將來海外輸出ニ適スル製品ヲ製作スルニ勉ムヘシ

第三十三類　其三　行李類

	出品點數 人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一〇 二					
都	三〇 四					
大阪	五五 六					
兵庫	一一二 三三					
群馬	九 三					
千葉	二 一					
静岡	一三 一二					
滋賀	三 一					
			一一一	二一三	一一九	一四 一四

	合計	臺灣	北海道	高知	德島	鳥取	富山	福井	岩手	宮城	長野	岐阜
其三　鞄	四三八	二二	八	五	七	一三	一	一九	七〇	八	二一	四〇
	一一〇	二	二	三	二	八	一	一〇	一五	一	八	六
	一											
	三											
	一						一			一	一	一
	三七	一	二		一		一	二	三	六	三	
	五一	一	二	一	一		一	二	四	一	七	四

鞄ハ、東京、京都、大阪ノ三府神奈川、兵庫、愛知、山梨、岡山ノ五縣及北海道臺灣等ヨリ之ヲ出品シ其

審査官　淺村三郎
　　柳貫一
　　澤邊春水
　　佐藤友太郎
　　守屋物四郎

出品點數二百六十三出品人員五十二名ナリ之ヲ前回ノ旅行用具總點數百二十八ニ比スレバ二倍餘ノ多キニ達シ從ヒテ技術ノ進歩産額ノ發達頗ル顯著ナリ其出品人ノ最モ多キハ大阪府ニシテ東京府兵庫縣之ニ亞ク

近年本邦ニ於ケル鞄類ノ需要暴進セルニ隨伴シテ技術上長足ノ進歩ヲ爲シ國内ノ需要ヲ充タシ輸入ヲ防止シタルノミナラス東洋諸國ヘ向ケ之ヲ輸出スルニ至レリ昨明治三十五年神戸港ヨリ輸出シタル鞄類ノ總額ハ壹萬參百六拾五圓餘ニ達シ其輸出額未タ多カラスト雖モ輸入ヲ防止シ國内ノ需要ヲ供給シタル事實ヲ見ルハ洵ニ喜フヘキコトトス

今諸府縣ノ出品ニ就キテ概評ヲ加フレハ東京府ノ出品ハ概シテ製作堅牢形狀ヨク整ヒ用材ヲ精撰シ縫綴精巧之ヲ舶來品ニ比スルモ殆ト遜色ナシ神奈川、兵庫二縣ノ出品モ亦佳良ナルモノアリテ實用ニ適スルヲ認ム而シテ大阪府ノ出品ハ百貳拾七點ノ多キヲ見ルモ概シテ廉價ノ普通品ニシテ産額著大ナリ近年支那朝鮮等ヘ輸出ノ途ヲ開クニ至リシハ洵ニ賞スヘキコトナリトス然レトモ數名ヲ除クノ外製品堅牢ナラス殊ニ金具脆弱ナルノ感アリ蓋シ價額ノ廉ヲ競フノ餘ニ出テタルニ非ラサルカ價額ノ低廉ハ素ヨリ勉ムヘキコトナリト雖モ折角輸出ノ途將ニ開ケントスルニ際シ單ニ價額ヲ顧慮シテ品質ヲ堅牢ニシ製作ヲ精巧ナラシムルノ法ヲ講セサルニ於テハ爲メニ其輸出ハ中絶スルノ悲況ニ陷ルヘキ恐ナシトセス當業者ハ此點ニ深ク注意ヲ加ヘ堅牢ナル實用品ヲ製作スルコトヲ勉メサルヘカラス又大阪市ヨリ出品シタル支那匣ハ極メテ廉價ニシテ販路多ク輸入ヲ防遏セントスルノ勢アリト雖モ品質

脆弱ナルノ缺點アルハ遺憾トスル所ナリ

臺灣ノ出品ニ係ル鞄類ハ專ラ實用ヲ主トシテ製作シタルモノニシテ製作堅牢ナリ該地ニ於ケル最モ適合ノ良品タリ一層其製作ヲ擴張スルニ於テハ當ニ同島內ノ需要ニ應スルノミナラス支那、香港、印度等ニ之ヲ輸出スルニ至ルヘクシテ將來有望有利ノ事業ト云フヘシ

第三十三類　其三　鞄締革類

	出品點數	出品人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	六五	七	一	二	五		五
京都	三	二					
大阪	一二七	一〇		三	一		一〇
神奈川	八	三					
兵庫	一三	四			二		
愛知	七	一			一		一三
山梨	一四	一				四	
岡山	一	一					
北海道	一	一					
臺灣	二四	一一					一九
合計	一六三	五一	一	二	三	四	五

其四　其七　匙、鉸、釘、襖引手火箸等

井手馬太郎
湯淺藤市郎

審査官　富田忠詮
辻岡精輔
青山盈敎

出品ノ總數五百一點ニシテ出品區域三府十五縣ニ渉リ人員七十三名ナリ其內大阪府最モ多ク點數百五十五人員二十一名ニ上レルハ蓋シ開催地ニシテ出品上便宜アリシニ因ルナルヘシ

螺旋鉸　東京府ノ出品中ニ頗ル精巧佳良ノモノアリ近來販路漸ク擴張シテ淸韓二國ニ輸出スルニ至レリト云フ然レトモ外品ト對比スレハ尙遜色ナキ能ハス

釘隱　京都府及愛知縣ノ出品中ニハ意匠斬新ニシテ製法緻密ノモノアリ前回ノ出品ニ比シテ進歩ヲ認ムルモ價格高キニ過クルモノアルカ如シ

襖引手　京都府及愛知縣ノ出品中ニハ製作精緻ニシテ意匠佳良ノモノアレトモ價格不廉ナリ富山縣出品中ニモ稍見ルヘキモノナキニアラス大阪府及靜岡縣ノ出品ハ巧思過キテ實用ニ適セサルモノアリ

火箸　兵庫縣出品中ニモ甲冑鍍鐵ノ遺法ヲ遺物ニ施シタルモノアリ堅牢ニシテ雅致アリト

雖モ價格高キヲ以テ需要多カラサルヘシ鳥取縣ノ出品中稍見ルヘキモノアリ新潟、奈良、福井諸縣ノ出品ハ製作粗ニシテ價格モ亦不廉ナリ

匙　秋田縣ノ出品中ニ意匠佳良ノモノアレトモ製作巧ナラス

船釘　廣島縣ノ出品中佳良ノモノアレトモ原料ニ古鐵、瑞國鐵ヲ用キルヲ以テ需要ノ增加ニ從ヒ原料ノ缺乏ヲ生シ自然價格昇騰スルニ至ランカ德島、兵庫諸縣ノ出品ハ鍛鐵精巧ナラス品質モ賞スルニ足ラス

各種鉸、蝶蝶、爐前飾、呼鈴、建築用金具、金杓子及ナイフ等ノ出品僅少ニシテ且其製作及價格共ニ賞スルニ足ルモノナシ

第三十三類　其四　匙、鉸、釘、襖引手、火箸等

	出品點數 人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	六四 八					
都	九七 七					
大阪	一五五 二一	一	一	二	三	四
兵庫	二五 五					
新潟	二六 三					
奈良	五 一					
三重	二 二					

第三十三類　其五　疊表及莫產類、籐筵及棕櫚製マット

	出品點數 人員	一等	二等	三等	褒狀	計
愛知	一 一					
岡山	六 一					
靜岡	六 一					
大阪	六 一					
德島	六 一					
廣島	一六 三					
島根	一六 一					
山口	一三 三					
富山	一三 一					
福井	一六 一					
秋田	三 三					
宮城	六 一					
岐阜	六 一					
靜岡	六 一					
愛知	一 一					
合計	五〇一 七三	一	二	五	二七	三五

審查官

犬、九鐵太郎
關口寬一郎
阪田貞一
山岡次郎

本類ハ疊表、疊床、疊吳產及上敷ノ類ヲ包含シ出品ハ二府三十三縣點數千三百三十一、人員千百零九ニシテ之ヲ前ノ第四回博覽會ニ比スレハ縣數六ヲ加ヘ點數人員共ニ凡四倍ノ多キニ達

セリ然レトモ其大部分ハ疊表ノ出品ニシテ疊、疊床及上敷ノ類ハ凡百餘點ニ過キス殆ント大阪府下ノ出品ニ屬シ莫蓙類ハ廣島、福岡ノ二縣最モ多數ヲ出品シ他ノ數縣所産ヲ合計スルモ二百點ノ上ニ出テス斯ク疊表ノ出品頓ニ夥多ナルニ至リシハ近年世上生活程度ノ高進スルニ從ヒ山村僻阪ノ地ニ至ルマテ歲ヲ追ウテ疊表ノ需要ヲ增加セシ結果ナルヘシ近時國內ニ於ケル本品製造ノ年額凡貳千五百萬圓ニ達セリト云フ當博覽會ニ於テ特ニ一等賞ノ授與アリシモノ故ナキニ非サルナリ然レトモ本品ノ需要ハ略ホ其定額アリ故ニ各地ニ於テ猥ニ其製造ヲ誘導スルハ終局ノ利ヲ擧クルノ途ニ非ス商業者ハ能ク地方ノ習慣ト需要ノ趨勢トニ鑑ミテ其織成ニ從フヘキナリ例ヘハ由來中繼表ハ三備地方ノ特產ナリシニ拘ラス各地ニ於テ其出品ヲ見ルニ至リシカ如キ近時斯業界ニ於ケル改進ノ機運ニ向ヒツヽアルコトヲ察スルニ足レリ

大阪府ノ出品者ハ商人多ク其出品ハ各府縣ノ製產ニ出ツルヲ以テ製造者ハ一律ノ下ニ論評スルハ其當ヲ得ルニアラズ然レトモ其販賣額幾拾萬圓ニ上リ優ニ本邦斯業者ノ重鎭タルモノアルハ嘉ス可ク疊床及疊ハ特ニ進歩ヲ加ヘタルモ其價不廉ニシテ需要ノ範圍狹キハ遺憾ナリ岡山縣ハ主要ノ產地タルニ負カサル出品多シ然レトモ島根其他ノ二三後進諸縣ノ進歩ニ比スレハ其改良ヲ怠レルカ如シ着莫蓙ノ製作ハ流石ニ本場ノ稱アルニ恥チサルモ出品者ノ少カリシハ遺憾ナリトス廣島縣ハ製作全國ニ卓絕シタルモノアリシカ之ニ反シテ乾土ヲ用キ以テ織端ヲ塗飾シタルモノアリ自今尙今日ニ於ケル地歩ヲ占有セントセハ這般ノ惡弊ヲ改メサル可カラス莫蓙ノ出品良好ニシテ殊ニ無地物ヲ可ナリトス島根縣ハ原料ノ撰擇及製織宜キヲ得テ其進歩顯著ナリ尙一歩ヲ進ムレハ廣島岡山ノ所產ヲ凌駕スル難キニ非ス然レトモ乾燥不完全ニシテ光澤少キモノアルハ缺點ナリ大分縣ハ出品ノ全部七島表ニシテ其製作進歩シ本縣特得ノ優所アリ更ニ緣組ノ製織ニ一層ノ注意ヲ加ヘ三ツ割藺ヲ用キテ精良ナル織成ヲ圖ルヘシ靑森縣ハ製織見ル可キモノアルモ概ネ緣際不良ニシテ幅員狹ク且光澤ニ乏ク乾燥不完全ナルアリ且價格不廉ナルヲ以テ大ニ奬勵ヲ加フルノ價値ナシト雖モ是等ノ缺點ヲ改メ得レハ前途望多ク東北地方所產ノ疊表中本縣產ヲ以テ第一ノ良品トス又沖繩縣ノピーク製疊表モ溫雅ニシテ強堅愛ス可シ但阿且葉敷物ハ實用ニ適セス臺灣ノ大甲蓆ノ如キモ精巧ニシテ賞スヘキモノト雖モ價格甚タ不廉ニシテ需要少ク莫蓙類ハ一定ノ寸尺ナシ先ツ內地用疊表又ハ莫蓙ニ倣ヒテ其寸尺ヲ一定シ廣キ需要ニ應スルコトヲ努ム可シ月桃製ノ敷物ハ製作價格相適ヒテ有望ノ商品タリ

籐莚ノ原料ハ概ネ暹羅呂宋等ノ所產ニシテ之ニ製作ヲ加ヘタルモノトス需要ノ地域モ大阪地方ヲ主トシテ末タ廣ク且多キニ亙ラス從ヒテ製造者少ク當博覽會ニ於テモ三府ノ外出品ナシ製造ノ技術ハ舊套ヲ固守シテ進歩ノ形跡ヲ見ス

棕櫚製マツトハ大阪府及和歌山ニ於ヶ之ヲ出品シ大阪ノ出品點數人員共ニ各七ニシテ內貳人褒狀ニ當リ和歌山縣ノ出品ハ參點貳人ニシテ悉ク賞選ニ洩レタリ蓋シ本品製造ノ主眼ハ實用ヲ主トシテ外觀ヲ美ニシ而シテ價格ノ之ニ伴フヲ要ス自今當業者ハ本品需要ノ性質ニ

鑑ミ以テ其改良ヲ圖ル可キナリ

第三十三類　其五　疊及疊表類

	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	褒狀	計
京都	一三	一一					
大阪	一一〇	二二					
兵庫	四四	三六					
千葉	一	一					
茨城	一〇	八					
栃木	八	八					
愛知	一〇	六					
静岡	二八三	二八三					
滋賀	一一	一一					
岐阜	七	七					
長野	一一	一一					
宮城	四四	四二					
福島	一二	一二					
岩手	三五	三〇					
青森	一四	一四					
山形	二五	一七					
秋田	一四	一二					
富山	一四	一三					
鳥取	三八	三〇					
島根	七六	七六					
岡山	八一	八一					
廣島	一六八	九八	一	一	一	二	四
德島	二二	四					
香川	二	二					
愛媛	一二	一一					
高知	五	五					
福岡	七六	七六					
大分	六八	六八					
佐賀	二九	二九					
熊本	一一	一〇					
鹿兒島	四	四					
北海道	三	二					
沖繩	一二	一〇					
臺灣	四四	三五	四	一四	七二	二四七	三三六
合計	一、二三二	一、一〇九					

第三十三類　其五　簇莚類及棕櫚製マット類

	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	褒狀	計
京都	一	一					
大阪	一	一					
兵庫	一	一					
千葉	一	一					
茨城	一	一					
栃木	一	一					
愛知	一	一					
静岡	一	一					
滋賀	一	一					
岐阜	一	一					
長野	一	一					
宮城	一	一					
福島	一	一					
岩手	一	一					
青森	一	一					
山形	一	一					
秋田	一	一					
富山	一	一					
鳥取	一	一					
島根	一	一					
岡山	一	一					
廣島	一	一					
德島	一	一					
香川	一	一					
愛媛	一	一					
高知	一	一					
福岡	一	一					
大分	一	一					
佐賀	一	一					
熊本	一	一					
鹿兒島	一	一					
北海道	一	一					
沖繩	一	一					
臺灣	一	一	一	一	一	一	四
合計	三一	三一					

	出品		等級					
	點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計	
東京	二	一						
京都	一一	三						
大阪	四八	一八			一			
栃木	一	一						
和歌山	三	二						
合計	六五	二五			一	一二	一六	

其五　花莚

花莚ノ出品ハ二府二十七縣ニシテ其出品人員五百五十七名其點數七百七十ナリ而シテ之ヲ前回ノ博覽會ニ比スレハ出品縣數ニ於テ七十三點ヲ增加シ又其出品人員ニ於テモ著ク增加ヲ見タリ然レトモ其製造ノ技術及商取引ノ發達ニ關シテハ敢テ顯著ノ進歩ナク頗ル遺憾ニ堪ヘサルモノアリ是レ米國ニ於ケル關稅改正ノ影響等ニ因ル所アリト雖モ

犬丸鐵太郎
丹羽圭介

審査官　金子篤壽
阪田貞一
山岡次郎

要スルニ我當業者ノ因習ヲ排シテ改進スルノ勇斷ナク徒ニ目前ノ小事ニ齷齪シテ遠大ノ方策ヲ行ハサルニ起因ス彼等ニシテ能ク第四回博覽會審査官ノ提供シタル報告ニ鑑ミテ先ツ商事上ノ改善ヲ斷行シタリトセンカ自カラ製造上ノ改善ヲ促シ斯業ノ基礎確立シテ當博覽會ニ於ケル光彩ハ更ニ益々發揚セラレタルナルヘシ今審査上出品ノ全体ニ就テ其成績ヲ考フルニ原料ノ撰擇ハ現時ニ於テハ殆ント間然スル所ナク其宜キヲ得タルモノトス然レトモ尙蘭草耕作ノ改善ト相俟ッテ丈長ノ原料ヲ用キテ莚面ノ强靭及ヒ色合ノ一定ニ至ルヲ要ス地合及ヒ經絲ノ配合モ亦見ルニ足レリト雖モ三色以上ノ交織未タ行ハルヽニ至ラサルハ缺點ナリ由來歐米人ハ床氈ノ美ヲ愛スルモノナレハ單純無趣味ノ模樣ハ嗜好ニ適セス數種ノ色彩ヲ配合シ模樣ノ優美ヲ欲スル所ナリ然レニ我花莚ハ二色ヲ以テ普通トス其製織未タ幼稚ノ境域ヲ脫セサルハ言ヲ俟タサル所ニシテ將來益々歐米ノ敷物類ト輸贏ヲ爭ハントセハ先ツ第一ニ染色ノ改進ヲ圖ラサル可カラス而シテ又今回ノ出品中ニハ織上ケニ於ケル注意ヲ缺キタルモノ尠ラス輸出花莚ノ定尺ハ幅一碼ニシテ長サ四十碼ヲ以テ一卷トスルコトハ普ク明瞭ノ事實ナルニ拘ラス往々長サノ不足シ幅員ノ廣狹定ラサルモノアリ福岡縣下ノ出品ハ其幅廣キニ失スルモノ最モ多ク爲ニ褒賞ノ選ニ洩レタルモノ尠カラサルハ惜ム可シ而シテ又乾燥不良ノ爲ニ斑々汚染シ甚シキニ至リテハ腐蝕シタルモノアリ廣島縣下松永綾莚舍出品ノ如キハコノ注意ヲ怠リタリ競技場タル博覽會ニ尙這般ノ出品アリ其他推シテ知ルヘシ戒メサルヘカラズ

意匠ハ花莚ノ顔容ニシテ摸様ハ花莚ノ眉目ナリ其消費者ノ注意ヲ惹クコト寧ロ原料ノ善惡地質ノ良否等ノ上ニ出ッヘシ然ルニ當博覽會ニ於ケル花莚ノ意匠概ネ陳腐ノ摸様多ク會々新案ト稱スルモノモ或ハ松竹梅ヲ織成シ或ハ奇怪ナル太陽ト弓箭トヲ織リテ光陰如矢ト號スルノ類ニ過キス又絹絲ノ用キテ恰モ刺繍ノ如ク模様ヲ現ハシタルアリ此ノ如キハ徒ニ技術ノ巧妙ヲ衒ハンカ爲ニ意匠ヲ弄シタリト云ハンカ我花莚ノ原料タル藺草ハ其纖維組織甚タ太キヲ以テ到底織物類ニ用キル如キ模様ヲ織成シ得可キニ非ス之ヲ爲サントスレハ却テ虎ヲ描キテ狗ニ類スルニ終ルヘキヲ以テ自今花莚ノ模様ハ花鳥物体ノ類ヲ捨テ、幾何的圖案ヲ施ル可シ換言スレハ曲線ヲ用キス直線ノ配合ヲ以テ模様ヲ搆成シ常ニ歐米ニ於ケル敷物類及壁紙等ニ用キル模様ノ流行ニ鑑ミテ考案スヘシ殊ニ花莚ノ用タル床上ノ敷物ハ四方ヨリ望ミテ整一ナル模様ナラサル可カラス而シテ又色彩ニ就キテ注意スヘキ要項ハ今日我當業者ノ多數カ採擇スルハ三原色ニトヾマリテ原色ノ混和ニ由リテ成ル所ノ複色ヲ用キルモノ勘シ由來三原色ノ如キハ二千年前人文未タ開ケサルノ當時ニ於テ愛玩セラレシモ色彩銳利ニ過クルヲ以テ人智ノ進化セル今日ニ於テハ嫌厭スル所トナレリ是ヲ以テ三原色ニ配合スルニ複色ヲ以テシ高尚優美ノ成果ヲ得ルコトヲ努ムヘシ

岡山縣ハ花莚ノ本場ナレトモ製作上ノ注意周到ナラスシテ廣島、福岡ノ所産ニ一歩ヲ讓レリ然レトモ品質良好殊ニ緣組佳良ニシテ幅員不同ノモノ比較的ニ少キハ嘉ス可シ染色ハ他ニ卓絶シテ稱ス可キモ色合ノ配合可ナラス又卷物少クシテ間物ノ出品甚タ多カリシハ遺憾ナリ將來尚斯業ノ本場タル名實ヲ保持セントス欲セハ其製造及商事上ニ大ナル改善ヲ加ヘサル可カラス又花莚織機用ノ器具ヲ出品シタルハ本縣ノミトス人員六人拾貳點ヲ出陳シテ參名褒賞ノ選ニ上リタル現下花莚ノ織機ニ改良ヲ要スルモノ甚タ多ク斯業刷新ノ要事タリ當業者大ニ奮勵スヘシ廣島縣ハ染色及色合ノ配合巧ナラス幅員ニ廣狹多ク緣糸ノ太キハ缺點ニシテ殊ニ間物及大幅物ハ其製作非ナリ然レトモ本縣ノ原料ハ頗ル佳良ニシテ無地物ノ製造ハ他產ヲ壓倒シ其他概ネ品質ニ於テハ善良ナルモ中ニ乾燥不充分ノモノヲ出シ又本縣ノ特產タル百五拾經ノ飛形諸目綸苧竪類ノ出品尠キヲ惜ム福岡縣ハ製作上ニ注意シタルノ蹟ヲ見ルモ染色未タ幼稚ニシテ意匠陳套絕エテ其進歩ヲ認メス本縣產ノ長所ナル綸物及飛形類ノ出品比較的ニ少クシテ又出品ノ大多數ハ幅員廣キニ過キ加フルニ往々短尺ノモノアリシハ抑モ何等ノ失体ソヤ自今先ッ第一着ニ模様ノ新案ヲ圖リ且製品檢查ヲ勵行シテ尺量ノ正確ト一定トニ努ム可シ大分縣ハ他縣ト異リテ七島藺ヲ以テ製造シ夫ノ支那花莚ト同一品種タリ其製作素ヨリ支那莚ニ劣ラスト雖モ價格ノ競爭ニ於テ一籌ヲ輸シ我花莚今日ノ衰運ニ遭遇スル以前ニ於テ已ニ販路ヲ米國ニ失ヒ僅ニ餘喘ヲ保ッニ過キサルナリ今回ノ出品中三ツノ割蘭ヲ以テ製造シタルモノハ其製作甚タ可ナリ自今此種ノ品類ヲ廉價ニ製造シ又模様ヲ織成シテ輸出セハ販路挽回ノ望アリ石川縣ハ前博覽會ノ出品ニ比スレハ其製作著ク進歩シタリ然レトモ未タ岡山、廣島ノ所產ニ及ハス自今益々奮勵シテ摸様ノ考案ト染色ノ改善トニ留意シ主トシテ地方ノ特產タル百二十竪ノ品類ヲ製出スヘシ其出品ノ價格概ネ不廉ナリ

シハ戒ム可キモ幅員ト長サトニ注意シテ長矩不同ノモノ一二ニ過キサリシハ正ニ他ノ模範トスルニ足ルナリ兵庫縣ノ神戸市ハ我花莚輸出ノ咽喉ニシテ多數ノ當業商人在住シ中ニハ嶄然頭角ヲ顯セル大商家ナキニ非ス是等ノ商人ハ全國花莚ノ粹ヲ蒐集シテ標本的陳列ヲナシ以テ自家營業ノ現況ヲ提示シ本邦斯業ノ指南者タルヲ期スヘキニ事茲ニ出スシテ出品者甚タ少ク加フルニ陳套粗笨ノ品類ニ過キサリシハ甚タ遺憾トスル所ナリ

第三十三類　其五　花莚及敷物類

	出品點數	出品人員	等級 名譽賞	一等	二等	三等	褒狀	計
京都	一	一						
大阪	四	二						
兵庫	一八	一二						
千葉	五	五						
茨城	二	二						
栃木	二九	一六						
三重	二	一						
愛知	一	一						
岐阜	一	一						
宮城	二	二						
福島	三	三						
青森	一	一						
秋田	一〇	七						
岩井	三二	二七						
福岡	一三	一八						
石川	一八	一一						
富山	二九	一九						
鳥取	一	一						
島根	一八	六						
岡山	一五四	一三	一					
廣島	二二五	六四						
香川	二二	一〇						
愛媛	一	一						
高知	一〇	六						
福岡	一三三	一三						
大分	三二	一九						
佐賀	一	一						
熊本	三	三						
鹿兒島	一	一						
沖繩	二	二						
合計	七七〇	五五七	一	七	九	二七	一二六	一七〇

第三十三類　其十四、花莚機用筬刺竹

其五　蚊帳

出品	點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
岡山	一二	六	一				一
合計	一二	六	一				一

審查官　野田忠藏　井手馬太郎　河原德立　淺村三郎　丹羽圭介

本類ノ出品者ハ三府十四縣ニテ百十四人點數三百三十一內一等賞一人二等賞一人三等賞十二人褒狀二十一人出品ノ多キハ滋賀縣ノ二十一人ヲ最トシ福井奈良ノ二縣之ニ亞ク地質ノ堅牢ナルハ山口縣關戶產ニシテ滋賀福井二縣ノ產モ良製ノ品アリ而シテ地質ハ諸麻片麻木綿ラミーノ四種ニテ器械織モアリシカ絹製ハ一點ノ出品モナカリキ(大阪滋賀ノ製品ニハ「ミシン」縫三四アリ)先ツ其製作ニ就キテ概言センニ多クハ縁飾不相當ノ地質ヲ用キ又ハ四方ノ飾ニ拙劣ナル刺繍ヲナシ殊ニ麻地ノ強固ナルモノニ極メテ薄キ絹ノ縁飾ヲナセルアリテ陳列及審查等ノ爲人ノ手ヲ經ル間ニ於テ旣ニ處々ニ糸ノ寄リヲ現ハシタル品アリ是等ハ徒ノ外見ノ美ヲ粧ハン爲却テ品位ヲ低メタリ寧ロ紅麻等ヲ用キタル方用途ニ適セン要スルニ縁飾及鎭ハ地質ノ厚薄精粗ニ適應セル品ヲ用キサレハ徒ニ價ヲ增加シ實用ニ遠サカラシムルノ虞アラン警戒セサルヘカラス又裁縫ノ粗惡ナルハ奈良縣出品ニ多ク甚キハ糊附ノ箇所アリ福井縣某ノ出品中地ニ其品銘ヲ大書シ其儘仕立上ケタルアリ是ハ一部ヲ切斷スルカ縁飾ノ內ニ縫入ルヽカノ二途ニ出テサルハ不親切ノ極ト云フヘシ滋賀縣西川甚五郎ハ三府ニ支店ヲ設ケ數百年間當業ニ從事シ居ルヲ以テ品質精良販路頗ル多シ之ニ亞クモノハ山口縣米谷良助滋賀縣柴林宗太郎ノ出品トス就中柴林ノ出品ハ「ラミー」製ノ大巾蚊帳ニシテ一方ノ角ト天井トニ縫目ヲ見ルノミ

第三十三類　其五　蚊帳

府縣	出品 點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一二	三					
都	一九	一一					
大阪	二三	八					
兵庫	三	二					
奈良	六五	一六					
愛知	一八	八					
滋賀	二六	二六	一				一

等級	一等	二等	三等	褒狀	計
	一	一二	一	三	
	二	一一	二	七	
	四	二	四	一一	

	合計	岐阜	長野	宮城	福島	福井	富山	岡山	廣島	山口	和歌山
出品數	三三一	六	一	四	一	六九	一	一	四八	三〇	四
人員	一一四	二	一	三	一	一九	一	一	四	三	四
一等	一										
二等	一										
三等	一二					三					
褒狀	二二										
計	三五					四					

其五　寢具、座蒲團類

本類ノ出品者ハ東京大阪臺灣外十三縣ニテ人員四十三點數四百九十三内三等賞三人褒狀五人概シテ進歩ノ著キヲ認メス夜着蒲團類ハ大阪府ヨリ多ク出品セルモ絹木綿地共ニ染色不完全ニテ會期半ニハ已ニ褪色シタルモノアリ又木綿萠黄裏地ノ如キハ少ク物ニ觸ルレハ忽チ褪色シ且縫方ノ粗雜見ルニ足ラス塗枕、木枕又ハ特許何々枕等多數アルモ一モ進歩ノ徵證ナシ尤空氣枕ノミ往々見ルニ足ルモノアリキ就中靜岡縣佐山芳太郎ノ特許疊枕ハ輕便ニシテ價廉ナルハ賞スルニ足ルモ上袋ニ絹物ヲ用キタルハ洗滌ニ便ナラス寧ロ曰キ「ヤヤラコ」ナドニセハ可ナランカ

座蒲團ハ染革、擬革紙、花莚、馬毛織、毛氈等種々ノ出品アレトモ染革ハ概シテ染法不良ニシテ少ク濕氣ヲ含マンカ衣服等ニ染料ノ附着スル虞アリ東京大垣和三郎出品花莚製三重縣堀木忠太郎ノ擬革紙製ハ共ニ佳良大阪比田由松出品慈姑莖製座蒲團ハ廢物利用ニシテ且雅致アリ夏氣ノ用ニ適スヘシ

第三十三類　其五　寢具、布團、枕、坐布團

	出品點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一八九	五					
大阪	五〇	九					
神奈川	一	一					
兵庫	一〇〇	二					
茨城	四	一					
三重	三六	三					

審查官　淺村三郎　野田忠藏　井手馬太郎　佐藤友太郎　河原德立

	合計	愛知	靜岡	岐阜	福島	岩手	山形	岡山	香川	福岡	臺灣
四九三		二五	一	二二	二	二	三〇	一	一〇	三	一七
四三		七	一	二	一	一	二	一	一	一	五
三							一				
六		二									
九		二									

其六　建具類

審査官　飯河三角　島田佳矣　塚本靖　神谷邦淑

本類ノ出品ハ三府十縣ニ亘リ合計六十六人百二十一點ニシテ大坂府ノ二十人三十九點ヲ最多トシ德島縣十二人二十四點京都府六人十六點之ニ亞キ其他ハ十點以下ノ出品ナリキ之ヲ大別シテ欄間三十四點障子三十一點戸十八點襖緣七點及張木細工幷木皮細工二十六點トス何レモ專ラ我國風家屋ニ應用スルモノニシテ性質上斬新ノ意匠製作ヲ見ルコト難シ建具中美技ヲ以テ優レタルハ京都府之カ冠タリ其製作ヲ平易ニシ其價ヲ低廉ニシ以テ廣ク世ノ需要ヲ充スモノハ德島縣、和歌山縣ノ出品ナリトス而シテ其工具ハ皆幼稚ナル手道具ニ屬シ未タ機械力ニ依テ工費ノ低減ヲ圖リタルモノナキハ甚タ遺憾トス獨リ愛知縣安藝元ハ稍新シキ裝置ヲ施シ機械ヲ運轉シテ高價ナル木材ノ薄片ヲ創成シ之ヲ廉價ナル木材ノ地板ニ貼付シ天井板等ニ應用セルハ國家經濟上甚タ有益ノ事業ナリトス願フニ木材ハ其需要日々ニ加ハリ隨ヒテ其價ヲ增ス傾向著キヲ以テ此種ノ事業ハ大ニ奬勵スル必要アリ次ニ大阪府塚口由兵衛ノ高價ナル木材ノ薄片ヲ貼付シタル床框、落シ掛ハ其創製新シカラサルモ手練大ニ見ルヘク亦以テ木材經濟ニ資スル少カラサルヲ認ム更ニ之ヲ分類シ各項ニ就キテ詳評スルコト左ノ如シ

欄間

此種ノ出品ハ大阪、京都ノ二府ニ最多ク富山、滋賀、廣島ノ三縣亦三四ノ出品アリ製額何レモ僅少ニシテ壹箇年參千圓ヲ超過スルモノ一二人ニ過キス

製作ノ特ニ優レタルモノハ京都府和田源兵衛ノ出品ニシテ其古色ヲ付シタル扇散ラシ彫刻ノ如キハ精巧實ニ歡賞スルニ足リ意匠モ亦タ甚タ佳ナリ此他古色ヲ付シタルモノ五種ハ何レモ殆ント數百年ヲ經過シタル古刹ノ什具ト異ルナキ色彩ヲ備ヘタルカ如キモ亦妙枝ト云フヘシ(原料ハ五葉松、檜、朴ノ類)外人之ヲ買フモノアルハ蓋ニ好奇心ニ驅ラルヽノミナラス蓋

シ我古美術ヲ窺フノ料ニ供スルモノナルヘシ同人桐材ノ彫刻四點亦刀法極メテ纖美些ノ疵ナシ元來桐ノ如キ桑軟材ニ細刻ヲ施スハ頗ル至難ノ技ニ屬ス本出品ノ如キハ斯術ノ模範タルニ耻チスト云フヘシ而シテ其工具ハ錐、小刀、鑿、槌ノ類ニ過キサルヲ以テ工費ノ廉ナラサルヲ慨トス一般是等ノ事業ニ向ヒテ機械力ノ應用例ヘハスクロールソーヲ使用シテ荒ラ彫ヲナスノ類ヲ施サハ價格ハ一段ノ低廉ヲ見ルニ至ルヘシ

滋賀縣松宮源太郎ノ出品檜材筬欄間ハ製作細美ヲ極メ筬子見付四厘間隔四厘ノ組方實ニ整然トシテ世間罕ニ見ル所ノ手際タリ是亦工具ハ罫引小刀ノ類ニシテ筬子引割等ニ機械ノ應用ヲナスニ至ラハ工費ノ低減大ナルヘシ同縣三野萬義ノ出品薩摩杉ニ皷ノ胴ヲ嵌入シ紐ヲ彫リ透シタル意匠モ亦甚タ優美ニシテ愛翫スルニ足レリ

大阪府ノ出品中河内甚藏ノ神代杉ニ梅枝ヲ彫リタルモノ及ヒ龜井與助ノ杉ニ散松葉ヲ涵面ニ彫透シタルハ製作ノ手際甚タ佳ニシテ意匠モ亦可ナリ魚崎德松ノ筬クヅシ欄間ハ意匠寄抜ト云フヘシ

富山縣ノ戸田利作及吉井銀七ノ香椿材ノ彫刻ハ圖案及刀法トモ見ルヘキノ價値ナキニ非ルモ仕立方甚疎漏ニシテ頭部縁トノ接合ニ間隙ヲ生シ且吉井ノ製品ハ外縁ト中板ノ縁紐トノ間隔左右不平等ナル如キハ極メテ不手際ト云フヘシ

其他ノ出品ハ意匠製作トモ大抵平易ニシテ論スヘキモノナシ

縁ノ塗方ニ就キテハ京都府特ニ勝レタルヲ見レハ漆工ニ於ケル熟練ヲ證スルニ足ル

抑モ彫刻欄間ハ我國風建築ニ於テ唯一ノ美的構造物ニシテ或ハ書工ノ圖案或ハ茶家ノ意匠等ニ依リ漸次發達シ一種我國特得ノ妙技トモ稱フヘキモノナルヲ以テ繪畫ト等シク其粹ヲ保存スルノ要アルモ更ニ圖案專門家ニ依リテ充分ニ講究シ又別ニ西洋式模樣ヲモ參酌シテ和洋折衷ノ建築ニ應用スヘキモノ等ヲ案出スルヲ要ス

然レトモ欄間ノ用ハ固ヨリ美觀ヲ得ルニ止マルモノニアラス元來室内空氣ノ流通ヲ目的トシテ設置サレタルモノナルニ由リ可成彫拔キノ大ナルヲ要シ且我建具ノ特質トシテ輕ク薄キヲ好ムモサリトテ大阪府某ノ出品ノ如ク板厚ミ僅ニ貳分强ニシテ現ニ彫透ノ部分破損セルカ如キハ薄キニ失シタルモノナリ之ニ反シ大ナル厚ミアルモノハ彫刻ノ間ニ粉塵堆積シテ室内ノ惰潔ヲ傷フヘシ是等ノ諸點ヲ顧ミテ適當ノ意匠圖案ヲ作成シ且彫拔ノ形狀ニ應シテ使用木質ノ剛較纖維曲直等ノ可否ヲ吟味シ以テ光榮アル名作ヲ久ク損傷セサラシムヘシ

今回出品ノ用材ハ桐薩摩杉神代杉最多シ薩摩杉ノ木理細キモノハ大ナル彫拔ニ最モ適當スヘシ桐材ニ向ヒテ透シ彫ノ大ナルモノヲ施スハ頗ル危險ノ作タルヘシ其他高貴ナル木材ヲ用キルハ固ヨリ無益ノ業ニ屬ス我國ニ此種ノ適材甚少キモ北海道產樹木ヲ研究セハ或ハ好發見ヲ得ンカ

障子

此種ノ出品ハ德島縣ノ十五點ヲ最多トシ大阪、京都ノ二府及和歌山縣之ニ亞キ富山、靜岡、青森鳥取ノ諸縣亦一二點ヲ出陳セリ

德島、和歌山、富山縣等ノ出品ハ專ラ廣キ需要ニ應スヘキモノニ屬シ用材ハ樅、杉、檜ノ類ヲ用キ形狀製作共ニ平易ニシテ固ヨリ特別ノ鑑賞ニ當ルモノニアラサルモ代價極メテ低廉ニシテ產額多ク生活程度ノ低キ目下ノ我國民ニ適シタル製品ト云フヲ得ヘシ是等所用ノ工具ハ尙皆幼稚ナルモノニシテ是亦一部分ノ製品ニ機械力ヲ用キルニ至ランコトヲ望ム

是等通常障子ノ形狀及製作ニ就キテ注意改良ヲ要スル點アリ左ニ其二三ヲ述ヘン

其一、紙幅ニ適合シテ端數ヲ生セサル樣ニ骨割ヲナシ自餘ノ面積ハ腰板及硝子ヲ以テ自在ニ塡塞スヘシ目今多ク行ハルヽ障子用紙ハ美濃紙ニシテ通常幅九寸强ナルニ由リ之ヲ三段ニ割リ一段三寸ツヽトシ通計九段トシテ硝子及腰板ヲ納レタランニハ紙張ノ都合ニ便ナルノミナラス最適當ナル形狀ヲ呈スヘキヲ和歌山縣、德島縣ノ出品ノ如キハ該寸法ニテ通計十段ニナシ紙張ニ不便ヲ感セシメ且硝子納レ方低クシテ實用ニ適セサル如キハ不利ヲ重ヌルモノト謂フヘシ(實用上硝子ノ上端ハ疊上ヨリ貳尺八九寸以上ナラサルヘカラス)

其二、椽側窓等外部ニ面スル部分ニ用キル障子ハ可成硝子ヲ嵌入シ且其面積ヲ廣クシ光線射入量ノ增加ヲ圖ルハ室內操業ノ便利及衛生上ニ益スル所多カルヘシ但硝子ハ熱ノ導体ナルヲ以テ內ノ溫ヲ失フコト著キ故ニ冬季ニ於テ硝子面ニ紙張小障子ヲ複設スル備ヲ爲スカ若クハ薄布ヲ被覆スル裝置ヲ爲サハ便利ナルヘシ(硝子面ニ紙小障子ヲ複設セルモノ京都府ノ出品ニアリ)

其三、障子ノ建合セ目ヨリ冬季寒風侵入スル爲メ室溫ヲ保ツニ不充分ナルモ此點ニ關シテ一モ研究シタル出品ナシ是ハ柱面ニ接スル所及重子目合セ目ニ羅紗類ヲ添付スルカ若クハ重ネ目等ニ目違ヒ引掛リヲ作ル等ノ考案ヲ起スヲ望ム

京都府出陳ノ障子ハ總テ高尙ノ品ナリシガ特ニ中島某ノ出品ハ檜材二間四枚代價六十三圓五十錢ヲ付シ塗緣美麗ニシテ總体製作ノ手際甚佳ナルモ腰ヲ絹襖仕立ニシテ繪畵金粉ヲ施シタルハ其用所ヲ誤リタルモノニシテ元來我建具ノ柔軟ニ過クルノ缺點ヲ更ニ增加スルモノト云フヘシ要スルニ建具類ノ脚部ハ其質健剛ニシテ操縱ヲ安全快活ナラシムル方針ヲ取ランコトヲ要ス

同府奧野某出品障子ノ骨ハ桐ヲ用キ煤竹ヲ下面ニ貼付シタリ材質ト云ヒ組織方ト云ヒ既ニ實用ニ遠サカリタルモノナルモ其類作ノ手際ニ至リテハ大ニ歎賞スルニ堪ヘタリ

大阪府松本某、川內某ノ出品ハ腰ニ寒竹ヲ用キ或ハ襖仕立ニナシ各意匠ヲ凝ラセルモ皆尙一段ノ考案ヲ要ス

通常障子、框及骨ノ材料ハ檜、杉、樅ノ外ニ適品アラサルヘシ意匠ニ於テハ骨ノ組方餘リニ單調ニシテ今少シク變化ヲ試ミナハ好形狀ヲ呈スルナルヘシ

靑森縣ノ木通蔓編張障子ハ夏季ニ用キテ淸凉ノ感アルヘキモ仕立尙不充分ニシテ代價廉ナラス障子トシテハ編目尙細ニシテ蠅虫ノ侵入ヲ防ク程度ニ至ランコトヲ期スヘシ本材ニテハ細工稍困難ナルヘシ寧ロ屛風或ハ衝立ニ應用スルヲ可トス

此種ノ出品ハ障子ト等シク德島縣最多ク九點アリ和歌山縣、大阪府等之ニ亞キ靜岡縣及京都東京ノ二府僅ニ一點ツヽヲ出陳セリ其種類ハ雨戸、棧戸、格子戸、中門戸、塗板戸、書戸及ヒ萩戸アリ

德島縣及和歌山縣ニ於テ實用多キ雨戸、棧戸、格子戸ヲ盛ニ製出スルハ紀州及四國カ林產ニ富ミ且輸出ニ便ナル地利ヲ有スル爲ナルハ固ヨリニシテ德島縣濱某、福島某ノ如キハ年額貳參萬圓ヲ超過スト云フ是等通常品ハ障子ノ出品ト同シク製作上格段ナル特點ヲ發見セス其工具ハ大ニ改進ノ餘地アルヘシ材料ハ檜、杉、縱ニシテ皆其用ニ適ス改良スヘキ點ニ就キテハ雨戸ノ如キ暴風ニ抵抗スヘキモノハ框ノ幅ヲ增シテ棧ノ接合ヲ完全ニスヘシ

大阪府出品ノ中門戸ハ何レモ形狀意匠雅ニシテ製作精切ナリ京都府大橋某ノ塗綠杉板戸ハ幅六尺一枚板ニシテ壯麗ヲ裝フ爲ニ一ノ中棧ヲモ付設セルガ是レ損傷ヲ招ク所以ニシテ特ニ重量ナル爲ニ開閉便ナラス徒ニ廣堂大厦ノ莊嚴ヲ飾ルニ資スルノミ板ノ創リ方及塗方ニムラアリテ其美ヲ損シタルハ特ニ遺憾ナリ

然レトモ戸ハ實用堅牢上重量アルモノヲ用キルニ至ルハ必然ノ勢ニシテ其結果取扱ノ便利ノ爲ニ蝶番釣又ハ滑車ヲ付スルノ必要ヲ來スヘシ蓋シ戸ノ重量ノ比例ハ殆ント貧富ノ度ヲ示スモノニシテ世界ノ文明國中恐クハ我國ノ戸締リ程輕易ナルモノナキハ決シテ喜フヘキ現象ニ非ルヘシ

襖及襖ノ緣

襖ノ出品ハ京都、大阪ノ二府ニ二點ツヽ及富山縣ニ一點アルノミ

京都府奥野某出品ノ襖貳枚重ネ繪ノ張方ハ繪ノ遠近ヲ顯ハス趣向ナルモ書法ニ於テ其妙ヲ盡サハ遠近ヲ表示スル何カ有ラン唯其緣ノ組合セ方其他總体ノ仕立方ノ美ナルハ流石ニ古都ニ就キテ國粹ヲ看取スル感アリ

大阪府丹野某ノ金襖ハ仕立方ノ美麗ナル京都府出品ニ讓ラサルモ金箔ノ應用ニ至リテハ大ニ愼マサルヘカラス我國民中流以上ノ室內ニハ既ニ多量ノ金箔ヲ屏風ニ用キタリ今又更ニ襖ニ應用スルニ至リテハ余輩ノ斷シテ否認スル所ナリ況ンヤ開閉頻繁朝ニタニ手觸レ足接シ屏風ニ比シテ一層損傷シ易キモノニ於テヲヤ

富山縣佐々木某ノ唐紙戸ハ形狀佳ナラス仕立方亦充分ト云フヲ得ス今一段ノ進步ヲ望ム

襖ノ緣ハ和歌山縣ニ四點大阪府ニ三點ノ出品アリ產額大ナルモノハ一箇年參萬圓ヲ超過シ何レモ價格低廉ナリ木材ハ檜、杉或ハ縱ヲ用キ塗方ハ中等以下ニシテ廣キ需要ニ應スルモノナリ是等モ亦工具ヲ改進セハ尙一層ノ低廉ヲ圖ルヲ得ン

張木細工及木皮細工

此種ノ出品ハ大阪府ニ於テ張付木九點杉皮編天井三點愛知縣ニ於テ薄木張拾點及秋田縣ニ於テ樺皮張木四點トス

大阪府塚口由兵衛ノ張木床框及落シ掛ハ八拾年前祖先ノ創業ニ係リ其技工漸次精巧ニ至リタルモノニシテ紫檀、柾地、鐵刀木、黑檀、櫻等ノ高價ナル木材ヲ厚サ一分半乃至二分半ニ剝キ之

ヲ縦材ニ貼付ケ其両側出合ヒノ稜角等ハ極メテ巧ニ接合シ一見純品ト異ナルナカラシム而シテ其價ハ僅ニ純品ノ五分ノ一以下ニ當リ産額多量ニシテ朝鮮國マテモ輸出スト云フ由來我國床飾ハ家屋裝飾ノ燒點ニシテ好ンテ高價ナル木材ヲ用キルモ元來重量ヲ支ヘ又ハ甚シキ水濕ニ曝ス部分ニモアラサルニヨリ此ノ如キ製品ヲ利用スルハ經濟上最モ有益ナルコトニシテ尚進ンテ床脇地板其他西洋式寄木張床等ヲ製出センコトヲ望ム但床板ニ就キテノ技術ハ殆ンド同法ニ由リ得ルモ其糊料ハ能ク濕氣ニ耐ヘ且蟲害ナキモノヲ研究セサルヘカラス

愛知縣安藝元ノ製品薄木張天井板襖等ハ一層薄キ木片ヲ張付ルモノニシテ即神代杉或ハ春日杉ヲ以テ厚サ壹寸ノモノヲ百枚ニ創成シ杉板ノ下地ニ糊貼セルナリ薄削糊付等ニ多少機械ヲ應用スルハトニカク進歩セルモノト謂フヘク其天井板ヲ作成スルハ最モ其効力ヲ適用スルモノタリ其糊材ニ就テハ雨洩鼠尿等ノ濕潤若クハ化學作用ニ對スル穿鑿及下地板ニ就キテハ乾燥及繼合セ方等ニ對スル工夫ハ尚一段ノ研究ヲ要シ且工具ヲ今一層進歩セシメハ代價ハ尚低減スルノ餘地アラント思ハル(出品ハ一坪代金六圓乃至八圓)

大阪府大仲某出品杉皮編天井ハ製作手際頗ル巧ニシテ茶室床脇等ニ應用スルニ可ナリ

秋田縣出品ノ樺皮張床柱床緣等ハ其製作巧ニシテ頗ル美ナルモノナレトモ其價甚高貴ニシテ他ノ名木ヲ用キルヨリモ不廉ナルニ至リテハ到底實用ニ適スルモノニアラス

凡ソ我國ノ建具ハ其形狀清楚ヲ尚ヒ其搆造柔軟薄弱ニシテ衛生上及防災上ニ注意ヲ缺キタルカ如キ點ハ早晩改良ノ運ニ逢着スヘシ然レトモ其根本的ノ變更ハ家屋ノ改良ニ伴ハサルヘカラス我家屋ハ實ニ一種ノ納凉舍タルニ過キサルヘシ其昔吉田ノ兼好法師ノ曰ヒケラク「家ノ造リヤウハ夏ヲ旨トスヘシ冬ハイカナル所ニモ住マル暑キ頃ソロキ住居ハ堪ヘガタキコトナリ云々天井ノ高キハ冬寒ク燈クラシ云々」ト嗚呼是實ニ我國往古太平時代ノ家屋觀ニシテ我々ノ祖先ハ皆此主義ヲ遵奉シテ其住家ヲ作リ夏期ハ建具ヲ取外シテ空氣ヲ貫通セシムル習慣ヲ作リタルモノナリ今ヤ燈ニ電氣瓦斯アリ冬季ニハ「ストーブ」其他暖室ノ仕掛ケ樣々アリ夏氣ニハ即チ電氣扇アリ之ニ加フルニ外人トノ交際次第ニ多クシテ人ノ生活ノ狀態ニ大變動ヲ生シタルモ尚法師ノ所謂夏ヲノミムネトシタル瀟洒ナル搆造ニ滿足シツヽアルハ抑亦憫笑ノ至ニアラスヤ然レトモ家屋全部ノ改造ハ經濟上頗ル容易ノ業ニ非ストセハ先以テ一部建具ノ改良ヲ圖ルハ至當ノ順序タルヘシ

第三十三類　其六　建具類

府種別	出品點數	出品人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一	一					
京都	一六	六					
大阪	三九	二〇					
愛知	一〇	一					
靜岡	二	一					

	滋賀	青森	秋田	富山	鳥取	廣島	和歌山	德島	合計
一二一	三	一	四	七	二	二	一〇	二四	
六六	三	一	三	五	一	二	一〇	一二	
一									
三	一								
三〇	一						七	六	
三四	二						七	六	

其七　家宅用具

審查官　井手馬太郎　横井時冬　淺村三郎　押田翼　神田邦淑

本類中其七ニ屬スル家宅用具ノ內指物各種箪笥並ニ屏風其他雜工品ノ出品點數及出品人員全國ヲ通シテ千五百二十九點六百二十五名ノ多キニ達シ之ヲ府縣別ニスレハ指物類、箪笥及屏風共ニ大阪府最大多數ニシテ京都府之ニ亞キ東京府ハ指物類、箪笥相半シ諸縣ニ在テハ桐指物類ハ富山縣最モ多數ニシテ唐木細工ハ福井、新潟ノ二縣ニ多ク桑木細工ハ靜岡、兵庫、香川ノ三縣多數ニシテ寄木細工ハ神奈川縣黑柿細工ハ山形縣櫟細工ハ岐阜縣埋木細工ハ宮城縣樺細工ハ秋田縣ノ諸縣各獨占シ愛知縣及三重縣ハ屏風、箪笥、盆、火鉢類ヲ出陳シ又和歌山、愛媛、廣島、岡山、埼玉、新潟、神奈川、鳥取、兵庫ノ諸縣ハ各箪笥類ヲ出陳セリ尙其他ノ諸縣ニ在テモ數點ノ出陳アリシモ之レヲ省略ス指物及箪笥ノ全体ニ就キテ見ル時ハ大阪、京都、東京、富山、福井、神奈川、埼玉、新潟ノ諸府縣ハ概シテ前回ニ比シ改良進歩ノ蹟明カナリ就中大阪府ノ進歩最モ著トス是レ蓋シ大阪府ハ前回ニ粗惡品ヲ出品シ大ニ打擊ヲ加ヘラレタルト時勢ニ顧ル處アリテ粗惡ノ製品ハ到底永久ニ利ヲ占ムルコト能ハサルノ理ヲ悟リ輓近同業者相戒メテ銳意製品ノ改善ヲ企圖シタルノ効果ニ外ナラサルヘシ其他ノ諸縣ニ在テハ著キ進歩ヲ認メス

指物類

東京ノ指物類ハ意匠製作共ニ全國ニ冠絕スト稱アリ毎次ノ博覽會ニ出陳シテ必ス優等賞ヲ得タルモノナリシガ今回ノ出品ヲ見ルニ火鉢類ヲ除ク外ハ特ニ卓絕シタルモノヲ認メス出品中稍々製作良好ナルモノハ價格高價ニ過キテ一般ノ需要ニ適セス唯有數ノ用途ニ供スルニ過キス彼ノ桑木製書棚机若クハ紫檀製提煙草盆ノ如キ即是レナリ然レトモ指口ノ巧妙ナル點ニ至テハ確ニ他地方ノ及ハサル妙技ヲ有セリ故ニ此獨特ノ妙技ヲ以テ普通ノ實用品ヲ廉價ニ製作セハ需要極メテ多カラン彼ノ石關實太郎出品ノ竹筥塗書棚ノ如キハ意匠製作共ニ巧妙ニシテ所謂東京人ノ嗜好ニ適スヘキ良品ナリ又桐長火鉢、角火鉢、丸火鉢ノ如キハ製作良好價格モ亦相當ニシテ本府特有ノ長技ヲ顯ハセリ之ヲ要スルニ本府ノ出品ハ二三ヲ除

ク外ハ意匠製作共ニ著キ進歩ヲ認メス是レ平素小賣ノミヲ目的トセルヲ以テ改良ノ意志ニ乏ク唯舊套ヲ墨守スルニ過キサルノ結果ナラン今後製作ニ工費ヲ省キ價格ヲ低廉ナラシムルニ勉メ併セテ需要多キ物品ヲ製作セハ廣ク國内各地ニ販賣セラル、ハ勿論唐木細工ノ如キハ進ミテ海外ニ輸出スルニ至ルヘシ聞ク所ニ依レハ輓近机棚物卓ノ如キハ大阪ヨリ供給セラル、モノ年々多キニ至レリト一層ノ奮勵ヲ要ス

大阪府ハ指物ノ内唐木細工ノ特産地ニシテ今回ノ出品ハ從來不完全ナリシ點ヲ講究シ充分改良ノ實ヲ擧ケ意匠製作共ニ長足ノ進歩ヲナセリ左ニ改良セシ重ナル點ヲ列擧スレハ

第一、材料ノ乾燥ヲ完全ナラシメタル點

第二、組合セ部分ニ膠ノミヲ用キス拇指ニ改メタル點

第三、膠糊ニ殺蟲劑ヲ用キタル點

第四、器械ノ應用ニ依リ手工ヲ省キタル點

第五、斬新ナル意匠ヲ應用シタル點

本府ノ同業者ハ數年前指物同盟會ト云フモノヲ組織シ前記各項ニ就キ熱心改良ニ從事シ數回品評會ヲ開催シテ良品ノ出陳ヲ奬勵シタル効果空シカラス同業者一般大ニ改良進歩ノ實ヲ擧ケテ短日ノ間ニ舊來ノ面目ヲ一新スルニ至レリ

由來當府ノ指物ハ製作粗惡ニシテ材料ノ乾燥及組合セヲ堅牢ナラシムル點ニ意ヲ用キルコトナク一時ノ瞞着品ヲ製作スルヲ以テ唯一ノ目的トセシカ爲メ氣候ノ變化空氣ノ乾濕ニ際會スルトキハ忽チ繼目ヨリ剝離シ若クハ材料收縮スルカ或ハ運搬ニ際シ剝離解体スル等ノ缺點アリテ世間一般ノ信用ヲ失墜スルニ至リシカ今回ノ出品ハ全ク舊態ヲ改メ完全堅牢ナル良品トハナレリ今回ノ審査ニ當リ殊ニ審査ノ時日ヲ後廻シトシ久シク乾風濕氣ニ曝露セシメタルニ拘ラス隙ヲ生シ若クハ剝離解体スルコトナカリシハ全ク製作ノ堅牢ニシテ材料ノ乾燥完全ナリシ結果ナリト認ム出品中堅牢ヲ要スル部分ノ組合ハ總テ拇指トナシテ從來ノ如ク膠着ノミニ依ラサルヲ以テ或種ノ物品ノ如キ外觀ノ体裁ヲ損スルノ憂アリト雖モ堅牢ニシテ永久ノ使用ニ最モ適當ナリ而シテ膠糊中ニハ殺蟲劑ヲ混入セルヲ以テ決シテ蟲食等ノ憂ナキニ至レリ

山川爲之助出品ハ花臺及盆類ニシテ從來此種ノ物品ハ手工ヲ用キ又物ニテ剝リ取リタルモノナルカ本出品人ハ苦心ノ結果穿工器械ヲ應用シテ器械力ニ依リ剝リ取ルヘクナシタルヲ以テ著ク工費ヲ省キ且從來ハ別ニ緣部若クハ脚部ヲ膠着シタルモノ、如キヲ器械製ノ結果トシテ一体ニテ容易ニ製作シ得ルニ至リタルモナリ米國其他ノ輸出品ニ適當シ續々輸出シツ、アリ是レ唐木細工ヲ手工ノ域ヨリ脫シテ器械應用ノ工業トナサシメタル嚆矢ナリトス

唐木細工ノ内棚物類ハ去明治十五年頃始メテ海外輸出ノ道開ケ仝二十一二年頃迄ハ漸次輸出額ヲ增加シ一時ハ大阪ヨリ年額三十萬圓近キ輸出アルニ至リシカ所謂粗製ノ爲大ニ信用ヲ失墜シ仝二十三年頃以降ハ外人ノ之ヲ顧ルモノナク終ニ輸出ノ道絶エタリ然ルニ去明治

三十二年ノ頃ヨリ又々輸出ヲ見ニ至レリ年々輸出額増加シ昨明治三十五年ハ當府ノミニテ大約十五萬圓ノ輸出額アリ本年度ノ如キハ大ニ好望ニシテ已ニ多額ノ輸出アリテ優ニ二十萬圓以上ノ多額ニ達スル狀況ナリ今後當業者相一致シテ製作ニ注意セハ海外輸出ハ前途甚タ多望ナルヘシ

京都府ハ陳列場ノ狹隘ノ爲出品ノ多クハ京都美工會ト稱スル團体ノ出陳ニ係ルヲ以テ各自ノ妙技特長ヲ示スヘキ得意物品ヲ出シ難キ爲メ前回ニ比シテ著キ進歩ヲ見サリシハ甚タ遺憾トスル所ナリ今回ノ出品ヲ概括シテ見ルトキハ意匠構造研磨着色等親切優美ニシテ他地方ノ及ハサル所アリ然レトモ形狀彫刻共ニ所謂京都向ニ偏スルノ嫌アリ一般ノ嗜好ニ適セサルモノヲ多キヲ覺ユ今後ハ東京、大阪等ノモノヲ參酌シテ今少ク形狀ヲ圓滿ニナシ必要ナル箇所ニ淡泊ナル彫刻ヲ施サハ廣ク他地方ニ販賣セラルヽニ至ルヘシ本府ハ元來指物ノ内茶器類ノ製作地ナルニ今回ハ出品ノ數少キハ陳列場ノ都合モアリシト雖モ亦以テ時勢ノ推移變遷ニ伴ヒタル結果ナランカ

富山縣ノ出品ハ指物ノ内桐製棚物及嵌木衝立ノ類最モ多數ナリ概シテ材料意匠及ヒ製作共ニ從前ニ比シ進歩ノ徴アリ元來本縣ニ於テハ近年實業教育奬勵ノ結果指物ノ如キ新ニ圖案家ヲ聘シテ大ニ斯業ノ改良發達ヲ企圖セリ今回當市建具業組合ノ出品ニ係ハル大衝立ノ如キ圖案ハアールヌーボー式ニ基キ一体ノ嵌木ヲ巧妙ニ嵌込ミタル手際ハ感服スルノ外ナク苦心ノ跡歷々トシテ顯ハレアリト雖モ此ノ如ク偉大高價ノ物品ハ一般ノ需要ニ適セサルノ感アリ冀クハ今一歩ヲ進メテ新規圖案ヲ他ノ普通品ニ應用セラレンコトヲ望ム

本縣ノ出品ハ概シテ指口巧妙ニシテ彼ノ四隅ノ柱ヲ捐指ニナシテ疊ミ得ヘクナシタル技術ノ如キ技工ノ點ニ於テハ間然スル所ナシト雖モ桐及杉製指物ノ内棚物ノ如キハ複雜ナル裝飾的構造ヲ具ヘタルカ爲メ反テ品位ヲ失墜スルニ至レルモノアリ所謂點茶家若クハ一地方限ノ好ノミニ拘泥セス普通一般ノ嗜好ニ適スヘキ物品ヲ製作セハ販路極メテ多カラン彼ノ角火鉢ノ落シノ如キ底ナキモノハ如何ニ價値低廉ナリト雖モ此ノ如キモノハ始メヨリ使用ニ堪ヘサル半製品ナリ今後ハ注意アリテ完全ナルモノヲ製出スヘシ

簞笥

東京府出品ノ簞笥ノ舊態ヲ墨守シ形狀ノ上ニ於テ敢テ新案ヲ施シタルモノナシ小林清次郎出品ノ洋服掛簞笥並ニ鷲塚清次郎出品ノ和洋服入簞笥ノ如キハ共ニ全体ニ於テ改良ヲ施セリ小林ノ分ハ簞笥ノ一部ニ洋服掛ノ一室ヲ設ケタルハ考案其宜キヲ得實用上甚タ便宜ナリト雖モ惜ムラクハ抽斗底板ノ接合方並ニ扉裏姿見ノ受止等不完全ナリ又鷲塚ノ分ハ釘ナシ内臍ニナシテ搆造堅牢指口良好ナリト雖モ前開戸ノ受止方不完備ノ失アリ是等ハ共ニ注意ヲ要ス其他ノ出品中切組方並ニ底板ニ稍々改良ヲ施シタルモノアリト雖モ出品ノ多數ハ抽斗ノ底板及奥板薄キニ過キタルト抽斗三分板ノ厚サ一定セサル等ノ缺點アリ是等ハ改良ヲ要ス

木材ノ繼合ニ用ヰル糊料ニハ必ス適當ノ殺蟲劑ヲ入ルヘシサスレハ年數ヲ經ルモ決シテ繼

目ヨリ蝕喰ヲ生スル憂ナシトス

本府ノ出品ハ概シテ品質形狀及製作共ニ良好ニシテ著キ缺點ヲ認メス和洋服ヲ收容センカ爲特ニ考案ヲ施シタル和洋服箪笥ノ出陳極メテ多數ニシテ其考案略ホ一轍ニ出テタルハ不思議ト云フヘシ而シテ和洋服箪笥メ上部ナル洋服ヲ收容架載スヘキ棚板ノ左右ニ受桟ヲ附着セル側板ヲ別ニ附設シテ前扉ヲ全開セサルモ棚板ヲ出入シ得ラルヘクシ若クハ前扉ヲ外蝶鉸トナシテ之ヲ全開セサルモ棚板ノ出入ニ支障ナカラシムヘクナシタル點ハ注意周到ナリ又或ル出品ノ如キ戸ノ上下幷ニ溝部ニ特ニ他ノ堅木ヲ嵌着シタル如キハ親切ナリ普通ノ販賣品ニモ同樣ノ注意ヲ要ス

錠前及引手ハ總シテ不完全ナリ是等金物ノ形狀ニ何等ノ意匠ヲ加ヘサルト金物ニ意匠ヲ施スモ奇ヲ好ムノ結果却テ品位ヲ卑シメタルトニ依リ形狀製作共ニ雅致ナル箪笥モ金物ノ爲品位ヲ失墜シタルモノアリ其他錠前及引手ニ就キ尙末項ニ於テ更ニ說明スヘシ

京都府ノ箪笥ハ指物ト同シク陳列場ノ都合ニ依リ箪笥同盟會ト稱スル團体ノ出品ニ係レリ本府ノ出品ハ惣テ品質意匠製作共ニ良好ニシテ塗箪笥ノ如キ實用品トシテ適當ナリ彼ノ都鳥ノ金具ヲ用キタル黑檀重箪笥ノ如キ意匠優美ニシテ製作良好ナリ又第三號總桐重箪笥ノ如キモ亦材料製作共ニ極メテ完全ナリトス然レトモ本府ノ製品ハ裝飾用ニ適當スル傾アリテ實用品トシテ脆弱ノ恐アリ今後ハ一層堅牢ノ上ニ留意シ販路廣キ普通ノ實用品ヲ製作セハ需要多カラン

本府ノ出品ハ指物箪笥共ニ概シテ材料ノ乾燥不充分ナル慨アリ此點ニ就キテハ將來一段ノ改良ヲ要ス

屛　風

大阪府出品ノ屛風ハ意匠製作共ニ良好ニシテ他府縣ノ出品ニ比シ大ニ優レリトス樋口彥右衛門出品ノ雲烟圖二枚折ノ如キ異色ノ金粉ヲ巧ニ散布シテ圖形ヲ表ハシタル手際ノ如キハ許多ノ出品中一頭角ヲ顯ハセリ其他四季繪畫交換屛風ノ如キ趣向ハ甚ク面白シト雖モ製作上不完全ノ點アリテ未タ實用ニ供シ難シ是等ハ今一層ノ考案ヲ要ス

本府ノ出品中改良ヲ加フヘキ點ヲ擧クレハ第一蝶鉸金具薄弱ニシテ重量ナル屛風ヲ聯接スルニハ不安全ナリ今一層金具ノ堅牢ヲ要ス第二下張モ未タ完全ナリト云フヲ得ス今一層叮寧親切ニセハ出來上リニ於テ其結果顯ルヘシ第三縁木ノ合セ目不完全ノモノ多シ是等ハ少シク注意セハ無疵ノ良品トナルナリ以上ノ缺點ニ對シテハ改良ヲ望ム

元來屛風ハ京都ヲ以テ主產地トシテ世ニ知ラレシカ近年大阪ノ方反テ製產高增加シ良品モ亦大阪ニテ製造セラルヽニ至レリ是レ盖シ太阪ノ方總テノ生地材料等安價ニシテ且速ニ集ルノ便宜アルニ依ルナラン又職工ノ如キモ良匠アリト聞ク世ノ變遷進步トハ云ヘ意外ノ現象ト謂フヘシ

京都府ノ屛風ハ由來本府特技ノ製作品トシテ世ニ知ラルヽヲ以テ今回ノ出品ハ必ス他ニ卓絕スルモノアラント思ヒシニ圖ラサリキ一モ優等品ナク概シテ製作粗惡ニシテ縁木四隅ノ

接キ合セ部ニ凹凸ヲ生シ其他ノ部分ト雖モ完全良好ノ點ナク毫モ特長ノ技術アルヲ認メス寧ロ大阪府製ニ一歩ヲ讓レリ是レ本府ノ爲甚タ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ聞ク本府ニハ未タ斯道ノ良匠ニ乏シカラスト今後本府ノ當業者ハ此ノ如キ粗惡品ヲ製作セス本府特有ノ妙技ト意匠トヲ用キテ完全良好ノモノヲ製出シ從來博シタル名聲ヲ益々發揚センコトヲ敢テ囑望ス

出品全体ニ就キテ見ルトキハ一二地方ヲ除キ概シテ左記ノ缺點アルヲ以テ將來ニ於テ當業者ハ充分ノ改良ヲ要ス

指物簞笥ニ用キル材料ハ乾燥未タ完全ト云フコヲ得ス材料ハ自然乾燥ニ依ラスシテ蒸氣乾燥ヲ用キルヘシ蒸氣ニテ乾燥スル時ハ桐材ノ如キハ當ニ乾燥ヲ速カナラシムルノミナラス時日ヲ經過シタル後ニ於テ白木地表面ニ汚點ヲ生スル失ナキニ至ルナリ出品中多ク汚點ヲ生シタルモノアリテ甚タ品位ヲ失墜セリ彼ノ火氣乾燥ハ材料ヲ損傷スルノ憂アリ注意スヘシ

材料乾燥ハ當業者ニ取リ最モ必要ニシテ刻下ノ急務ナリ

唐木細工ニ於ケル組合接着部分ハ單ニ膠着ノミニ依ラスシテ必ス捫指ニシテ且ツ膠ヲ用キルヘシ之カ爲メ物品ニ依リ体裁ヲ損スルコトアリト雖モ堅牢ヲ目的トシテ信用ヲ永遠ニ保タンニハ必要ノコトナリトス

桐材若クハ唐木材ノ接合ニ用キルヘキ膠糊料ニハ必ス殺蟲劑ヲ混和シテ將來ノ蟲喰ヲ避クヘシ

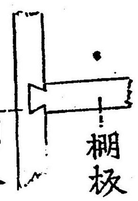
唐木細工及桐材ノ仕上ケ即チ研磨及色付ニハ今一層ノ改良ヲ要ス仕上ケノ爲著ク品位ヲ高ムルモノナリ

唐木細工ハ海外輸出品ノ一ナリ故ニ便宜ノ地ニ於ケル當業者ハ一地方限リ若クハ內地向ノ物品ノミヲ製作セスシテ輸出ニ適當スル物品ヲ堅牢親切ニ製作シ進ンテ華客ヲ外國ニ求ムヘシ將來多望ナルコト疑ナシ

我國ニ於テ簞笥類ノ錠前及引手金具ノ薄弱不完全ナルコトハ殆ント一般ノ定論ナリ已ニ前回及ヒ前々回ノ報告書ニ於テモ戒飭ヲ加ヘタルニモ拘ラス今回ノ出品中二三ヲ除クノ外ハ概シテ改良ヲ加ヘタルモノヲ見ス今細別シテ缺點ヲ述フレハ構造ノ薄弱不完全ナルト金具取着方不完全ナルトノ二樣アリトス或ル出品ノ如キ錠前及引手共ニ構造ハ堅牢ナルモ止釘ノ締着方ヲ誤リタルカ爲錠前其物ガ取外ツレ易キト引手ノ裏坐部分カ突出シアリテ衣裳出入ノ際之ニ觸レテ毀損スル憂アリトス是等ハ些々ナル注意ニシテ完全堅牢トナルヘシ元來我國ニ於テハ一般ニ錠前ノ構造薄弱不完全ニシテ一種ノ裝飾ト見做シ安全堅牢ノ上ニハ注意セサル習慣アリトス甚タ本末ヲ誤リタルコトヽ云フヘシ故ニ將來ニ於テハ堅牢ト取着ト ニ注意シ尙形狀ニハ適當ナル意匠ヲ加ヘテ外觀實用共ニ充分ノ改良ヲ施スヘシ

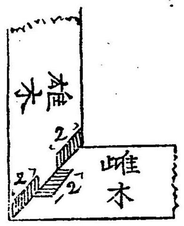
簞笥ノ抽斗ハ概シテ深キニ失ス實用上今少シク淺クナスヲ可トス簞笥出品中外圍兩側板ト抽斗ノ側板ト側板ノ厚サ同厚ノモノアリ是レ甚タ無用ノコトナリ外圍側板ハ堅牢ヲ保ツノ必要アリト雖モ抽斗側板ハ抽斗進退ノ用ニ供スルモノナルヲ以テ同厚トナスノ必要ナシ

又外圍側板ト棚板トノ接合ハ一般ニ上圖ノ如ク蟻溝トシテ固ク指込ミタキモノナリ此ノ如



クナストキハ堅牢ニシテ運搬ノ際脫離スル憂ナシ

抽斗ノ拇指ハ上圖ノ如ク雌雄ノ拇指部分ヲ平等ニナスヘシ若シ拇指部分ノ割合ヲ不同ニナストキハ堅牢ヲ缺キテ雌雄拇指ノ效力ナシコノ點ニ深ク注意ヲ要ス



元來簞笥ハ裝飾品ニアラスシテ實用品ナルヲ以テ全部ヲ高價ナル桐材ヲ用キ其他ノ部分ハ安價ナル他ノ材料ヲ使用シ可成廉價ニ堅牢品ヲ調製スルコトニ注意シ將來ニ於テ此點ニ對シ進歩收良ノ實ヲ擧ケンコトヲ當業者ニ望ム徒ニ價値高價ノ裝飾的物ヲ造ルノ要ナントス木材木地ノ色付仕上方ニ就キ充分ノ研究ヲナシテ一段ノ進歩改良ヲ加フレハ品位ヲ損セサル良品ヲ製出スルニ至ルヘシ

近時桐材ハ內地產ノミニテハ一般ノ需要ヲ充スニ足ラザルヲ以テ淸韓兩國ノ輸入夥多ナリ依テ以上ノ如ク簞笥類ニ用キル木地材ヲ桐材以外ニ求ムルハ國家經濟上ノ急務ナルヘシ彼ノ唐木細工ノ如キ材料ヲ海外ニ仰クト雖モ是等ハ輸出ノ道漸次擴張セラレッヽアルヲ以テ敢テ憂フルニ足ラス

第三十三類　其七　簞笥

府縣別	出品點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	四六	一一					
京都	四八	二九					
大阪	一七一	八九					
兵庫	四六	一六					
神奈川	二〇	七					
新潟	二二	五					
群馬	一二	三					
茨城	一	一					
栃木	一六	三					
奈良	一一	三					
三重	五九	一二					
愛知	三九	一〇					
靜岡	四四	二〇					
滋賀	四	二					
岐阜	七〇	七					
長野	七	三					
宮城	一三九	二三					
福島	四	四					
岩手	四	二					
青森	一	一					
山形	六八	一六					
秋田	一五	五					

府縣別	出品點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	四六	一一					
京都	四八	二九					
大阪	一七一	八九					
兵庫	四六	一六					
神奈川	二〇	七					
新潟	二二	五					
群馬	一二	三					
茨城	一	一					
栃木	一六	三					
奈良	一一	三					
三重	五九	一二					
愛知	三九	一〇					
靜岡	四四	二〇					
滋賀	四	二					
岐阜	七〇	七					
長野	七	三					
宮城	一三九	二三					
福島	四	四					
岩手	四	二					
青森	一	一					
山形	六八	一六					
秋田	一五	五					

第三十三類　其七　屏風

種別／府縣	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	等級 褒狀	等級 計
東京	一一	一一				一一	一一
京都	二二	二二				一五	一三
大阪	四九	四四	一	八	一	一一三	一九六

第三十三類　其七　唐木細工及其他

種別／府縣	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	等級 褒狀	等級 計
東京	四八	一四				一七	一九
京都	五五	一七		二		一〇	一二

第三十三類　雜工作品

府縣	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	等級 褒狀	等級 計
合計	九九二	三四二	一	八	一五	一一三	一三七
福井	二〇	一〇				三	三
富山	七	三				九	一二
鳥取	一	三				一	五
根島	六	五				三	
岡山	二	二				一	
島廣	八	四				一	
島德	五	四				一	
川香	六	二				一	
知高	二	二				一	
岡福	一	一				一	
賀佐	一	一				一	
本熊	一〇	三				一	
灣臺	七八	八				一	

第三十三類　雜工作品

府縣	出品點數	出品人員	等級 一等	等級 二等	等級 三等	等級 褒狀	等級 計
合計	一一六	八五		一	二	三二	三五
福岡	一	一					
德島	二	一					
廣島	三	一					
島取	一	一					
富山	五	四					
石川	二	一					
福島	一	一					
滋賀	三	三					
愛知	七	五					
三重	三	二					
栃木	二	一					
新潟	三	三				一	一
兵庫	一二	四			一	二	三

大阪	神奈川	兵庫	新潟	埼玉	千葉	茨城	奈良	三重	愛知	静岡	岐阜	宮城	山形	秋田	福井	鳥取	島根	岡山	広島	山口	和歌山
六五	四	三七	一一	四	一	二	二四	三	一八	三六	一三	四	一八	二	二	二三	二	三	九	六	七
四五	二	七	五	三	一	一	六	三	八	二二	六	三	八	一	二	八	二	二	六	四	
三																					
五																					
一七		二	一					三		二	二	三	八	二	三	一	四	一	二	二	二
二五		二	一	一	二			三		二	三	八	三	二	三	一	四	一	二	二	二

合計	臺灣	北海道	大分	愛媛	香川	徳島
四二一	六	一	二	三	一二	六
一九八	五	一	一	三	一〇	二
六						
八						
七一					一	二
八五						一二

其二　其五　其六　其七　竹、籐製品（籐筵、竹行李ヲ除ク）

審査官　島田佳矣　横井時冬　佐藤友太郎　河原徳立

本類出品ハ三府臺灣外二十七縣ニシテ人員二百三十五點數千八百五十八、一等賞一人二等賞二人三等賞十四人褒狀六十一人、出品ノ多キハ兵庫縣ニテ合名會社中井商店出品竹製洋式家具ハ各種形狀整ヒ製作堅牢ナリ之ヲ從前輸出セシ品ニ比スルニ進歩ノ蹟明ナルハ特ニ嘉賞スヘシ右ノ外同縣及東京府ノ出品中稍見ルニ足ルモノ多カリキ有馬產輸出竹製品モ近年製作上ニ注意シ追々堅固ニナリシハ喜フヘキ現象ナリトス尚彼レノ用途ヲ考ヘ新規ナル物ヲ製作セハ輸出ハ益々增加セン大阪府早川尚古齋用品ノ籠花生及果物籠共ニ佳作ナリ然レト

モ少ク價貴キニ過クル感アリ香川縣大久保利七出品竹織物ハ經白木綿絲、緯染細竹籤ニテ縞又ハ種々ノ紋樣ヲ出ス（壹段幅壹尺長貳丈五尺此價金貳圓五拾錢）同縣下產玩弄小籠類ト共ニ好輸出品ナリ東京小菅堅造出品小判形今戸土器ニ煤竹ヲ編附ケタル長貳尺許ノ火鉢ハ雅致アリテ輕便ナル爲カ審査ノ際六七拾箇ノ賣買約定濟ヲ認ム閉會マテニハ百箇以上トナリシナラン凡一ノ標本ニ據リテ數箇ヲ約定スルハ歐米博覽會ノ常ナルモ本邦ニテハ未曾有ノコトナリトス奈良縣久保左京出品ノ茶筌ハ一頭地ヲ抽ケルモノ同縣及他府縣ヨリ出陳ノ同品ハ會期中已ニ穗先ニクルヒヲ生シタルモノアリシモ同人ノ出品ハ然ラス斯業練磨ノ功ヲ見ルニ足ル又長柄茶筌（前回ニハナシ）ハ海外輸出品ノ一ニシテ彼レハ雞卵ヲ攪廻ス器トシテ庖厨ニ備フト云フ同品ハ輸出日淺キモ奈良縣下ニ於テ一箇年金壹千圓餘ノ產額アリト臺灣產竹器ハ外觀美ナラサルモ堅牢ノ點ニ至リテハ內地製品ノ及ハサル所總テ支那輸出ハ何品ニ由ラス堅牢ノ點ニ注意セサレハ前途望少シ參考館ニ於ケル淸國ノ出品ニ見ルモ思ヒ半ニ過キン靜岡縣ハ伐竹製品ノ外細工物ハ一見美ナルモ製造脆弱ニシテ海外運搬中破損ノ恐多シ一考アルヘシ大阪市在留淸國人顧海珍出品籐長椅子ノ如キハ堅牢ナル上製作モ亦見ルニ足レリ

簾

本類ノ出品者ハ三府十三縣ニテ人員五十六點數二百四十、二等賞二人三等賞五人褒狀十九人材料ハ竹、篠、竹籤、杉板、檜板、柳丈蘭、苅萱、萩、葭茅穗、蒲穗、硝子玉、硝子管等ニテ掛簾、屛風、衝立、皿敷ノ類ニシテ內地用輸出向相半シ孰レモ進歩ノ蹟アリ京都大阪出品中ニハ精製高價ノ物品アルモ各縣ノ出品ハ概ネ低價用途廣キモノ多シ而シテ輸出向ハ玉簾、繪簾、皿敷簾等ニテ大阪商榮會社ノ出品玉簾類最モ佳良ナリ總シテ玉簾ノ糸ハ比較的粗ニシテ使用中切斷スルコト內外ノ地ニ於テ實見スル所今若シ糸ヲ强靱トナスモ價ニ對シテ何程ノ影響カアラン同クハ使用ニ耐得ル樣改良アリタシ繪簾ハ絹絲卷、毛筆、切透書ノ三種ナルモ圖樣拙ニシテ見ルニ足ルモノナシ柴林宗太郎出品ノ浪花簾ハ綟中ニ籤ヲ織込ミタル新意匠ニテ三尺幅壹ヤール金貳拾四錢ナリ價モ貴カラサレハ從ヒテ世ノ需要モ多カルヘシ只籤ノ原料伐時ニ注意セサレハ蟲害ノ虞アラン岐阜縣大西洋出品中ニ籤ノ白ト染メタルトヲ捩合セタルハ恰モ糸卷製ノ如ク見エテ好意匠ナリ同人及滋賀縣三光舍ハ編ムニ器械ヲ用キタリ東京小笠原島北川酉之助出品丈蘭簾ハ都府ノ製作ニ劣ラサル良品ナリキ

第三十三類　其七　竹藤製品

出品	點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	四三	四				三	三
京都	三三	六				一	一
大阪	六六七	二二				二	二
兵庫	二一〇	二五				一〇	一三
第三十三類　雜工作品						六	一五

千葉	茨城	栃木	群馬	埼玉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知
四一	一	二	九	三〇	一	七	一	二	七	一	四	八	三	四五	一〇	五	八	六五	二五	三〇	九	二	一	一	五	二	七	九	八	一二	八〇
六	一	一	四	一四	五	一	七	六	一	二	六	一	一六	三	二	一	五	一五	五	一	四	一	一	一	一	四	一	二四	一	四	八

	合計	富山	鳥取	岡山	德島	高知	大分	佐賀	熊本
	二四〇	一	三	四	三	三	四五	七	七
	五六	一	一	二	一	九	一	一	二
	二								
	五								
	一九						一	一	
	二六						一	一	

其七　提燈、行燈、洋燈笠、暖爐飾、繪傘

審査官　押田翼　島田佳矣　佐藤友太郎　河原德立

本類出品者ハ三府十八縣ニテ八十八人點數八百六點一等賞一人二等賞二人三等賞四人褒狀二十三人出品ノ多キハ岐阜縣二十四人之ニ亞クハ福井縣ノ十人愛知縣ノ九人ナリ岐阜縣勅使河原合資會社ノ提燈、行燈、洋燈笠暖爐飾、繪傘等輸出向內地用共ニ三百十五點ノ出陳アリテ各其意匠ヲ異ニシ斬新ノ物少カラス製作良好價格當ヲ得テ販額多シ平素業務ニ勉勵ナルヲ認ムルニ足ル尾關治七モ提燈、行燈五十八點ノ出品アリ孰レモ意匠製作共ニ整ヒ內外顧客ノ需ニ應スルニ足ラン愛知縣鈴木寅松出品ハ提燈、行燈內外向合セテ四拾六點アリ是亦意匠製作共ニ佳良ナリ岐阜愛知兩縣產出品ハ概シテ精品乏シカラス愛知ノ方ニハ價格貴キニ過ル品ノ混入セルヲ見ヤ、福岡縣出品納凉提燈ハ近來岐阜縣製ヲ摸シ稍見ルニ足ルモノアルモ比較上數等ノ下位ニアルハ是非ナシ益々奮勵アランヲ望ム長崎縣某出品馬乘提燈ハ羽二重張白銅弓彫刻振出シ柄モ眞黑塗ニ彫刻アリ笠ハ裏銀箔押ニテ壹箇ノ價金拾圓京都府ノ雨傘ト好一對ノ奇觀、大阪府產輸出掛流シ用ノ安價ナル飾提燈ニハ可ナルモノ少カラス各府縣トモ內地用提燈類ニハ時價不相當ニ低キ品多クアリ繪傘ハ絹、木綿紙ニ毛筆、摺込、板繪ノ三種アリテ東京大阪岐阜香川ヨリ出品セリ提燈籤ノミノ出品ハ佐賀ノ一縣ノミナリキ

第三十三類　其三　提灯、行燈、暖爐飾、傘

	出品	點數	人員	一等	二等	三等	褒狀	計
東京	一四	四	一					
京都	九	五	一					
大阪	九	三	一					
神奈川	三	一	一			一		
兵庫	四	一	一					
新潟	一							
				二	二	三	二	二三

其七　洋燈及洋燈口金類

府県	合計	八〇六	八八	一	二	五	二一	二九
奈良	一		一					
愛知	九		九					
静岡	三		三				五	一〇
岐阜	二四		二四	一		三	一	五
長野	一	一						
福井	六	六						
石川	五	五						
富山	九	九						
鳥取	一四	一四						
山口	一〇	一〇						
徳島	一	一						
香川	二三	二三						
福岡	三六	三六						
佐賀	三	三						
鹿児島	二	二						

審査官　浅村三郎　平野耕輔　塚本靖

此種類ニ屬スル出品ハ總計三百六十五點出品人員六十一名ニシテ出品點數ノ殆ント過半ハ大阪府ノ出品ニ係レリ洋燈ハ燈火ノ原料ニヨリ電燈、瓦斯燈、蠟燈、石油燈ニ區別スルヲ得ヘシ電燈ニ關スル出品ハ東京中村定次郎ノ「シャンデリヤ」「ブラッケット」及ヒ置電燈アルノミ「シャンデリヤ」ハ意匠製作共ニ良好ニシテ就中其四號最モ可ナリ神奈川縣井上駒次郎ノ「アセチリン」瓦斯燈(特許第三八五九號追加特許第四八八六號)ハ製作佳良ニシテ實用ニ適セリ東京府石倉八十七郎ノ出品ニ係ル蠟燈ハ一種ノ合成蠟ヲ用キ鋼線綿絲及石綿ヨリ成ル燈心ヲ使用スルモノニシテ其需要未タ廣カラスト雖モ使用上安全ナルト運搬ニ便ナルトニヨリ戸外ニ使用スルニ適セリ

石油燈ハ釣洋燈、置洋燈、臺付洋燈ニ區別スルヲ便トス

釣洋燈ノ出品中大阪駒井庄太郎ノ大釣洋燈ハ品質製作鍍金共ニ最良ニシテ大阪小野助十郎ノ大釣洋燈之ニ亞キ孰レモ價廉ナリト雖モ之ヲ外國製ノ同種ノ釣洋燈ニ對比スレハ尚遜色多シ大阪府千々和直政ノ出品セル燈(特許第三一五四號)ハ何レモ下向燈ニ屬シ火焔ヲ下方ニ直射セシムルモノニシテ燈下ニ影ヲ生スルコトナク何レモ意匠ニ於テ見ルヘキ點ナシト雖モ前者ハ製作ニ於テ後者ニ優リ且使用上便利ナリトス其他釣洋燈ノ出品アリト雖モ製作徒

審査官　富田忠詮　佐藤友太郎　阪田貞一

ニ頒ニ失シ或ハ其製作普通ニシテ賞スヘキモノナシ

置洋燈中大阪山口巳之助、北川政七、小野助十郎ノ出品セル金屬製洋燈ハ製作鍍金共ニ佳良ナリ岡島益次郎ノ置洋燈ハ臺及ヒ笠ニ乳色玻璃ヲ使用シ其意匠製作共ニ見ルニ足ル

臺付洋燈ニ於テ金屬製ノモノニ在テハ大阪府駒井庄太郎及小野助十郎ノ出品セル高低調節

裝置ヲ具フルモノ製作最モ良好ナリトス藤田吾三郎ノ反射器付洋燈モ亦製作稍可ナリ竹臺

若クハ木製臺ヲ具フルモノハ意匠ニ於テトルヘキ點ナシト雖モ内地ニ盛ニ行ハルヽ所ニシテ大阪府森高和吉ハ其創始者ナリトス東京後藤清吉ノ置洋燈及臺付洋燈ハ臺ニ玻璃及金屬

或ハ石ヲ使用シ玻璃製部ニハ切子模樣等ヲ磨出シ其品質製作共ニ佳良ニシテ賞スヘシト雖モ意匠良好ナリト云フヲ得ス

豆洋燈ハ其製作簡單ニシテ價モ亦廉ナルカ故ニ清國印度濠洲等ニ輸出スル額多ク大阪府駒井庄太郎上田政次郎ノ出品ヲ最良トス

合資會社日本金屬製造所ノ出品ニ係ル金屬製小洋燈ハ何レモ其製作良好ニシテ清國、印度、濠洲等ニ輸出スル所ナリ

長崎縣手山梅次郎ノ出品セル安全燈ハ油壺内ニ金屬製重球ヲ入レ心筒ノ中心ニ串通スル杆ノ頂上ニハ圓板ヲ附シ平時ハ杆ノ下端ヲ壺底ノ球上ニ位置セシメ圓板ヲ火口ノ上方ニアラシムルモ若シ油壺ノ傾斜スルトキハ球ハ移動シ圓板ハ墜落シテ火口ヲ蔽ヒ消火セシムヘクナシタルモノニシテ其製作稍可ナリ

以上ノ外洋燈ノ出品尠數多アリト雖モ多クハ製作頗ニ過キ或ハ粗ニ過キ製販額僅少ニシテ特ニ賞揚スヘキモノナシ

洋燈ノ附屬品ニハ紙製笠及ヒ自在釣等アリト雖モ賞スヘキ價値ヲ有スルモノナシ

洋燈ハ一般ニ價廉ニシテ一見其品質良好ナルカ如シト雖モ破損シ易ク之ヲ外國製品ニ比スレハ大ニ劣レリ故ニ徒ニ價ヲ廉ナラシムルニ勉メスシテ品質及ヒ製作ノ改良ニ注意セサルヘカラス

洋燈口金ハ大阪府ノ三平社、合資會社日本金屬製造所、浦川宗吉、兵庫縣小西壯二郎及ヒ新潟縣橫山彖七ノ出品ニ係リ口金ハ一般ニ搆造上大ナル改良ヲ見スト雖モ其製作法ニ至テハ大ニ進歩シ年々製販額ヲ增加シ輸入ヲ防止シタルノミナラス清國、韓國、印度等ニ輸出スルニ至リ清國ニ輸出スル額ノミニテモ僅少ニアラス三平社ハ創業古ク製作用機械器具ニ改良ヲ加ヘ口金ノ製販額ニ於テ首位ヲ占ムト雖モ搆造薄弱ナルノ嫌アリ他ノ製品モ亦以上ノ嫌ナキニアラスト雖モ小西壯二郎ノ製品ハ稍堅牢ナルカ如シ橫山ノ口金ハ燈ノ轉倒又ハ墮落ノ場合ニ消火スル裝置ヲ具ヘタルモノニシテ其考案稍可ナリ之ヲ要スルニ洋燈口金ハ初メ輸入ヲ防キ終ニ清國ニ輸出ヲナスニ至リタリト雖モ直輸入ヲナサスシテ清國人ノ手ヲ經ルカ故ニ彼等商人ノ利ヲ占ムル所トナリ徒ニ廉價ナル注文ヲ受ケ勢ヒ金屬ヲ節減シ其結果薄弱ナルモノヲ輸出スルニ至レルナリ故ニ將來製品ノ聲價ヲ保持シ輸出ヲ盛ナラシメントセハ直輸入ヲ圖ルト同時ニ價格ノ廉ニ失セス堅牢ナル物品ヲ製出スルニアリトス

洋燈及其部分品ノ輸出ハ年々増加シ昨年中輸出シタル金額ハ四拾八萬八千九百七拾圓ニ達シ製作工業品トシテ輸出額ニ於テ第八位ヲ占メ殆ント其大部分ハ神戸、大阪兩港ヨリ輸出スルモノナリ故ニ今ニシテ品質ヲ改良シ製作ニ注意シ良好ナル物質ヲ製作スルニ至ラハ益々輸出ヲ増加スヘキコト明カナリ

歐米諸國ニアリテハ室ニ應シ之ニ適當スル洋品數多アリト雖モ本邦製作品ハ概ネ下等品多ク本邦ノ家屋ニ適スル上等品ナク從ヒテ上等品ハ輸入品ヲ使用スルヲ免レサルハ遺憾ナリトス宜ク本邦ノ家屋ニ適スヘキ上等品ヲ製作スルコト緊要ナリ又本邦ノ洋燈ニ意匠ノ欠乏セルハ甚遺憾ニシテ中等以上ノ室内ニ使用スヘキモノトシテハ多少ノ美觀ナカルヘカラス是大ニ意匠家ノ力ヲ俟タサルヘカラサル所ナリ

第三十三類　其七　洋燈及其附屬品

出品	點數	人員	等級 一等	二等	三等	衰狀	計
東京	六六	一〇					
京都	四	二					
大阪	二一五	三三	二	三	五	九	一九
神奈川	三	一					
兵庫	二四	六					
長崎	三	一					

出品	點數	人員	等級 一等	二等	三等	衰狀	計
新潟	二九	四					
愛知	九	三					
福井	三	一					
德島	九	二					
合計	三六五	六一	二	四	七	一四	二七

其七　西洋家具

審査官　島田佳矣　井手馬太郎　塚本靖　神谷邦淑　金子篤蕃

西洋家具類ノ製作ハ其需要ニ應シ日ニ其數量ヲ増加シ現時ノ狀況ニ於テハ其之ヲ業トスルモノ三府諸縣ノ各地ニ散點シ曾ニ內地ノ需要ヲ充スノミナラス清韓地方及歐米各國ヘ輸出セルモノ等アリ而シテ此回出陳セシモノハ椅子七十五點、机（テーブル）十八點、棚十六點、屏風及衝立五點額十一點、玉突臺四點、木製花瓶二點、名刺皿一點、鏡五點、帽子掛三點、洗面盤一點、暖爐前飾十二點等ナリ

意匠ハ純粹西洋風ノモノト和洋折衷若クハ之ニ特殊ノ考案ヲ加ヘタルモノ等アリ更ニ之ヲ

細別スレハ純粹西洋風ノ内ニ於テモ直ニ彼ヲ摸シタルモノト新ニ之ヲ考案シタルモノトノ別アリ家具ニ貴フ所ノモノハ其搆造意匠共ニ實用ニ適シテ而モ美觀ヲ有スルニ在リ陳套ノ考案ヲ墨守シテニ產額ノ多キヲ僥倖シ粗製實用ニ適セサル如キモノヲ造ルハ斯業者ノ勉メテ避ク可キコトナリトス此回ノ出品中彼ノ佛國世界博覽會ニ出品サレタル背裂上部ノ一端ニ刺繍ヲ加ヘタル椅子ヲ直摸シテ製作逈ニ彼ニ劣レル如キモノアリ是等ハ實ニ鑑賞スルニ堪ヘサルモノナリトス一般ニ之ヲ評スレハ斯業未タ幼稚ノ狀態ニ在リテ各府縣各皆其特色ヲ有スルニ至ラサレトモ東京府ノ出品ハ意匠搆造共ニ他ノ府縣ノ所製ニ優リ大阪府ノモノハ產額及價格ニ於テ他ヲ抽キ神奈川縣ノ製品ハ外人ノ嗜好ニ投スルニ巧ナリ其他ノ地方製作中ニハ新潟縣木林茂太ノ出品ノミ獨リ觀ルニ足レリ

東京府杉田幸五郎大阪府波多野政太郎等ノ製品ハ多年斯業ニ從事シタリシ結果トシテ意匠製作共ニ觀ルヘク之ヲ歐米製品中ノ優等ナルモノニ比シテ甚シキ遜色ナシ新案製品中日本意匠ヲ大阪府ノ製品中ニ得タリ頗ル成効セルモノニ屬ス

其他出品中一ノ仲縮机アリ和洋家具ヲ兼ネタルモノニシテ之ヲ伸ブレハ西洋机（テーブル）トナル考案ナリ一瞥甚巧ナルカ如シト雖モ机トシテハ甲板ノ下ニ三脚アリテ膝ヲ容ルヽノ餘地ナク西洋机トシテハ定寸ニ達セサルコト數寸又樂懸椅子ノ坐褥下ニ温爐ヲ設ケタルモノアリ西洋家屋ノ室内ニ在リテハ既ニ相當ノ温室方法ノ備フルアリ這般ノ考案ハ全ク無用ニ屬ス更ニ一歩ヲ讓リテ日本室内温室法不完全ナル處ニ之ヲ用キンカ通常吾人方冷氣ヲ感スルハ其坐褥上ノ腰部ニ非スシテ却テ其下方脚部ニ在リトス故ニ其坐褥ヲ温ムルハ全ク其適用ヲ誤レリト謂フヘシ鐵製椅子ハ其構造ヲ鐵ニテ造レルモノニシテ大阪府ノ出品中ニ一點ヲ見ル元來製作ニ材料ヲ撰ムハ先ツ其用途ニ注意センコトヲ要ス西洋ニ於テ鐵製机子ハ通常庭園内等屋外雨露ノ直接ニ觸接スル所ニ安排ス是レ木材ハ是等ノ外氣作用ニ遇ヒ腐朽シ易キヲ以テナリ然ルニ此所ノ出品ハ坐席ヲ裂地若クハ藤張トナセルヨリ見レハ其意匠室内ニ於テ用キルモノニ似タリ室内所用ノ鐵製椅子ハ學校用具等堅牢ヲ第一ノ主眼トセルモノニハ往々其例ヲ見ルト雖モ這般ノ小椅子ハ全ク其用途ヲ異ニセルカ如シ斯ル場合ニ於テ此特殊材料ニ適スル考案ヲ要スルハ素ヨリ其所ナリ然ルニ本出品物ハ其意匠甚妙趣ヲ缺ケルノミナラス徒ニ重量ヲ增加シテ移動ノ便ヲ缺ケリ安樂見臺ハ樂掛椅子ニ依リ讀書スルノ用ニ供セルモノ其見臺ヲ上下スルノ機械ノ製造粗惡ニシテ用ニ堪ヘス東京府出品中金屬製ノ煖爐前飾アリ其製作精巧ナレトモ金屬ヲ以テ其内部ニ火ヲ焚ク煖爐ノ前飾トナセルハ是亦材料ノ所用ヲ誤レルモノトモ謂フ可シ温度高キ時ハ之ニ觸レテ著ク熱ク温度低キ時ハ之ニ接シテ甚冷ナリ且夫レ金屬ハ熱ノ爲ニ膨脹收縮スルコト木石材ヨリモ大ナリ故ニ此材料ヲ以テ這般ノ物ヲ造ラント欲セハ其接合點ノ伸縮ニ對スル特殊ノ注意ヲ要ス本品ニ是等ノ注意ヲ缺ケリ要スルニ上來記述セル數種ノ新案ハ或ハ材料ノ適用ヲ誤リ或ハ實用ニ適セサル憾アリ向來此種ノ製作ヲ爲サント欲スルモノハ更ニ一段ノ考慮ヲ要ス

棚花瓶、鏡、帽子掛、洗面盤、煖爐前飾等之ヲ概評スレハ其製作ニ於テハ精緻巧妙決シテ外邦ノ所

製ニ讓ラサルモノアリト雖モ常ニ意匠ノ點ニ就テ遠ク彼レニ及ハサル所多シ箇好考案ヲ與ヘテ之カ製作ヲ爲サシメンニハ將來大ニ觀ルヘキ結果ヲ得ルナラン今一例ヲ以テ之ヲ示サンニ岐阜縣天橋亮吉カ出品セル大理石煖爐前飾ノ貳個ヲ比較スレハ著ク此點ヲ知ルニ足ルモノアリ即チ一個ハ其意匠確ニ建築ノ樣式ヲ熟知シ多少此類ノ考案ニ經驗アル者ノ圖案ニ依リシモノナル可ク他ノ一個ハ全然意匠ノ何タルヤヲ解セサル凡庸拙劣ナル圖案ニ成レリ其製作ニ於テハ彼此甚シキ相違ナキモ意匠ノ良否ハ此二品ヲシテ斯ク異ナレル觀ヲ呈セシムルニ至レリ

元來家具ハ人体ヲ標準トシテ製作スルモノナルヲ以テ大厦高樓ニ於ケル椅子、卓机ト雖モ矮屋小舍ニ於ケルモノト其意匠製作ニ於テ素ヨリ差異アルハ當然ナリト雖モ其寸尺ニ於テハ彼此甚シキ異同ナキハ理ノ明ナル所ナリ即椅子ハ以テ坐スルニ便シ卓机ハ以テ書シ以テ讀ムニ適セサル可カラス是ニ於テヤ定寸ニ準據スル要ヲ生ス東京、大阪二府等ノ出品ニ於テハ大抵皆此定寸以外ニ逸出セル出品ヲ認メサレトモ地方出品ノモノニハ往々之ヲ超過セルモノアリ西洋家具ノ寸法ハ本邦人ノ躰軀外人ニ比シテ稍小ナルヲ以テ直ニ以テ彼ニ從ハンヨリハ寧ロ幾分ノ縮小ヲ爲サンコトヲ要ス然ルニ之ヲ超過スルカ如キハ甚タ其當ヲ得サルモノト斷言シ得ルナリ

但臺灣出品ノ家具ハ此定準ヲ以テ律ス可カラサルモノアリ是レ職トシテ彼地ノ生活狀態ガ我ト太ニ異ルニ由レリ而シテ其技工ハ極メテ拙陋見ルニ堪ヘスト雖モ微細ノ點ニ拘束セスシテ却テ雅趣ノ掬ス可キアリ内地職工ノ利腕ヲ振ヒ彼ノ意匠ニ依リ其需要ニ應センカ是レ大ニ觀ル可キ製作ヲ爲スコトヲ得ルヤ必セリ

次ニ此回ノ出品ニ就キテ遺憾トスル所ハ其點數稍多キニ拘ラス種類ノ極メテ少キコト是ナリ西洋家具ハ廣間、寢室、食堂等ニ用キル家具其類極メテ多シ然ルニ本會出品ハ率ネ客室用ノモノ及役所用等ノモノニ限リ且藥懸椅子、小椅子等ノ如キ零粹ノ片々ヲ出品シテ之カ一揃若クハ客室等ノ全部裝置ヲ示セルモノ少シ是レ或ハ出品區域面積ノ窄小ナルト世上需要ノ如何トニ依リ此ノ如キ結果ヲ得タルモノナルヘシ然レトモ飜テ目下我邦ノ狀態ヲ見レハ世人未タ全ク西洋風生活ノ狀態便益ヲ知ラサルモノ多シ之ヲ公衆ニ示シテ其需要ヲ促スハ當業者ノ正ニ取ルヘキ方針ニシテ之ヲ出品スル全體ノ如キ稍大規模ノ出品ヲ爲サンニハ大ニ觀者ノ注意ヲ惹キシモノアラン

第三十三類　其七　西洋家具

府縣＼種別	出品點數	人員	等級 一等	二等	三等	褒狀	計
東京	二三	九	一				
京都	六	四					
大阪	七五	五一					
神奈川	二六	八					
兵庫	四	一					
計			一	一	三	三	七
				一	一	一	二
					四	四	六